

令和6年第3回区づくり推進横浜市議員会議（港北区）

日 時：令和6年9月6日（金）10時から
場 所：区役所4階1・2号会議室

議 題

- 1 令和5年度
個性ある区づくり推進費の決算について （資料1）
- 2 令和6年度
個性ある区づくり推進費の執行状況について （資料2）
- 3 令和7年度
港北区予算編成の考え方について （資料3）
- 4 その他
(1) 令和6年度港北区区民意識調査結果（速報版）
（資料4）
(2) その他

資料1

令和6年第3回
区づくり推進横浜市議員会議資料
令和6年9月6日
港北 区

令和5年度 個性ある区づくり推進費 決 算



©横浜市港北区ミズキ一

港 北 区

令和5年度 個性ある区づくり推進費決算総括説明書

1 総括表

(単位：円)

	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C)(=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)
(1) 自主企画事業費	109,455,000	0	109,455,000	104,105,525	5,349,475
(2) 統合事務事業費	54,699,000	0	54,699,000	51,649,816	3,049,184
統合事務費	30,664,000	0	30,664,000	29,093,280	1,570,720
統合事業費	24,035,000	0	24,035,000	22,556,536	1,478,464
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	609,058,000	13,681,000	622,739,000	618,937,471	3,801,529
合計	773,212,000	13,681,000	786,893,000	774,692,812 (執行率 98.4%)	12,200,188

(1) 自主企画事業費

※詳細は3ページ以降に記載

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
1 安心して安全に暮らせるまちづくり	34,353,000	31,939,359	2,413,641	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故でカエル事業 避難場所、車両借上げ費用の残(災害に強いまちづくり推進事業) など
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	21,262,000	17,311,054	3,950,946	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育てサポート事業 ・高齢者・障害者支え合い推進事業 区配予算活用による減(地域子育てサポート事業) など
3 活気にあふれるまちづくり	37,028,000	33,212,617	3,815,383	<ul style="list-style-type: none"> ・育もう「ふるさと港北」事業 ・港北魅力発見事業 データ更新の職員実施による委託料の減(データ活用によるまちづくり推進事業) など
4 区民サービス向上に向けた取組	16,812,000	21,642,495	△ 4,830,495	<ul style="list-style-type: none"> ・区民サービス向上・環境改善促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業 冷風機等の備品購入の増(区民サービス向上・環境改善促進事業) など
合 計	109,455,000	104,105,525 (執行率 95.1%)	5,349,475	

(2) 統合事務事業費

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
統合事務費	30,664,000	29,093,280	1,570,720	区役所業務の事務経費 消耗品費の減 など
統合事業費	24,035,000	22,556,536	1,478,464	・広報よこはま区版発行事業 ・青少年活動支援事業 印刷単価の減(広報よこはま区版発行事業) など
合 計	54,699,000	51,649,816 (執行率 94.4%)	3,049,184	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
区庁舎等管理費	78,676,000	79,955,615	△ 1,279,615	港北区総合庁舎、港北土木事務所、 行政サービスコーナー（2か所） 車両リース料の増 など
区版市民活動支援 センター管理費	388,000	339,273	48,727	港北区区民活動支援センター
公会堂管理費	21,266,000	21,296,160	△ 30,160	港北公会堂
地区センター等管理費	242,585,000	242,545,000	40,000	地区センター（6か所） 小机スポーツ会館
青少年施設管理費	9,663,000	9,663,000	0	綱島公園子どもログハウス
区民文化センター 管理費	28,488,000	21,161,110	7,326,890	港北区区民文化センターミズキーホール 運営委託料の入札残 など
老人福祉センター等 管理費	44,307,000	44,307,000	0	老人福祉センター菊名寿楽荘
コミュニティハウス 管理費	86,557,000	86,544,900	12,100	コミュニティハウス（3か所） 学校施設活用型コミュニティハウス（3か所）
区スポーツセンター 管理費	24,950,000	23,730,000	1,220,000	港北スポーツセンター 指定管理者の提案による指定管理料の減
広場・遊び場等管理費	16,728,000	16,770,371	△ 42,371	港北国際交流ラウンジ 広場・遊び場等（12か所）ほか
区庁舎・区民利用施設 修繕費	4,131,000	3,274,377	856,623	区庁舎、公会堂、地区センター、行政 サービスコーナーなどの小破修繕等 修繕費の減
区庁舎等光熱水費	65,000,000	69,350,665	△ 4,350,665	港北区総合庁舎、公会堂、土木事務所、 行政サービスコーナー（2か所） 光熱水費の増 など
合 計	622,739,000	618,937,471 (執行率 99.4%)	3,801,529	

自主企画事業 目次

(単位：円)

事業名	予算額	決算額	差引額	掲載頁
1 安心して安全に暮らせるまちづくり				
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	23,184,000	21,206,379	1,977,621	4
(2) 災害時医療整備事業	629,000	610,097	18,903	11
(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	500,000	485,051	14,949	13
(4) 交通安全 無事故でカエル事業	5,340,000	5,240,777	99,223	14
(5) 放置自転車対策事業	3,848,000	3,634,500	213,500	17
(6) 港北AAA(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦	852,000	762,555	89,445	19
(7) 地域における災害時要援護者支援推進事業	995,000	1,012,180	▲ 17,180	21
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり				
(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	1,439,000	1,371,015	67,985	23
(2) 地域子育てサポート事業	9,041,000	6,816,680	2,224,320	24
(3) 保育所支援・情報提供事業	1,885,000	1,453,385	431,615	31
(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	798,000	522,950	275,050	32
(5) 離乳食教室	1,526,000	1,511,669	14,331	33
(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,778,000	2,824,015	953,985	35
(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	1,800,000	1,799,160	840	39
3 活気にあふれるまちづくり				
(1) 地域スポーツ推進事業	2,045,000	1,910,084	134,916	40
(2) 港北区商店街活性化事業	1,600,000	1,356,274	243,726	42
(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	726,000	701,260	24,740	44
(4) 育もう「ふるさと港北」事業	10,030,000	9,220,346	809,654	46
(5) 地域のチカラ応援事業	2,790,000	2,555,785	234,215	51
(6) 港北魅力発見事業	3,235,000	3,097,742	137,258	53
(7) 芸術文化振興事業	2,500,000	1,667,964	832,036	56
(8) 区民活動支援事業	1,510,000	1,470,400	39,600	59
(9) 地域振興活動事業	2,550,000	2,366,136	183,864	61
(10) 読書活動推進事業	720,000	708,133	11,867	63
(11) こうほく3R推進事業	990,000	912,104	77,896	66
(12) 港北エコアクション推進事業	3,008,000	2,972,032	35,968	68
(13) データ活用によるまちづくり推進事業	3,000,000	1,000,000	2,000,000	70
(14) まちづくり調整費	2,324,000	3,274,357	▲ 950,357	72
4 区民サービス向上に向けた取組				
(1) 港北区PR情報発信事業	1,802,000	1,350,299	451,701	74
(2) 戸籍課案内サービス向上事業	3,510,000	4,636,803	▲ 1,126,803	75
(3) 「仕事力向上」職員育成事業	690,000	416,240	273,760	77
(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	8,376,000	13,268,284	▲ 4,892,284	78
(5) 区民利用施設環境改善事業	2,434,000	1,970,869	463,131	79
《参考》統合事業費				
広報よこはま区版発行事業	13,571,000	12,753,462	817,538	80
広聴相談事業	2,092,000	2,089,165	2,835	82
青少年活動支援事業 ※右記金額には学校・家庭・地域連携事業を含みません	2,443,000	2,353,971	89,029	83
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	950,000	840,549	109,451	9
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	2,760,000	2,733,000	27,000	41
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく3R推進事業の頁に掲載	1,319,000	1,021,572	297,428	67
学校・家庭・地域連携事業 ※青少年活動支援事業の頁に掲載	900,000	764,817	135,183	83

※次ページからの詳細の差引理由について、差引額が10万円未満の事業は差引理由を省略しています。

1-(1)災害に強いまちづくり推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(1) 災害に強いまちづくり推進事業	23,184,000円	21,206,379円	1,977,621円
総務課	差引理由	避難場所、車両借上げ費用の残、及び防災マップ改訂・印刷費用の入札残など	

【事業の概要】

災害発生時の被害を最小限にとどめるために、区民全体の防災意識の向上を目指し、各種啓発事業を実施するとともに、様々な媒体を用いて防災情報を提供し、自助・共助の取組を支援しました。また、災害時の避難所運営体制を強化するため、研修・講習を実施しました。さらに、区本部の体制を強化するため、各種訓練を実施しました。

【主な内容】

1 自助・共助の啓発事業 【予算：10,500,000円、決算：8,235,424円】

(1) 防災キャラバン等の実施

地域のニーズに応じた啓発活動を行い、区民の防災意識の向上につなげるため、自治会町内会や区内小学校等で、専門家による防災キャラバンや防災担当による講座等を実施しました。(防災キャラバン：計11回)

【防災キャラバンのテーマ一覧（5年度）】（※は5年度から追加したテーマ）

テーマ	概要	5年度実績
知的障害や自閉症のある人への支援※	災害時の知的障害や自閉症のある方向けの支援について、当事者からの講義やコミュニケーションボードの使用法説明等	1回
崖防災	崖地防災の基礎知識についての講義	0回
河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	1回
建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	0回
首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	2回
マンション防災	マンション特有の防災対策についての講義	3回
防災食	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	1回
発災時のトイレ問題	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	3回
合 計		11回

【防災キャラバン等の実施状況、参加者数】

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
団体数	6団体	8団体	10団体	8団体	18団体	26団体
実人数	268人	299人	369人	357人	1,304人	1,486人

※内訳：防災キャラバン11団体468人、防災担当による講話等15団体1,018人



【防災キャラバンの様子（5年度）】

(2) 港北支えあい防災教室の実施

要援護者に関わるケアマネジャーや、要配慮者施設（高齢者施設、保育所等）の職員が、防災に関する基礎知識に加えて、職種や施設の特徴を踏まえた知識を得ることができるよう、講習会を実施しました。（計3回 7月～2月）

【5年度の実施状況】

実施回	実施日	対象者	参加人数
第1回	7月27日	福祉施設従事者向け	40名
第2回	11月24日	保育施設従事者向け ※会場とアーカイブ配信のハイブリッド開催	10名
第3回	2月28日	高齢者施設従事者向け ※ワークショップ形式のHUG訓練	16名



【第3回実施の様子】

(3) 「港北シェイクアウト！」の実施

大規模地震発生時の安全確保行動を、区民や区内事業者の参加を募り、一斉に実施しました。（9月）

【「港北シェイクアウト！」実績】

年度	5年度	
参加団体数 (個人申請5件含む)	24団体	
参加者数合計	1,622人	
内訳	教育施設	560人
	保育施設	395人
	事業者	580人
	個人	6人
	その他	81人



【トレッサ横浜で実施した様子（5年9月1日）】

(4) 商業施設等と連携した防災啓発活動

区内の大規模商業施設等と連携した啓発イベントに出展し、啓発活動を行いました。

【出展した防災啓発イベント】

時期	商業施設等名称	イベント名	主な啓発実施内容
9月2日(土)	トレッサ横浜	トレッサ防災フェア 2023	パネル展示、 ワークショップの実施 等
11月25日(土)	横浜アリーナ	ふるさと港北 ふれあいまつり	
3月10日(日)	アピタテラス 横浜綱島	こども防災フェア 2024	



【トレッサ防災フェアで実施したこども防災工作教室の様子】



【ふれあいまつりで実施したブース出店の様子】

(5) 防災講演会の実施

区民の防災意識を醸成するため、大規模災害時の体験談や災害への備え等について、5年度は、「災害時の医療体制」をテーマに、港北区医師会から講師を招き、区民が広く参加することができる講演会を開催しました。(7月14日、参加者111人)

(6) かけ地相談会の実施

区内における崖地周辺の土地所有者の適切な対応につなげるため、専門家が対応する相談会を区独自に実施しました。(12月8日)

(7) まるごとまちごとハザードマップの設置

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、「まちなか」の電柱に想定浸水深や避難場所を示した看板等を、城郷地区及び新羽地区の洪水浸水想定区域内に設置しました。(11月～3月)

【設置状況】

年度	地区(設置数)
4年度	大倉山(50か所) 綱島(50か所)
5年度	城郷(50か所) 新羽(50か所)

※8年度までの5か年で区内の浸水想定区域全域に設置予定



【想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ(城郷地区)】

(8) 外国語版防災マップの作成

日本語を母語としない外国籍の区民や区内在勤者、在学者が平時から防災意識を高め、災害への備えや適切な避難行動を取ることができるよう、英語版の防災マップを作成しました。

(9) 防災マップ、各種ハザードマップ等の更新、印刷

区民が日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、防災マップ、各種ハザードマップ等を更新し、必要部数を印刷しました。(10,000部印刷。区役所、行政サービスコーナーで配架するほか、希望する自治会町内会等に配布)

防災マップには、5年3月に開業した相鉄・東急新横浜線や、震災時の緊急輸送路を追加したほか、給水設備等の状況について最新の情報に更新しました。

2 避難所等の環境改善及び運営支援 【予算：3,369,000円、決算：2,789,223円】**(1) 横浜防災ライセンス資機材取扱講習会（リーダー講習会）の実施**

災害発生時に資機材を取り扱うことができる人材を安定的に確保するため、総務局が行っているリーダー講習会を、区独自に地域防災拠点運営委員に対して実施しました。

(9月、参加人数16人)



【指導員による研修の様子（5年度）】

(2) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機等の資機材について、運営委員会の要請等に対応し修繕・更新を行いました。

(3) アマチュア無線非常通信協力会が使用する無線機の更新

各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器について、継続して運用するため、新規格に対応した機器に更新しました。(8拠点)

なお、更新を要する計13拠点の機器の更新が完了しました。

(4) 指定緊急避難場所の機能強化に係る補助金の交付

風水害時の避難場所運営を強化するため、地域防災拠点のうち、台風などの風水害時に避難場所として開設する可能性がある17拠点の運営委員会を対象に、活動経費や資機材の購入費用として補助金を交付しました。(交付先拠点数：8拠点)

(5) 地域防災拠点訓練参加者向け保険

各地域防災拠点で実施される防災訓練の参加者が訓練時に負傷した場合に備え、傷害保険に加入しました。

(参考) 感染症対策等資機材の整備

洪水浸水想定区域外の地域防災拠点に、感染症対策やプライバシーの確保を目的にパーティションを配備することとしていましたが、4年度に前倒しで対象の17拠点に配備を完了することができたため、5年度の購入、配備は行いませんでした。

3 区災害対策本部の効率的な設置運営 【予算：5,115,000円、決算：7,066,182円】

(1) IP無線機等を活用した円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、IP無線機等の各種通信機器を継続して運用しました。



【IP無線機】

- ・同時通話が可能
- ・全国どこでも通信可能

(2) 災害時における避難場所等運営

災害時に地区センター等を借り上げ、避難場所として開設した場合、施設使用料を負担しますが、5年度中は使用料が発生する施設の借上げは行いませんでした。



【避難場所開設時の様子】

左：日吉地区センター（4年9月） 右：高田東小学校（5年6月）

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施しました。

【訓練】

- ・区職員向け動員訓練（9月～12月）
- ・震災対策本部各班訓練（9月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員向け安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・初動対応輪番者研修
（4月13日、17日 転入責任職18人）
- ・地域防災拠点参与係長研修
（5月10日、12日 31人）
- ・風水害時避難場所運営責任者研修
（6月19日、21日、27日 39人）
- ・拠点動員者研修（11月、資料配布）



【風水害時避難場所運営責任者研修の様子】

(4) 港北区災害対策本部の備蓄品整備等

区本部の備蓄品整備や更新を行いました。また、災害発生時の円滑な資機材の使用や備蓄品の搬出等のため、倉庫内設備の修繕を行ったほか、資機材・備蓄品の棚卸しを行い、配置等を見直しました。

《参考》**統合事業費****緊急時情報伝達システム運用事業【予算：950,000円、決算：840,549円】**

避難指示等の避難情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域等に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用しました。

【対象区域内の配信希望者等(2,925件)】(6年3月末)

・洪水浸水想定区域内災害時要援護者	2,605件
・家屋倒壊等氾濫想定区域となる 新羽町・北新横浜・小机町等の一部の住民	193件
・自治会町内会の会長(区内全域)	124件
・土砂災害警戒情報発表に伴う 即時避難指示対象の区域の住民	3件

4 デジタル技術を活用した災害対策事業【予算：4,030,000円、決算：2,945,550円】**(1) 動画配信サイト(YouTube)を活用した防災啓発**

スマートフォン等を中心に情報収集を行う若年層の防災意識を醸成するため、自助・共助を推進するため任命した「港北区防災大使」が出演する啓発動画を作成し、YouTubeの広告機能を活用して、災害への備えの重要性や各種防災啓発イベントの周知を行いました。

【5年度中の再生回数】

港北シェイクアウト周知編	：約2万2千回
地震への備え編	：約9万1千回
ハザードマップ編	：約18万5千回
災害への備え(備蓄)編	：約4万9千回

**【作成した啓発動画】****(2) 港北区防災情報アプリの運用**

スマートフォンで災害情報等を確認できる「港北区防災情報アプリ」(以下「区防災アプリ」という。)を継続して運用しました。

なお、5年4月から総務局危機管理室により「横浜市避難ナビ」の本格運用が開始されたため、区民の利便性を考慮し、「区防災アプリ」は5年度末をもって発展的に解消しました。

(参考) 区独自の防災情報ポータルサイトの作成

港北区防災ポータルサイトの作成に向け、区内事業者等と連携して検討を進めましたが、6年3月にリニューアルされた「横浜市防災情報ポータル」において、想定していた機能が付加されたため実施しないこととしました。

5 各種団体への補助 【予算：170,000円、決算：170,000円】

災害時に円滑なボランティア活動を実施するため、港北区災害ボランティア連絡会にコーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として補助金を交付しました。

[総務局区配予算]

・地域防災力向上事業

地域防災活動奨励助成金 【予算：3,480,000円、決算：3,480,000円】

区内29か所の地域防災拠点運営委員会へ助成（1拠点あたり12万円交付）

町の防災組織活動費補助金 【予算：17,981,484円、決算：18,338,080円】

区内151団体の町の防災組織へ補助（1世帯あたり160円交付）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (2) 災害時医療整備事業	629,000円	610,097円	18,903円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

災害時医療の対策を講じるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「三師会」という。）をはじめとした関係機関との各種会議の開催や医療救護隊等の訓練を実施するとともに、災害時の体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナース（Yナース）の登録促進と育成を進めました。

【主な内容】

1 災害医療体制の整備 【予算：220,000円、決算：297,560円】

- (1) 災害医療連絡会議 年3回（6月20日、10月31日、2月6日）
三師会、Yナース、病院等の医療関係者と、区、警察、消防等の行政機関が参加し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関し、意見交換や情報共有を行いました。



【災害医療連絡会議】

(2) 災害時の医療体制の区民周知

医療機関や医療救護隊が、限られた資源でより多くの人を救う効果的な活動を行うため、重症度に応じた受診先の選択や軽症者の自助共助による対応等の災害時の医療体制について、三師会と連携して区民向けに周知啓発を行いました。

具体的には、チラシ作成及び配布、広報よこはま区版やX（旧ツイッター）での広報を行いました。（8月）

2 医療救護隊訓練の実施 【予算：50,000円、決算：5,000円】

- ・参集実地訓練（参集拠点2か所、医療調整班本部）（12月）
- ・医療機関報告書持込訓練（10月～11月）
- ・のぼり旗・フラッグ掲出訓練（9月1～7日、1月）
- ・通信訓練 局⇄区：年6回、区⇄医療機関：年4回



【参集実地訓練】



【医療機関報告書持込訓練】



【のぼり旗・フラッグ掲出訓練】

【訓練の参加人数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
参集実地訓練 (実人数)	116人	中止	41人	70人	64人
報告書持込訓練 (参加医療機関数)	—	—	—	41診療所	47機関 (5拠点)

3 医療救護隊用装備品の整備 【予算：316,000円、決算：307,537円】

- ・医療救護隊参集拠点における定点診療に必要な装備品を整備しました。
- ・医療救護隊及び医療調整班保健活動グループの巡回診療に必要な装備品を整備しました。
- ・北部の医療救護隊参集拠点である日吉台中学校コミュニティスクールにおいて、医療資機材用の資材庫及び無線通信設備を整備されたことに伴い、12月の訓練で活用しました。

4 Yナースの登録促進と育成 【予算：43,000円、決算：0千円】

- ・リーフレットによる登録勧奨を行いました。(随時)
- ・広報よこはま区版(8月、1月)や区ウェブサイト、SNS等を活用して登録勧奨を行いました。
- ・参集実地訓練へ参加のもと実施しました。(12月)
- ・Yナース連絡会を立ち上げました。(1月31日)
- ・港北区医師会や神奈川県看護協会主催の研修会への参加勧奨を行いました。(随時)

【Yナース募集
リーフレット】

【Yナース登録人数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
登録人数	66人	56人	72人	64人	66人

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (3) 快適な暮らしの衛生 応援事業	500,000円	485,051円	14,949円
生活衛生課	差引理由		

【事業の概要】

区民の安全で快適な暮らしのため、食中毒、衛生害虫及びペットに関する相談対応を行うとともに、食中毒・感染症、動物の適正飼育及び災害時のペット対策の啓発を行いました。

また、啓発媒体のデジタル化の推進により、区ホームページへのアクセス数が向上しました。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策事業 【予算：310,000円、決算：296,331円】

イラスト、動画、クイズ等を掲載したSNSを発信し、区ウェブサイトにて誘導して食中毒・感染症予防啓発を推進しました。

【食中毒・感染症発生件数】

暦年		30年	元年	2年	3年	4年	5年
食中毒	件数	7件	4件	3件	2件	2件	0件
	患者数	62人	48人	24人	7人	4人	0人
感染症※	件数	22件	26件	22件	35件	43件	41件
	患者数	181人	310人	41人	274人	202人	731人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌、レジオネラ症等

2 住まいの衛生及びペットに関する相談・啓発事業 【予算：190,000円、決算：188,720円】

衛生害虫やペットのマナーに関する相談受付及び災害時ペット対策の啓発を推進しました。

- ・ハチ、ねずみ等衛生害虫に関する相談受付しました。(通年)
- ・ペットの適正飼育に関する相談受付、啓発・指導を実施しました。(通年)
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発を実施しました。(4月15日、23日)
- ・地域防災拠点運営委員会等での啓発を実施しました。(19回)

【衛生害虫・ペット関係の相談件数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
衛生害虫	567件	540件	405件	516件	469件	378件
ペット	175件	222件	199件	154件	126件	120件



【マナー・防災に関する啓発資料】



【ペットのマナー・防災対策教室】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (4) 交通安全 無事故でカエル事業	5,340,000円	5,240,777円	99,223円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力した啓発活動を行いました。特に、子どもと高齢者を中心にした事業を実施しました。

【主な内容】

1 児童交通安全対策事業 【予算：4,845,000円、決算：4,896,412円】

- (1) はまっ子交通安全教室 : 小学校23校
- (2) 交通安全ポスターコンクール : 応募446点
- (3) スクールゾーン路面標示 : 44か所
スクールゾーン電柱巻 : 90か所
- (4) 「はまっ子交通安全教室」の動画作成

作成した動画を、授業などの教材として放送することで、区内小学生の交通安全意識を醸成し交通事故の削減を図りました。(1本)



【ランドセルカバー贈呈式】



【はまっ子交通あんぜん教室】



【スクールゾーン路面標示】



【児童向け交通安全教育動画】

2 交通安全運動事業 【予算：133,000円、決算：120,865円】

- (1) 各種交通安全キャンペーン
 - ・春の交通安全キャンペーン：新横浜駅にて街頭啓発実施
(5月 70人参加 啓発物品400個配布)
 - ・夏の交通事故防止運動：日吉駅にて街頭啓発実施
(7月 37人参加 啓発物品300個配布)

- ・秋の全国交通安全運動：トレッサ横浜にて啓発実施
(9月 50人参加啓発物品400個配布)
- ・年末の交通事故防止運動：新横浜駅にて街頭啓発実施
(12月 22人参加 啓発物品400個配布)
- ・他に自転車マナーアップキャンペーン、二輪車事故防止の啓発活動等の実施

(2) 安全安心のつどいの開催

交通安全功労者、ポスターコンクールの入賞者、防犯活動功労者の表彰等を実施 (12月)
開催場所：港北区公会堂
参加者：約250人



【各種交通安全キャンペーン】

3 高齢者交通安全対策事業 【予算：300,000円、決算：193,800円】

- (1) 交通安全シルバーリーダー連絡協議会総会 (5月)
- (2) シルバードライビングスクールの開催 (12月 菊名ドライビングスクール)
- (3) 高齢者ウォークラリー (5月 雨天により新羽地域ケアプラザで交通安全教室の実施 14人参加、9月 港北区役所から大倉山公園の間で実施 20人参加)
- (4) 落語による高齢者向けの交通安全教育動画を作成し、区ウェブサイト及びYouTubeで配信するほか、様々な機会を活用しました。

【シルバードライビングスクールへの参加者数の推移】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
延べ数	37人	中止	中止	19人	11人

【ウォークラリーへの参加者数の推移】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実人数	69人	中止	中止	23人	34人



【シルバーウォークラリー】



【シルバードライビングスクール】



【交通事故教育動画】

4 子育て関連施設交通安全対策事業 【予算：62,000円、決算：29,700円】

施設の存在を知らせ子どもの飛出しに注意を促す「電柱巻看板」を新規開園等の施設付近の電柱に設置し、乳幼児の事故防止を図りました。(3か所)



【電柱巻看板】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (5) 放置自転車対策事業	3,848,000円	3,634,500円	213,500円
地域振興課	差引理由	監視員事業の入札残 など	

【事業の概要】

駅前において歩行者の安全を確保するため、自転車等の放置が著しい駅周辺へ自転車等放置防止監視員を配置しました。

また、自転車等放置防止推進協議会の活動を支援するとともに、自転車等の放置防止を促す取組を行いました。

【主な内容】

1 監視員事業 【予算：3,318,000円、決算：3,186,000円】

駐輪禁止区域内の自転車等の放置防止やマナーアップを図るため、自転車等の放置が著しい駅周辺へ自転車等放置防止監視員を配置しました。

【自転車等放置防止監視員配置回数（1回あたり1人3時間）】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
延べ 配置回数	3,264	2,836	1,952	1,752	1,576

【区内全駅の1日における放置台数（合計）】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
放置台数	422	365	214	330	181
駐輪場台数	19,896	19,981	20,039	19,461	20,036

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋
（11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数）

【道路局区配予算】

- ・自転車マナーアップ事業【予算：6,274,000円、決算：6,274,000円】
自転車放置防止監視員の配置（区づくり推進費と合算して執行）

2 地域活動事業 【予算：530,000円、決算：448,500円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成（11協議会）するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、各駅の状況に応じた協議会の活動を支援しました。（通年）

また、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、区内の各駅協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会」を開催しました。（2月）



【放置自転車クリーンキャンペーン】

《参考》

【道路局が実施する各駅の撤去回数（回）】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
平日	242回	320回	323回	232回	175回
休日	57回	31回	56回	37回	20回

局事業

[道路局事業]

- ・ 放置防止等移動・保管・返還業務

来街者も多く放置自転車の多い駅は集中的な対策を維持する必要があるため、重点的に移動作業を実施しました。

1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	852,000円	762,555円	89,445円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区民の防犯意識を醸成し、安心して暮らせるまちづくりのため、地域の要望に合わせた防犯関連物品等を提供し、区民が主体となって防犯活動を行うことができるように支援を行いました。

あわせて、区内の犯罪発生情報を迅速に提供し、地域の防犯活動に役立てることに加え、特殊詐欺の手口や対策の周知を積極的に行うことで地域の防犯力の向上と安全で安心なまちの実現を目指しました。

【主な内容】

1 防犯情報メールの配信事業 【予算：132,000円、決算：132,000円】

防犯情報メールの登録者を対象に、警察から情報提供があった犯罪発生状況等を、メールやFAXで「防犯情報メール」として配信しました。特に、特殊詐欺については、前兆電話があったという情報を、メールで「特殊詐欺警報」として即時に配信しました。

【防犯情報メール登録者数】

年度	元年度末	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末
延べ登録者数	9,711人	10,622人	11,250人	11,569人	11,778人

2 防犯啓発活動事業 【予算：500,000円、決算：234,555円】

(1) 防犯パトロール関連物品の作製配付

「のぼり旗」や「ベスト」など、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作製、配付し、地域の防犯活動を支援しました。また、新綱島駅、新横浜駅周辺における啓発活動にも活用しました。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で回り、放送による防犯啓発を行いました。子どもの下校時間に合わせた見守りとともに、警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々状況に合わせた注意を放送で呼び掛けました。



【青色防犯灯装備車によるパトロール】



【防犯のぼり】

(3) 港北AAA（安全で安心な明日を）作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や港北企業防犯協会等の防犯関係団体、地域、学校、事業者による「港北AAA作戦会議」を開催しました。（6月16日）

(4) 港北区安心・安全のつどいの開催【再掲（P15）】

交通安全功労者表彰等と併せて、防犯功労者表彰や防犯講話を公会堂で実施しました。（12月4日）

3 「子ども110番の家」ネットワーク会議

各小学校の「子ども110番の家」活動の情報交換を目的とした「子ども110番の家ネットワーク会議」の役員会を開催しました。（6月30日）

各小学校のPTAの代表者を対象に「子ども110番の家」活動の情報交換を目的とした「子ども110番の家ネットワーク会議」を開催しました。（当日、荒天のため書面開催）

4 特殊詐欺対策機器設置啓発事業 【予算：220,000円、決算：396,000円】

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、特殊詐欺対策に有効な迷惑電話防止機能付き電話機について広報を行い、各家庭での電話機設置を促しました。また、警察や民間企業と連携し、巡回訪問時に啓発グッズを配布してもらうなど、特殊詐欺防止の啓発を実施しました。



【啓発チラシ】



【啓発グッズ①】



【啓発グッズ②】

【市民局区配予算】【予算：90,000円、決算：90,000円】

・地域防犯啓発事業

港北区内の小学校を通じて子ども110番の家にご協力いただける家庭に配付する子ども110番の家プレートを作製しました。

《参考》

【港北区内犯罪発生状況（暦年）】

年	元年	2年	3年	4年	5年
犯罪発生件数	1,453件	1,109件	1,215件	1,426件	1,728件
特殊詐欺	74件	35件	58件	105件	84件
同被害額	1億8,400万円	5,500万円	1億4,345万円	1億8,532万円	約1億6,950万円

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(7) 地域における災害時 要援護者支援推進事業	995,000円	1,012,180円	▲17,180円
高齢・障害支援課	差引理由		

【事業の概要】

地域の自主防災組織と災害時要援護者（以下「要援護者」という。）との平常時の関係構築と要援護者の防災意識醸成の取組を推進するため、地域への情報提供に同意した要援護者宅への訪問用の防災物品と啓発チラシを配付しました。

また、長期停電時に要電源医療機器利用者（常時電源を要する医療機器を在宅で使用する方）の電源確保を区内の協力企業がサポートする共助の仕組みを構築しました。

【主な内容】

1 災害時要援護者訪問推進事業 【予算：645,000円 決算：789,760円】

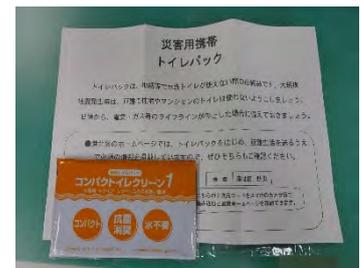
自治会町内会等の地域の自主防災組織と要援護者との平常時の関係構築及び要援護者の防災意識の醸成を推進するため、地域の方が要援護者宅に訪問する際に持参する携帯トイレパックと防災情報等の啓発チラシを配付しました。

配付数：6,000部

【健康福祉局区配予算】【予算：2,023,800円 決算：1,404,365円】

・災害時要援護者支援事業

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者・障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿を提供します。



【備蓄物品と啓発チラシの例】

2 要電源医療機器利用者支援事業 【予算：350,000円 決算：222,420円】

区内の協力企業に災害用としてポータブルバッテリーを貸与し、長期停電時に協力企業による共助の取組として充電済みのバッテリーを要電源医療機器利用者に貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電支援を行う体制の整備を進めました。

協定締結済企業数：12社、利用登録者：7人

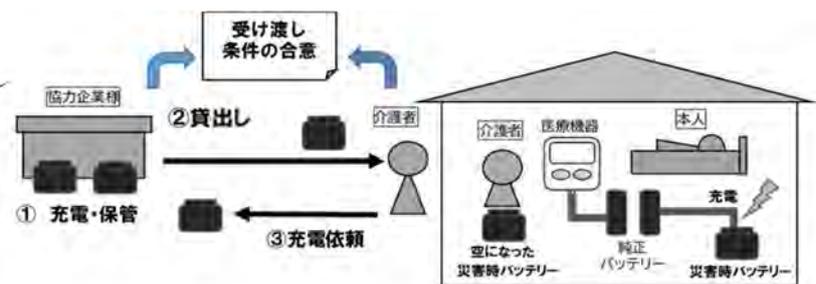
【取組のイメージ図】

協力企業は区が用意したポータブルバッテリーを使って

①平常時は充電・保管

②1日超の長期停電時に貸出し

③対象者のバッテリーの充電のサイクルを作ります。



《参考》

【港北区における要電源医療機器利用者の推定人数（※）】

- ・人工呼吸器利用者数 推定 50 人
- ・自動腹膜装置利用者数 推定 10 人



【貸出用ポータブルバッテリーの例】

※要電源医療機器利用者が、必ずしも障害者手帳等の行政サービスを利用しているわけではないため、区役所による対象者の把握は困難です。そのため、健康福祉局の要電源医療機器利用者登録制度を活用し、協力企業とのマッチングを行いました。

《参考》

局事業

【健康福祉局事業】

- ・横浜市要電源障害児者等災害時電源確保支援事業
災害等による停電時の備えとして、電源が必要な医療機器を在宅で使用している方に対し、市民税所得割額等に応じて蓄電池等の非常用電源装置の給付を行いました。
- ・横浜市災害時要電源障害児者等登録制度
電源が必要な医療機器を在宅で使用される方のうち、災害時（発災前を含む）に支援が必要な方を把握することで、災害対策検討、広報、情報発信等、様々な施策に活用していくことを目的とした登録制度。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(1) 「ひっとプラン港北」 推進事業	1,439,000円	1,371,015円	67,985円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「第4期港北区地域福祉保健計画（計画期間：3年度～7年度）」（以下「ひっとプラン港北」という。）の区計画を推進するとともに、13地区で策定した地区計画の推進を支援し、助け合い支え合いのある、安心して暮らせるまちを目指しました。5年度は、「ひっとプラン港北」の3年目となることから、進捗状況の中間振り返りを実施しました。

【主な内容】

- 1 「ひっとプラン港北」に関する区民意識調査 【予算：500,000円、決算：493,350円】
 - ・中間振り返りや地域課題への検討を目的としたアンケート調査を実施し、結果をまとめました。（2月）
- 2 区計画推進・地区計画推進支援 【予算：389,000円、決算：360,798円】
 - (1) 区計画推進
 - ・「ひっとプラン港北」策定・推進会議を開催しました。（7月、2月）
 - ・地域活動への参加を促す広報を実施しました。（6月～8月：リーフレット配布、動画広告）第4期区計画の重点目標である「幅広い住民の地域活動への参加促進」に向け、特に30～40代の若い世代の参加のきっかけになるよう、新たな試みとしてインストリーム広告（動画広告）を実施しました。
 - (2) 地区計画推進支援
 - ・地区計画サポートスタッフ（区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ）による各地区の状況に応じた地区計画推進の支援を実施しました。（通年）
- 3 「ひっとプラン港北」周知・啓発 【予算：550,000円、決算：516,867円】
 - (1) 「ひっとプラン港北 地区計画ニュース」を発行しました。（3月）



【地区計画ニュース表面（13地区作成）】 【地区計画ニュース裏面（共通）】

- (2) 港北ほくほくフェスタ「区民フォーラム」を開催しました。

「このまちが好き！～子どもからつながる、みんなのちょっとイイ関係～」をテーマに、子どもたちと地域をつなげる取組、子どもをきっかけに若い世代と地域がつながる取組事例を活動団体が発表し、人と人とのつながりづくりや未来を担う人材育成を推進しました。（11月）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-2 地域子育てサポート事業	9,041,000円	6,816,680円	2,224,320円
こども家庭支援課	差引理由	土曜両親教室等の区配予算活用による減	

【事業の概要】

妊婦とそのパートナー及び子育て中の保護者が、孤立感を持つことなく安心して子どもを産み育てられるよう、地域の子育て支援施設の利用や仲間づくりの支援、児童虐待防止対策等に取り組むことで、妊娠期から切れ目のない支援を実施しました。

【主な内容】

1 「親と子のつどいの広場」妊娠期支援事業 【予算：700,000円、決算：400,000円】

妊婦とそのパートナーを対象に、地域の子育て支援施設の周知及び仲間づくりの場の提供のため、親と子のつどいの広場で、マタニティプログラム*を実施しました。(各施設年4回以上)

*マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流・沐浴などの子育て体験等

【実施施設数・実施回数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実施施設数	6施設	6施設	6施設	4施設
実施回数	59回	84回	81回	66回

《参考》

局事業

[こども青少年局事業]

・親と子のつどいの広場事業

主に0～3歳の未就学児とその保護者を対象に、利用者同士の交流やつどいの場の提供、相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施しました。

[こども青少年局区配予算]

・SNS等を活用したオンライン母子保健相談のモデル実施

【予算：5,600,000円、決算5,500,000円】

妊婦とそのパートナー及び0歳児を育てる保護者を対象に、スマートフォン等から相談フォームを活用して医師、助産師等に相談できるオンライン母子保健相談事業を実施しました。今後は局事業として、パマトコ(子育て応援サイト・アプリ)を通じて、妊産婦及び未就学児の養育者が無料で医師等に相談できる事業を実施する予定です。

2 土曜両親教室事業 【予算：1,000,000円、決算：0円】

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくりのため、パートナーも参加しやすい土曜日に地域子育て支援拠点、地域ケアプラザで両親教室（対面開催）を実施しました。また、平日夜と土曜日にオンライン両親教室も実施しました（年59回のうち、土曜両親教室（対面開催）36回 オンライン両親教室23回）。

なお、執行予算は、すべて局予算を活用しました。

【実施回数・参加人数】

土曜両親教室（対面開催）

年度	4年度	5年度
実施回数	36回	36回
延べ人数	980人	1,116人

オンライン両親教室

年度	4年度	5年度
実施回数	24回	23回
延べ人数	384人	259人

※4年度から事業開始

[こども青少年局区配予算]

- ・育児参加促進講座休日実施事業等 【予算：1,102,000円、決算：1,102,000円】
土曜両親教室事業及びみんなの両親教室事業を実施しました。

[こども青少年局区配予算]

- ・両親教室 【予算：324,000円、決算：290,000円】

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、区役所で、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を開催しました。（3回連続講座×年12コース）

3 みんなの両親教室事業 【予算：102,000円、決算：0円】

これまでの両親教室の対象者（第1子を妊娠している妊婦とそのパートナー）だけでなく、より多くの人を対象に、出産・子育てに向けた心構えや準備について学ぶ教室を、地域子育て支援拠点で実施しました。

なお、執行予算は、すべて局予算を活用しました。

- ・これから父親になる方向け：年4回
- ・第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け：年5回

【開催日程・場所】

	開催日	場所
これから父親になる方向け	6月17日	どろっふサテライト
	9月16日	どろっふ大倉山
	3月9日	どろっふ
	3月9日	どろっふサテライト
第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け	4月28日	どろっふサテライト
	7月21日	どろっふ大倉山
	9月15日	どろっふ大倉山
	11月24日	どろっふサテライト
	1月17日	どろっふ大倉山

【実施回数・参加人数】

年度		5年度
これから父親になる方向け	実施回数	4回
	延べ人数	21人
第2子以降	実施回数	5回
	延べ人数	15人

4 「にんしん・あんしん・つながり」推進事業 【予算：445,000円、決算：447,680円】

産後6か月までの妊産婦とそのパートナーを対象に、地域の子育て支援施設の周知及び利用のきっかけづくりを目的に、港北区の妊娠期の取組が網羅されたリーフレットや親と子のつどいの広場の利用体験券を配布しました。

【親と子のつどいの広場の利用体験券配布枚数・利用延べ件数】

年度	4年度	5年度
配布枚数	4,747枚	4,257枚
利用延べ件数	159件	229件

※4年度から利用体験券を配布

【参考】

令和元年度から3年度は、つどいの広場でのプレゼント交換チケットを区役所窓口で配布。

年度	元年度	2年度	3年度
チケット配布枚数	500枚	1,718枚	1,565枚
プレゼント交換数	56個	187個	409個

《参考》

局事業

【こども青少年局事業】

- ・母子保健コーディネーターによる相談支援

主に妊娠届出時から産後4か月までの不安定な時期を中心に、一人ひとりの状況に応じた産後までのスケジュールの確認や、両親教室等の産前産後に利用できるサービスのご案内や訪問等、継続した支援を実施しました。(5年度妊娠届出数：3,207件)

5 地域育児教室（赤ちゃん会） 【予算：1,795,000円、決算：1,819,891円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館や地域ケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施しました。(全24会場 年240回)

箕輪地区は申込状況を鑑み5年度から1会場増やしました。

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
開催回数	211回	140回	226回	229回	240回
実人数	2,788人	1,762人	2,209人	2,380人	2,313人
延べ人数	7,732人	3,171人	5,579人	6,661人	6,428人

※令和2年7月から新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場ごとに定員の上限(予約制)を設定

6 児童虐待防止対策事業 【予算：1,105,000円、決算：902,470円】

- ・学齢期以降の子を持つ保護者を対象としたグループミーティング（月1回、5年度から実施）
- ・「子どものかかわり方」講座（対象：子育て世帯及び関係者、11月28日）
- ・区全体会（対象：港北区要保護児童対策地域協議会関係機関、7月4日）
- ・児童虐待防止啓発グッズの作製（11月）
- ・ふれあいまつりでの啓発ブース設置（11月25日）
- ・民生委員・児童委員協議会地区（全23地区）を12エリアに区分したエリア別連絡会
前年、前々年度未実施エリア等、4エリアで実施。（高田地区・新吉田・新吉田あすなろ地区
綱島地区・大倉山地区）
- ・病院、学校等の関係機関と機関別連絡会の開催
小中学校（6月26日）
横浜市総合リハビリテーションセンター（2月28日）
横浜労災病院（2月21日）

7 歯つらつ1歳歯みがき教室 【予算：517,000円、決算：515,795円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や、歯みがきの実習を実施しました。

（全48回：歯みがきをこれから開始する方向け、24回
歯みがきをすでに開始している方向け、24回）

【歯みがき教室参加者数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実人数	778人	143人	365人	397人	523人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で8月から再開

《参考》

局事業

[こども青少年局事業]

- ・乳幼児歯科相談

乳幼児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や、個別歯みがき指導を実施しました。（年24回）

8 母乳育児相談 【予算：219,000円、決算：219,687円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しました。(年24回)

【母乳育児相談参加者数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実人数	116人	102人	80人	100人	111人

<<参考>>

局事業

[こども青少年局事業]

- ・横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしました。

利用料：1回につき9,000円（自己負担4,000円）

対象：生後4か月未満の子どもを持つ母親

利用回数：3回まで（1回につき60～90分程度）

9 「窓口対応満足度」向上事業 【予算：2,738,000円、決算：2,389,484円】

区役所に来所した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口以案内員を配置しました。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、子どもを預かる保育協力者を配置しました。

【窓口案内員配置日数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
案内員配置日数	169日	142日	157日	167日	166日

10 「保育所等による子育て支援」事業 【予算：420,000円、決算：121,673円】

(1) にこにこ広場

子育て家庭への支援を目的に、親子が一緒に参加して楽しめる、公私立保育所合同の育児講座（食育コーナー、区内保育所紹介パネル、育児講座等）を実施しました。

【令和5年度実施日程】

- ・日吉本町地域ケアプラザ 7月4日
- ・宮前公会堂 11月1日
- ・港北保育園 園庭と支援棟 11月7日
- ・樽町地域ケアプラザ 11月29日
- ・菊名コミュニティハウス 1月23日

【にこにこ広場参加者数】

年度	元年度	2年度*	3年度	4年度	5年度
実人数	494人	中止	259人	321人	347人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で中止

(2) ベビーステーション

乳幼児とその保護者に対し、外出しやすい環境を整えるため、オムツの交換や授乳用の場所として保育所や公共施設等を開放する取組を実施しました。

より多くの方に利用していただくために、ベビーステーションステッカーの掲出を協力施設に依頼し、取組を周知しました。

【ベビーステーション協力施設数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
協力施設数	92施設	94施設	94施設	95施設	95施設

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2- (3) 保育所支援・情報提供事業	1,885,000千円	1,453,385円	431,615円
こども家庭支援課	差引理由	印刷製本費の入札残 など	

【事業の概要】

区内保育所等を支援するため、保育士の確保や保育の質の向上につながる取組を行いました。また、保育所等情報を掲載した区独自の利用案内を作成・活用し、保育所等の利用に関する制度について情報を発信しました。

【主な内容】

1 保育士確保事業 【予算：500,000円、決算：454,410円】

保育士の採用や定着に苦慮している保育所等に対して区独自で専門のコンサルタント派遣及び保育所等の見学ツアーを行い、保育士確保を支援しました。

- ・港北区内民間保育所等を対象に、3園実施しました。

2 民間園向け研修事業 【予算：150,000円、決算：135,000円】

区内保育所等を対象とした施設長会の開催に合わせて、「保育の質の確保」を目的として、外部講師による研修を3回実施しました。

【研修日時・内容】

開催日	内 容	参加園数
令和5年6月21日	基本スキル《傾聴》《承認》	77園
令和5年9月15日	「人の心理を理解する」～難しい人とのコミュニケーション～	76園
令和6年2月27日	1対多のコーチング・園の運営、経営を考える	80園

3 保育所等情報提供事業 【予算：1,235,000円、決算：863,975円】

区内の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービスなどについて分かりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内等を作成・配布しました。

- ・発行部数：10,000部
- ・配布場所：区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、港北区地域子育て支援拠点「どろっふ・どろっふサテライト」

2-(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	798,000円	522,950円	275,050円
こども家庭支援課	差引理由	内部講師活用による報償費の減 委託料の入札残 など	

【事業の概要】

放課後児童健全育成事業所の運営体制の強化等を図るために、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ（以下「クラブ」という。）に従事する職員に対して研修を実施し、職員の能力向上に結びました。また、日頃顔をあわせる機会の少ない各クラブ職員に対し、顔をあわせる場を提供し、職員間のグループワーク等を通じてクラブ間の連携強化を促進しました。

さらに、クラブを利用する児童やその保護者が利用したいクラブをより適切に選択できるよう、クラブ情報の周知を図りました。

【主な内容】

1 クラブ職員研修事業 【予算：273,000円、決算：196,000円】

【研修への参加人数】

研修テーマ	内 容	実人数	実施時期
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	30人	6月
表現活動 (作品づくり)	身近なもので作る工作・絵描き等を通じた表現活動の指導ポイント	19人	7月
障害児対応	障害のある児童、配慮を要する児童等への対応	15人	9月
保護者対応	保護者とのコミュニケーションの取り方	8人	10月
発達理解	児童の発達段階、年齢に応じた関わり方	31人	11月
事故・怪我予防 応急処置	事故の特徴、事故防止ポイント及び手当の仕方 AEDの使い方	23人	1月

研修対象：放課後キッズクラブ26か所、放課後児童クラブ32か所



【研修の様子（左：防災、右：表現活動）】

2 クラブ情報提供事業 【予算：525,000円、決算：326,950円】

クラブを利用する児童やその保護者のクラブ選定時の負担を軽減するため、クラブの写真や、特色等の情報を集約した一覧データを作成し、区ウェブサイトに掲載しました（9月）。

就学時健診の際に、一覧を掲載したページにアクセスできるQRコード等を掲載したチラシを配布することで、一覧データの活用を促進しました（11月）。

- ・対象経費：掲載用一覧データ及びチラシデザイン、チラシ印刷及び配送
- ・配布数：チラシ5,000枚
- ・配布対象：保護者3,200人、保育所等154園

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(5) 離乳食教室	1,526,000円	1,511,669円	14,331円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

子どものより良い成長のため、離乳開始時期から離乳完了までの各時期に必要な情報を保護者に伝え、一人ひとりの状況に応じた支援により安心して離乳を進めていくため、離乳食教室及び個別栄養相談を実施しました。

【主な内容】

1 離乳食教室 【予算：1,190,000円、決算：1,141,349円】

7～8か月児とその保護者を対象に、安心して離乳を進めていくため、離乳食教室を実施しました。1回当たりの参加者数を減らし、実施回数を月3回から月4回にすることで、参加者に対し、よりきめ細かな支援を行うことができました。

また、コロナ禍で試食ができず講話のみになっていたため、試食を一口量や固さ体験に変更して実施しました。

- ・回数：月4回、年間48回
- ・会場：区役所
- ・内容：講話、一口量体験、個別相談

※予約制に変更

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	元年度※ ¹	2年度※ ²	3年度	4年度	5年度※ ³
実施回数	33回	18回	36回	36回	48回
参加者数 (実人数)	712人	119人	379人	394人	419人
一回あたりの 平均参加者数	21.5人	6.6人	10.5人	10.9人	8.7人

※1 新型コロナウイルスの影響で2月の参加者数減、3月（3回）は教室を中止

※2 新型コロナウイルスの影響で実施回数減（18回）及び参加者数減

※3 令和5年度から予約制を開始

2 子どもの個別栄養相談 【予算：72,000円、決算：72,000円】

生後5か月以降の子どもとその養育者を対象に、個々の離乳食の不安や負担感の軽減を図るため、子どもの個別栄養相談を実施しました。

- ・回数：月3回、年間36回
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談

【子どもの個別栄養相談の相談者数】(健康福祉局区配と合算)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実人数	93人	101人	103人	108人	107人

※子どもの個別栄養相談は、区配予算と合算して月3回の定例日を設定した上で、別日も必要に応じて対応

【健康福祉局区配予算】

- ・乳幼児食生活健康相談 【予算：168,000円、決算：167,422円】
0～18歳の子どものその保護者に対して食生活健康相談を実施

3 港北区離乳食手帳等の配付 【予算：264,000円、決算：298,320円】

離乳食の基礎知識を保護者が学べるよう、離乳食手帳を作成し、4か月児健診の際に配付しています。また、離乳食教室の案内ちらしを作成し、配付しました。

- ・作成部数：離乳食手帳 3,500部、離乳食教室案内ちらし 3,500部



【離乳食手帳】



【離乳食教室案内ちらし】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,778,000円	2,824,015円	953,985円
高齢・障害支援課	差引理由	VR認知症当事者体験の実施回数の減、及び生活体験事業の内容変更に伴う委託料の減	

【事業の概要】

誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者等への理解を深める啓発や関係者への支援を行います。また、区役所窓口での来庁者へのサポートを実施しました。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【予算 1,165,000円、決算 492,158円】

(1) 人材育成とネットワークの構築

- ・認知症キャラバン・メイト（認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師）の情報共有等のために、つどいの場を開催しました。（9月21日）
- ・地域包括ケアシステム構築に有効なツールである地域ケア会議*を効果的に開催できるよう、地域包括支援センター職員・区職員を対象に地域ケア会議基礎研修を実施しました。（6月29日）また、医療・介護・地域組織等の代表者を構成員とする区レベル地域ケア会議を開催しました。（1月17日）
- ※ 地域ケア会議：多職種協働による個別事例の検討等を通じて、地域のネットワーク構築や課題共有・解決等を図る会議
- ・地域に住む人・働く人など多様な主体で高齢者を支える体制づくりのため、港北区商店街連合会加入商店に対して、VR（仮想現実）機器による認知症当事者体験会を開催しました。（参加者24名）（9月28日）

(2) リーフレット等を用いた普及啓発

- ・住民主体の地域活動（サロン、趣味活動の場、生活支援等）情報をまとめたリーフレットを配布し、高齢者が身近な場所でやりがいや生きがいを感じながら地域活動ができるよう普及啓発を進めました。
- ・認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になっても、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」を運用しました。また、パンフレットを配布し、普及啓発を進めました。
- ・高齢者虐待防止ハンドブックを配布し、普及啓発を進めました。



【きょういく・きょうようガイド
(地域活動情報リーフレット)】



【かえるネットパンフレット】



【高齢者虐待防止
ハンドブック】

<地域包括ケアシステムイメージ図>



《参考》

【港北区における高齢者の状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
65歳以上人口	68,416人	69,251人	69,880人	70,289人	70,730人 (市内3位)	71,222人 (市内4位)
高齢化率	19.7%	19.8%	19.9%	20.0%	19.9%	20.0%
認知症高齢者数※	6,714人	6,964人	6,764人	6,263人	6,696人	7,725人
要介護認定者数(1号)	12,309人	12,566人	12,840人	13,189人	13,297人	13,778人

※要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数。
2年度～4年度半ばまで新型コロナウイルスの影響で訪問調査が省略され、自立度が不明なケースが除外されている。実質的には2年度以降も増加傾向。

[健康福祉局区配予算]

- ・介護予防関連事業 【予算1,200,759円 決算990,230円】
フレイル予防講演会（5年ぶりに公会堂講堂で実施）、公募型自主活動グループ交流会、地域診断研修（地域ケアプラザ職員等向けの地域データ分析研修）の実施。地域の活動への専門職の派遣や、元気づくりステーションの活動・立ち上げ支援。
- ・認知症関連事業 【予算285,000円 決算224,700円】
認知症家族のための介護者セミナーや、区民向けの認知症講演会などを実施
- ・虐待予防関連事業 【予算48,500円、決算9,130円】
介護サービス従事者等向け虐待防止に関する研修会や、虐待防止のためのネットワークミーティングの開催などを実施

[医療局区配予算]

- ・医療介護関連事業 【予算323,360円、決算180,360円】
ACP（アドバンス・ケア・プランニング：略称 人生会議）の人材育成研修・普及啓発

2 障害者支援事業 【予算 896,000円、決算 534,066円】

(1) 支援者向け研修

港北区地域自立支援協議会*人材育成部会において、支援機関の連携強化や支援技術向上のための研修会を企画・開催しました。(2月27日)

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います(障害者総合支援法89条の3)。

【5年度 自立支援協議会 活動内容(一部抜粋)】

実施テーマ	部会
施設従事者等による虐待防止(研修)	全体会議
医療との連携について	人材育成部会
グループスーパービジョンについて(講義・グループワーク)	相談支援部会

(2) 講演会・啓発イベントの実施

ア 精神保健に関する講演会

メンタルヘルスの向上や精神障害の理解啓発を目的として、区民向けに講演会を実施しました。(12月8日)

【過去の講演会テーマ】

年度	テーマ	参加者数
30年度	死にたい気持ちの受け止め方	20人
元年度	ペットロスについて考える	83人
2年度	(新型コロナウイルスの影響により中止)	—
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	メンタルヘルスの回復とは ～ピアサポートとリカバリーについて考える～	54人
5年度	生きづらさを抱える本人と家族の体験談 ～まもろうよこころ 私たちが気づいて、できることって何だろう～	39人

イ 啓発イベント

港北区地域自立支援協議会、港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会との連携により、障害理解の啓発イベントを実施しました。(3月10日)

【過去の実施内容】

年度	内容	参加者数
4年度	映画「だってしょうがないじゃない」上映会	111人
5年度	映画「星に語りて」上映会	128人

※4年度から実施

(3) 健康講座等の開催

自身の健康について理解を促進するため、作業所の利用者向けに健康講座等を開催しました。

- ・希望のあった作業所に対し出張健康講座を開催しました。(4月12日・24日、8月30日)
- ・感染症対策研修を開催しました。(11月22日)

【健康講座実施状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実施回数	5回	4回	1回	1回	1回	4回
参加者数	58人	54人	13人	11人	14人	74人

(4) 生活体験事業の実施《新規》

一人暮らし経験のない障害者が、実際の一人暮らしと同じ環境で生活を体験できるよう、マンションの借り上げ等を行い、地域での生活の具体的なイメージを持つための支援を行いました。(2月1日～28日)

【事業実施内容】

内 容：物件を1か月借り上げ、見学や最大2泊の宿泊体験等を実施。

対象者：港北区在住の概ね18歳以上で、精神障害者保健福祉手帳を所持している方等

実 績：5人(見学3人、日中体験2人)

宿泊体験から日中体験への変更1人、キャンセルを3人、相談件数は約10人

【健康福祉局区配予算】

- ・精神障害者の生活教室事業 【予算 89,000円、決算 90,265円】

精神障害者の対人関係の改善や社会生活への適応促進等を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施

- ・難病相談事業 【予算 251,270円、決算 187,209円】

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送ることができるよう、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施

《参考》

【港北区における障害者の状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
身体障害者 手帳所持者数	7,320人	7,436人	7,391人	7,379人	7,294人	7,231人
精神保健福祉 手帳所持者数	2,595人	2,755人	2,909人	3,151人	3,413人	3,657人
「愛の手帳」 所持者数	2,222人	2,308人	2,400人	2,494人	2,603人	2,713人
合計(延べ数)	12,137人	12,499人	12,700人	13,024人	13,310人	13,601人

3 窓口サポート事業 【予算 1,717,000円、決算 1,797,791円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続き支援や案内を行いました。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度*
件数	3,669件	2,873件	1,621件	1,413件	1,738件	3,393件

※敬老パスのICカード化等、窓口での手続き支援や案内等の増

《参考》

【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数の状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
件数	18,584件	19,697件	14,925件	16,897件	17,717件	17,899件

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	1,800,000円	1,799,160円	840円
こども家庭支援課	差引理由		

【事業の概要】

学期期の児童が、そのらしさを発揮しながら健やかに生活ができるよう、登校支援や自宅での生活支援等の取組を実施しました。

【主な内容】

- 1 港北区版寄り添い型生活支援専門員の派遣事業 【予算：1,800,000円、決算：1,799,160円】
不登校児や養育支援を要する学齢児を対象に、登校や生活能力の獲得を目的に、個別訪問による登校支援及び生活習慣の実践的な支援を実施しました。
対象児童の個別目標を設定し、到達について確認しました。

(1) 登校支援

不登校となっている児童に対し、個別に自宅に訪問し、登校支援を行いました。

(2) 生活支援

自宅での生活能力の獲得に向けて、自宅を訪問し児童と一緒に自宅での生活能力の獲得のための実践的な生活支援を行いました。

(3) 児童が安心して過ごせる居場所利用等に繋げる支援

支援への心理的ハードルが高い保護者・児童に対し、生活支援専門員が訪問を行い相談等にのることで、ニーズに合った支援を行いました。また、寄り添い型生活支援事業や寄り添い型学習支援事業等集団参加の場を利用できるよう支援を進めました。

【港北区寄り添い型生活支援専門員事業利用状況】

年度	4年度	5年度
人数	3人	4人
回数	29回	44回

【こども青少年局区配予算】

- ・寄り添い型生活支援事業 【予算：15,911,000円、決算：15,580,720円】

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(1) 地域スポーツ推進事業	2,045,000円	1,910,084円	134,916円
地域振興課	差引理由	港北区スポーツ振興事業補助金申請団体数の減	

【事業の概要】

区内のスポーツ活動団体が行う地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業を対象とした補助金交付、港北駅伝大会実行委員会への事業補助金交付及び大学との連携を通じたスポーツ推進事業を実施したことで、区内における地域スポーツの推進・活性化ができました。

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【予算：495,000円、決算：337,500円】

<港北区スポーツ振興事業補助金の概要>

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することにより、区内のスポーツの振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
交付団体	15団体

2 港北駅伝大会 【予算：1,000,000円、決算：1,000,000円】

港北駅伝大会の開催を支援したことにより、地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流が図られました。

【駅伝大会の様子】



【参加チーム数】

年度	30年度	元年度	2年度 ^{※1}	3年度 ^{※1}	4年度	5年度 ^{※2}
チーム数 (参加者数)	232 (1,395人)	235 (1,380人)	中止	中止	154 (913人)	141 (874人)

※1 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止。

※2 5年度は当日の降雨を受けた参加人数。(参考) 申込192チーム《1,167人》

3 大学とのスポーツ連携事業 【予算：550,000円、決算：572,584円】

慶應義塾大学等と連携したスポーツ事業を実施したことにより、ラグビーワールドカップ2019™（日本大会）で築いたレガシーをラグビーワールドカップ2023™（フランス大会）の機運醸成へ繋げるとともに、区内のスポーツ活動の推進が図れました。

(1) 小学校タグラグビー授業サポート派遣

たいいくかいしゅうきゅうぶ

区内の小学校（全26校）に希望を募り、慶應義塾體育會蹴球部（ラグビー部）の学生を講師として派遣し、タグラグビー授業を実施しました。（5月～12月）

【実施実績】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実施校数	9校	10校	中止	7校	7校	12校

※2年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

対象：小学生

会場：慶應義塾大学日吉ラグビーグラウンド（7月1日）

【実施実績】

年度	30年度※ ¹	元年度※ ²	2年度※ ³	3年度※ ³	4年度	5年度※ ⁴
参加人数	30人	130人	中止	中止	52人	69人

※1 30年度の対象は親子参加15組

※2 元年度は2回開催の延べ人数

※3 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※4 5年度は降雨による参加者減を受け、10月に追加実施した2回の延べ人数



【小学校タグラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

(3) 補足事業

慶應義塾高等学校の107年ぶりの甲子園優勝という機運も捉え、パブリックビューイングの実施や区役所壁面へ懸垂幕の設置など行いました。

《参考》

統合事業費

スポーツ推進委員支援事業 【予算：2,760,000円 決算：2,733,000円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- ・小学生スポーツフェスティバル運営費

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-2 港北区商店街活性化事業	1,600,000円	1,356,274円	243,726円
地域振興課	差引理由	新綱島まちびらきイベント中止に伴う減	

【事業の概要】

区内商店街及び商店街店舗の話題提供につながるイベントの開催等を通して、消費者の関心・認知度の向上を図ることで、商店街の活性化を支援しました。

【主な内容】

1 商店街活性化・魅力発信事業 【予算：1,600,000円、決算：1,356,274円】

(1) こうほくの商店街 ちょいより散歩

2年度、3年度は、システムを活用したデジタルスタンプラリーイベント、4年度、5年度は紙でのスタンプラリーイベントとして、「こうほくの商店街 ちょいより散歩」を実施しました。

5年度は、引き続き商店街を利用するきっかけに繋がるようスタンプラリーイベントを、港北区商店街連合会が行うプレミアム付商品券事業と同時期に開催することで、商店街の更なる魅力発信に努めました。(10月～12月)

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」への参加人数】

年度	開催期間	参加商店街数	参加店舗数	参加者数	参加費
2	11月21日(土) ～12月6日(日)	13	1,000 ※1	559人	無料
3	12月1日(水) ～12月26日(日)	13	92 ※2	552人	無料
4	11月11日(金) ～12月4日(日)	13	82	リーフレット5,500部配布 うち抽選応募者179人	無料
5	10月18日(水) ～12月17日(日)	12	110	リーフレット8,100部配布 うち抽選応募者381人	無料

※1 2年度については、原則商店会に加盟する全店舗に参加を依頼したため、参加店舗募集は行っていません。

※2 3年度以降については、参加店舗募集を実施しました。



【5年度 「こうほくの商店街 ちょいより散歩」リーフレット】 【商店街PR用のぼり旗】

(2) 新綱島駅（東急新横浜線）開業にあわせた商店街魅力発信イベント

新綱島駅（東急新横浜線）周辺の商業施設等の開業にあわせ、港北区商店街連合会と連携し、新たな商店街利用者獲得のため区内商店街の魅力を発信する集客イベントの実施を予定していましたが、イベント来場者の安全対策等について、再度検討が必要となったため、開催を見合わせました。

【経済局区配予算】【予算：1,808,000円、決算：1,661,000円】

- ・港北区商店街活性化イベント事業補助金
商店街が主催して行うイベント開催経費に対する補助
（5年度申請団体）
 - ・菊名東口商栄会「毘沙門天祭りチャリティー縁日」
 - ・つなしまオータムフェスティバル実行委員会「つなしまオータムフェスティバル」
 - ・日吉アートコンテスト実行委員会「日吉アートコンテスト」
 - ・大倉山商店街振興組合「大倉山クリスマスイベント」
 - ・小机商店街協同組合「夏の大売り出し&盆踊り」
 - ・妙蓮寺ニコニコ会「ジャズコンサートin妙蓮寺」

3-(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	726,000円	701,260円	24,740円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

ウォーキングをきっかけとした健康づくりを推進するため、区民にウォーキングの楽しさや魅力をPRするとともに継続できるよう支援しました。

【主な内容】

1 ウォーキング普及啓発事業 【予算：726,000円、決算：701,260円】

(1) 健康づくりのムーブメントの醸成

ウォーキングをする人を増やすために、よこはまウォーキングポイントアプリとコラボしたイベントを実施しました。

- ・トレッサ横浜と連携した「トレッサ健康ウォーキング」

概要：大規模商業施設トレッサ横浜館内のウォーキングコースを歩き、コース途中にあるスポットをまわるスタンプラリー

日時：令和5年10月9日（月・祝）スポーツの日

参加者数：259人



- ・ウォーキングを始めよう！相鉄・東急新横浜線で行くGREEN×EXPO 2027

概要：日吉駅から新横浜線を経由して会場最寄りの瀬谷駅までの区間における緑あふれる公園とGREEN×EXPO 2027の開催予定地を巡るスタンプラリー

日時：令和5年11月1日～令和5年12月31日

参加者数：291人



・港北ウォーキング2024冬

概要：期間内に20万歩を達成するミッション

J R東日本と協力し、同期間開催のイベントを相互PR

日時：令和6年2月10日（土）～令和6年3月31日（日）

参加者数：2,334人

《参考》局事業

[健康福祉局事業]

・よこはまウォーキングポイント事業

スマートフォン専用の歩数計アプリを30年度から開始

従来からの歩数計のみで参加継続することも、歩数計アプリとの併用も可能

【よこはまウォーキングポイントアプリ登録者数】（6年3月末現在）

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
横浜市	51,807人	66,246人	83,289人	94,156人	109,453人
港北区	5,088人	6,437人	7,933人	8,934人	10,282人

(2) ウォーキングの習慣化

歩く楽しさや魅力を継続して感じてもらうため、ウォーキングコース等を紹介する手帳を配布するとともに、地域でウォーキングを推進してもらうため、地域の健康づくりのパートナーである保健活動推進員向けにウォーキングミニ講座を実施しました。

・「港北区ウォーキング手帳」を改訂しました。(3,000部、3月発行)

・保健活動推進員向けウォーキングミニ講座を各地区ウォーキング担当対象に1回(22人)、地区の推進員対象に2回(46人)に実施しました。



【港北区ウォーキング手帳】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(4) 育もう「ふるさと港北」事業	10,030,000円	9,220,346円	809,654円
地域振興課	差引理由	補助金の戻入や事業実施手法見直し等による減	

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供しました。

また、地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携・応援等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールしました。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり《拡充》 【予算：5,060,000円、決算：4,636,171円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が一堂に会する場である「ふるさと港北ふれあいまつり」の開催を支援しました。

また、東急新横浜線開業記念事業である「鉄道とともにあるまち港北」写真コンテストの投票ブースを会場内に設置することで、相乗効果を創出しました。

日 時：令和5年11月25日（土）10時～15時

場 所：横浜アリーナ

内 容：ブース出店（活動紹介、飲食、体験、販売等）、抽選会
ステージ発表（ダンス、合唱、楽器演奏等）

参加団体：ブース出店85団体（自治会町内会、商店街、地域活動団体、横浜F・マリノス、横浜GRITS等）、ステージ・ロビー発表12団体（区内小中学校、地域活動団体等）

来場者数：延べ約25,000人（合同開催の「秋のヨコアrikunまつり」と合わせた延べ数）

（分会场行事）

地区連合町内会が開催する盆踊り大会、健民祭等（7月～）



【2023ふるさと港北ふれあいまつり】

【都市整備局区配】 【予算：200,000円、決算：200,000円】

- ・国際園芸博覧会推進事業費
ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会への補助金
国際園芸博覧会広報推進費として活用しました。

2 大倉山観梅会事業 【予算：1,150,000円、決算：1,084,035円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、「大倉山観梅会」の開催を支援しました。

- ・実施時期 6年2月23日・24日
- ・実施内容 舞踊・三曲演奏・団体のステージ（1日目は雨天中止）・野点・梅酒の販売
- ・来場者数 約55,000人（2日間）



【令和5年度 第36回大倉山観梅会】

【環境創造局区配】 【予算：500,000円、決算：500,000円】

- ・市民や企業と連携した緑のまちづくり事業
観梅会実行委員会への補助金

【都市整備局区配】 【予算：800,000円、決算：800,000円】

- ・国際園芸博覧会推進事業費
観梅会実行委員会への補助金
国際園芸博覧会広報推進費として活用しました。

3 小机城址魅力プロモーション事業 【予算：1,450,000円、(4) 1,386,160円】

小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっていることを契機に、小机城址の魅力プロモーションに取り組むことで「ふるさと港北」の意識を育みました。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光及び商店街振興を図るため、小机城址まつり実行委員会に対し、補助金を交付し、開催を支援しました（4月23日）。

〈小机城址まつり概要〉

武者行列、小机城址太鼓、岸根囃子、城郷中学校吹奏楽部演奏、各自治会町内会模擬店



【5年度 第28回小机城址まつり】

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

3年度、4年度に実施された発掘調査を踏まえ、小机城址を紹介する案内冊子を配布するとともに、時間や場所を問わず啓発が行えるよう動画を作成し、港北区の魅力発信しました。また、これを活用し、区内小・中学校等での啓発を行うことで地元港北への愛着を深めました。

さらに、12月にパシフィコ横浜ノースで開催されたお城EXP0に出展し、案内冊子の配布と着ぐるみを使ったPRを通して、小机城址の魅力発信しました。



【城郷小学校3年生 授業の様子】



【お城 EXP02023 の様子】

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、小田原市が中心となり北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、北条氏を切り口に共同でPRを実施している「北条五代観光推進協議会」や「小田原北條五代まつり」、「デジタルスタンプラリー」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力をPRしました。



【小田原北條五代まつり】

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【予算：550,000円、決算：550,000円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、港北区の歴史や見どころ等の映像の配信を行うウェブサイト「港北映像ライブラリ」の運営を行いました。

- ・新規映像や既存映像を活用した配信用映像作品の制作（「綱島の民俗『夏祭』」など12作品）
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）

5 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【予算：270,000円、決算：82,500円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及び2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」と連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボルとして港北区のプロモーションに取り組みました。

- ・港北区との連携ロゴを活用した、タイアップ物品を配布しました。（通年）
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報を発信しました。（10月・2月）
- ・横浜F・マリノス選手の「一日港北区長」イベントなどを開催しました。（11月）



【一日港北区長の様子】



【区庁舎前の横断幕】



【横浜 GRITS 職業講話(地域貢献活動)】

6 青少年活動支援事業 【予算：550,000円、決算：517,880円】

区民の親睦や連帯意識の高揚、家族のふれあいを深めるため、ペットボトルロケット大会の開催を支援しました（11月3日 鶴見川樽町公園）。また、新綱島駅（東急新横浜線）開業に併せた「つなしま賞」の設置等により、会場周辺地域との連携を図りました。

- ・ペットボトルロケットの飛距離を競う飛距離部門。
- ・ペットボトルロケットのデザインを競うデザイン部門。



（左：飛距離部門、右：デザイン部門）

【ペットボトルロケット大会参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
延べ人数	雨天中止	600人	中止	52人※	500人	500人

※3年度はデザイン部門のみ開催

7 東急新横浜線開業記念事業【予算：1,000,000円、決算：669,131円】

新綱島駅、新横浜駅（東急新横浜線）の開業を契機として、「鉄道とともにあるまち港北」フォトコンテストを実施することで、港北区の魅力を発信しました。（8月～10月）

- ・応募期間：6年8月14日から10月31日
- ・応募総数：137作品
- ・11月開催の「ふるさと港北ふれあいまつり」の会場で投票を実施し、入賞作品を決定（投票総数：1,448票）
- ・入賞作品をパンフレットやウェブサイト、記念品に掲載し、「港北区の魅力発信」に活用しました。



【最優秀賞「帰り道」】



【ふるさと港北ふれあいまつり 投票ブース】

3-(5) 地域のチカラ応援事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(5) 地域のチカラ応援事業	2,790,000円	2,555,785円	234,215円
地域振興課	差引理由	補助金の戻入による減	

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決や魅力づくりに向けた主体的な取組を支援するため、市民公益活動を行う団体に対して、補助金交付や広報支援、有識者から活動に対する助言を行いました。

また、交流の場の提供など団体間の連携促進の取組を行いました。

- ・公開提案会では地域のチカラ応援事業補助金の申請6団体によるプレゼンテーションを行い、懇話会委員から活動に対する具体的なアドバイスをいただき、今後の活動の参考となりました。
- ・年度末の報告会・市民活動交流会では、地域のチカラ応援事業補助金の卒業団体が今後の活動の展望を発表したことで、既存団体への貴重なアドバイスとなりました。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業補助金の交付等 【予算：2,496,000円、決算：2,328,963円】

(1) チャレンジコース

区内で一定の活動実績がある団体の更なる公益的事業を対象に、1団体最長5年間上限30万円の補助金を交付しました。

5年度は、これまでの団体の他、レモンを育てる過程で、新旧住民同士をつなぐコミュニティづくりを行う団体や、街の緑化を通じコミュニティを創出する団体等に対し新規で補助金を交付しました。(5月)

【交付団体数・交付金額】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
団体数	19団体	18団体	6団体	7団体	15団体	17団体
金額	2,465千円	2,768千円	1,095千円	1,517千円	2,472千円	2,329千円

(2) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行いました。

【承諾団体数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
団体数	8団体	7団体	3団体	8団体	4団体	5団体

[市民局区配予算] 【予算：500,000円 決算：250,000円】

- ・地域の担い手応援事業（新規申請募集停止）

地域元気づくりコース：継続2事業

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業

1団体最長5年間上限25万円

【交付団体数・交付金額】

地域元気づくりコース	年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	団体数	6団体	4団体	5団体	3団体	2団体	1団体
金額	1,237千円	624千円	854千円	643千円	430千円	250千円	

2 団体間の連携促進の取組 【予算：294,000円、決算：226,822円】

地域のチカラ応援事業補助金申請団体による公開提案会、報告会・市民活動交流会を開催しました。有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会*委員）からの助言や団体同士の交流会による団体間の連携を促進しました。

また、補助金交付団体以外の活動団体の交流・情報交換についても促進を図りました。

- ・公開提案会（4月15日）提案発表：6団体、参加者：22人/11団体
- ・報告会・市民活動交流会（3月2日）参加者：23人/16団体
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成されています。（5人）

補助金申請団体の活動に関して助言を行いました。



【公開提案会（5年度）】

[市民局区配予算] 【予算：413,000円、決算：298,138円】

- ・地域の担い手応援事業

港北つなぎ塾（地域づくり大学校）

第1回：10月12日 参加者：26人/21団体

第2回：11月9日 参加者：24人/20団体

補助金の交付や後援を受けることになった団体、まちの先生、区民活動支援センターの登録団体が中間支援組織や自治会・町内会等の地縁組織とつながり、地域のニーズに寄り添いながら進めていくことで、持続可能な活動につながることを学びました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(6) 港北魅力発見事業	3,235,000円	3,097,742円	137,258円
区政推進課	差引理由	テクニカルショウヨコハマへの出展料の減	

【事業の概要】

区民の地域への愛着を深めることを目的に、地域の特性や資源を活かしてその魅力を伝える取組を実施しました。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン 【予算：2,400,000円、決算：2,374,888円】

区民が個人の庭やグループで育てている花壇等を公開し、互いに見学することで港北区の魅力を再発見し、花や緑を通じた区民の交流を促進することを目的として、「港北オープンガーデン」を平成24年度から開催しています。

(1) 第11回港北オープンガーデンの実施（4月・5月計6日間実施済）

- ・「GREEN×EXPO 2027」を見据え、次世代を担う小学生達に花や緑をより身近に感じてもらえるよう「ガーデンベア」とコラボレーションしたスタンプラリーを実施し、区内小学校の全校児童へスタンプラリー台紙を配布しました。
- ・地域ボランティアが参加会場を案内する「ルート案内ツアー」をこれまで実施してきた日吉エリア、綱島エリアに加え、新たに菊名エリアで企画しました。（雨天のため菊名エリアのツアーはすべての回を中止しました。）
- ・特設案内所2か所（日吉駅・りそな銀行綱島支店横）にフォトスポットを設置しました。
- ・GREEN×EXPO 2027の開催に向けた機運醸成の一環として、イベントパンフレット内で開催概要を掲載するとともに、各区のオープンガーデンの取組を紹介しました。

(2) 第12回港北オープンガーデンの企画

- ・第12回港北オープンガーデンの開催に向け、スタンプラリー企画の景品等を購入しました。

【オープンガーデンの開催状況】

年度（回数）	開催日数	参加会場数	延べ来場者数※1
元年度（第7回）	4日	100	約24,117人
2年度（第8回）※2	中止	107※3	—
3年度（第9回）	42日	114※4	※5
4年度（第10回）	6日	122	約29,646人
5年度（第11回）	6日	126	約35,757人

※1 標本抽出方法で計算（カウント可能な会場を基に推計）

※2 新型コロナウイルスの影響で中止

※3 参加予定数

※4 現地公開（動画配信あり）91、現地公開（動画配信なし）20、動画配信のみ3

※5 参考数値：延べ約4,104人（25か所でカウント・2日間）
動画再生回数：43,834回（3年6月21日時点・全94動画合計）



【第11回パンフレット】



【日吉駅特設案内所
フォトスポット】

[環境創造局区配予算]

- ・市民や企業と連携した緑のまちづくり事業【予算：1,700,000円、決算：1,513,529円】
 - ▶ 第12回港北オープンガーデンのパンフレット版下作成及び印刷・製本・配送
 - ▶ 第12回港北オープンガーデン小学生向けチラシの印刷・配送



【パンフレット】



【小学生向けチラシ】

[都市整備局区配予算]

- ・国際園芸博覧会推進広報費 【予算：2,000,000円、決算：1,711,545円】
 - ▶ 第12回港北オープンガーデンスタンプラリー景品の作成
 - ▶ オープンガーデン市庁舎展示用タペストリーの作成
 - ▶ 港北区専用国際園芸博覧会機運醸成バックパネルの作成
 - ▶ 庁舎内及び屋内イベントPR用内照式電飾看板の作成



【景品（入浴剤）】



【市庁舎展示用
タペストリー】



【内照式電飾看板】



【バックパネル】

2 港北オープンファクトリー 【予算：835,000円、決算：722,854円】

港北区には、市内18区で最多の1,100か所以上の工場があり、「ものづくりの現場が生活の身近なところにある」という区の特徴を生かし、普段は入ることのできない工場の見学ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を平成24年度から開催し、地域の魅力やものづくりの面白さをお伝えするとともに、企業と地域住民の相互理解を深めてきました。

令和5年度に実施した「第12回港北オープンファクトリー」では、協力企業が新たに3社追加となったことに加え、受入枠を増やしていただいた企業もあり、リアル開催では参加者数が過去最大規模となりました。

また、参加者を対象に実施したアンケートでは、本イベントに満足と回答した方が「100%」、ものづくりへの印象が良くなったと回答した方が「92.1%」との結果を得ました。



【第12回 リーフレット】



【第12回の当日の様子】

《参考》

【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度(回数)	開催日数	参加企業数	延べ参加者数	備考
元年度(第8回)	中止	13	—	新型コロナウイルスの影響で中止
2年度(第9回)	—	11	5,573回 (視聴数)	・ウェブサイト上で動画公開 (「おうち港北オープンファクトリー」)
3年度(第10回)	—	8	468人	・区内の小学校の児童を対象に オンライン形式で開催
4年度(第11回)	1日	12	286人	・4年ぶりにリアル開催
5年度(第12回)	1日	15	451人	・リアル開催では過去最大規模

【第12回 港北オープンファクトリーの協力企業】

(株)オースズ、(株)キョーワハーツ、(有)鈴木機械彫刻所、(株)第一鉸製作所、(株)田島精研、(株)宮川製作所、石山ネジ(株)、(株)バネックス、(株)シルファー、(株)東京ダイス、東洋測器(株)、日本軸受加工(株)、(株)ヒー トエナジーテック、横浜高周波工業(株)、(株)テクトレージ 計15社

[経済局区配予算]

- ・ものづくり経営基盤強化事業 【予算：400,000円、決算：400,000円】
港北オープンファクトリー開催に係る運營業務委託費に充当

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(7) 芸術文化振興事業	2,500,000円	1,667,964円	832,036円
地域振興課	差引理由	補助対象経費の減	

【事業の概要】

区内の芸術文化を振興するため、港北芸術祭実行委員会が主催する質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業や、区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業等を行う港北芸術祭の開催を支援しました。

また、新たな文化活動拠点となる「港北区民文化センター」の開館をPRすることを目的として、開館に合わせた賑わいづくりイベントを行い、区をあげて文化芸術活動を推進しました。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【予算：2,000,000円、決算：1,250,000円】

(1) 鑑賞型事業

- ・朗読劇「真昼の夕焼け」(9月 港北公会堂)
来場者数：405人



【鑑賞型事業 朗読劇「真昼の夕焼け」】

- ・バロック音楽コンサート「J・S・バッハの世界」(11月 港北公会堂)
—なかなか聴くことのできない本格派 総勢19名によるバロックオーケストラ—
来場者数：475人



【鑑賞型事業 「J・S・バッハの世界」】

(2) 参加型事業

- ・さわってみよう！箏・尺八（7月、8月 港北公会堂）参加者数：43人
- ・夏休み親子コンサート（8月 港北公会堂）来場者数：359人
- ・港北区中学校生徒音楽会（10月 港北公会堂）来場者数：600人
- ・港北芸能大会（11月3日 港北公会堂）来場者数：300人
- ・港北区小学校児童音楽会（11月 港北公会堂）来場者数：3,410人
- ・港北三曲会演奏会（11月 港北公会堂）来場者数：296人
- ・筆文字で遊ぼう（書道体験教室）（12月 港北区役所）参加者数：7人
- ・港北美術展（2月～3月 大倉山記念館）来場者数：4,057人
- ・オーケストラ体験教室（3月 港北公会堂）参加者数：28人

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
来場者数 ※閲覧者数含む (延べ数)	5,553人	2,741人	1,794人	6,232人	9,980人
実施事業数	9事業	4事業	4事業	9事業	11事業

※元年度（1月以降）、2年度、3年度、4年度は、新型コロナウイルスの影響による減

※2年度、3年度の港北美術展は新型コロナウイルスの影響で、ウェブサイト上で
オンライン開催。

第16回港北美術展（2年度）（9月30日～12月31日 閲覧者数：891人）

（3月15日～28日 閲覧者数：1,546人）

第17回港北美術展（3年度）（3月14日～27日 閲覧者数：1,486人）

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順）】

朝岡 聡	フリーアナウンサー
漆原 順一	港北区長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
五大 路子	女優
関 治美	港北区連合町内会長
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》

各種団体主催事業（港北芸術祭参加事業）

港北芸術祭に参加を希望する事業で、広く区民の参加が認められ、文化振興への貢献が期待できるものを、広報よこはま港北区版や文化情報ウェブサイト等で広報しました。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月 港北公会堂）
- ・大倉山秋の芸術祭（11月 大倉山記念館）
- ・港北区合唱の集い（11月 港北公会堂）
- ・港北ダンスフェスティバル（12月 港北公会堂）
- ・こうぼく第九演奏会（12月 港北公会堂）

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
来場者数 (延べ数)	14,777人	2,117人	5,237人	10,805人	8,388人
実施事業数	11事業	2事業	4事業	7事業	5事業

※5年度は、公会堂の音響工事の実施に伴い、イベントが開催されなかったことによる減

2 港北区民文化センター開館に向けた賑わいづくり事業

【予算：500,000円、決算：417,964円】

6年3月の開館を広く周知するため、地域団体や近隣の学校と連携した「港北区民文化センター開館100日前イベント」を開催しました。(12月)



【港北区民文化センター開館100日前イベント】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3 - (8) 区民活動支援事業	1,510,000円	1,470,400円	39,600円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区域の中間支援組織である区民活動支援センターが市民公益活動と生涯学習を支援しました。

「港北つながるカフェ」では、若者と地域をつなぐ場づくりとして、学生の生の声を聴く機会を設けました。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【予算：135,000円、決算：172,980円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材貸出しなどを行いました。



【区民活動支援センター】



【イベント等のチラシの配架】

2 情報誌「楽遊学」の発行【予算：1,075,000円、決算：1,067,000円】

団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」を発行しました。区内の区民利用施設等のほか、地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等にも配布しました。年6回発行、15,000部（2,500部/回）

3 市民グループ・団体支援事業 【予算：240,000円、決算：179,600円】

- ・ICT講座を開催しました。（12月15日 12人）、（12月21日 12人）
- ・新たな担い手、新たな活動の創出につなげる「港北地域学」を開催しました。（11月6日 26人）、（12月11日 60人）、（1月22日 19人）、（2月20日 33人）
- ・ファシリテーターを交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す「港北つながるカフェ」を開催しました。（1月31日 23人）
- ・グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなどによる「施設間連携会議」を連携施設の見学も兼ねて、初めて連携施設で開催しました。（12月6日 24人）参加者からは、「連携施設を実際に見学することができ、会議室内だけではイメージし難いこともリアルに想像できて、企画の検討や施設運営の参考になった。」という声がありました。

4 区民活動支援センターICT化事業 【予算：60,000円、決算：50,820円】

- ・窓口相談の際にタブレットPC及び無線LAN (Wi-Fi)を活用し、区ウェブサイト等をご案内しました。
- ・活動団体等のオンラインミーティング、オンライン講座にタブレットPC及び無線LAN (Wi-Fi)を活用しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3 - (9) 地域振興活動事業	2,550,000円	2,366,136円	183,864円
地域振興課	差引理由	自治会町内会への資料送付の減等	

【事業の概要】

行政情報を効率良く地域に提供するため、区連会等の資料を各自治会・町内会に送付したことで市政及び区政を円滑に進めることができました。また、自治会町内会長感謝会を実施し、普段より地域活動に従事している自治会町内会長の功績を讃え、永年在職者を表彰したほか、全てのテーブルで市長と会話する機会を設けるなど地域と行政とのつながりを強化しました。

【主な内容】

1 自治会町内会への支援・連携事業【予算：1,340,000円、決算：1,057,956円】

「自治会町内会掲示板への掲示物」等を各自治会町内会へ送付しました。

- ・送付回数：年10回（定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・送付先：自治会町内会 150団体
- ・送付数：議題1件につき掲示物約1,200部

2 自治会町内会長永年在職者表彰の実施【予算：1,000,000円、決算：1,202,580円】

自治会町内会長の労をねぎらうため感謝会を実施し、区内式場にて永年在職者勤続表彰及び記念品の贈呈を行いました。

- ・令和5年度港北区自治会町内会感謝会（表彰者19名）

開催日：3月1日（金）

開催会場：ソシア21

参加者：90名（表彰者含む）

表彰者：単会表彰者 計18名 40年表彰1名、25年表彰1名、20年表彰2名、
 15年表彰3名 10年表彰4名 5年表彰7名
 連合表彰者 計1名 5年表彰1名



【表彰者記念写真】



【表彰式】



【感謝会】

3 自治会町内会のICT化【予算：210,000円、決算：105,600円】

ICT等を活用した活動を円滑に推進できるよう、IT及びICTの基礎的な概要説明、LINE等の情報伝達ツールの体験、Zoom等を使用した会議運営の体験・実習などについて、4つの地区連合町内会で出張講座を実施したほか、区役所で4団体にICT個別相談会を行いました。



【ICT個別相談会チラシ】

[市民局区配予算]

自治会・町内会に補助金を交付し地域活動を支援しました。

- ・地域活動推進費
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- ・防犯灯維持管理費補助金
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助

[市民局区配予算]

- ・地域活動推進事業
 - ・区連会ホームページの更新
 - ・自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発災害用トイレキット及び防災ジッパーバッグの作製と配布
 - ・自治会町内会区域図の提供
 - ・区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
 - ・建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
 - ・広報よこはま、タウン誌への記事掲載
 - ・「自治会町内会活動のしおり」配布（加入促進に関するQ Aの掲載）
 - ・イベントへの広告掲載 / 動画の放映
 - ・デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映



【区連会ウェブサイト更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【防災ジッパーバッグ】



【加入促進啓発災害用トイレキット】



【加入促進動画】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(10) 読書活動推進事業	720,000円	708,133円	11,867円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区の地域性に応じた読書活動を推進するため、「第二次港北区読書活動推進目標」に沿った取組や、日吉図書取次所「日吉の本だな」を活用した情報発信等を実施することで、区民が読書に親しむ機会を創出しました。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【予算：200,000円、決算：225,485円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進しました。

(1) 紙芝居制作イベント

- ・こども「紙芝居づくり」教室（7月26日、8月2日 港北図書館 参加者数延べ24人）
物語を作る楽しさを体験する、小学生対象の手づくり紙芝居制作講座を実施しました。



【こども「紙芝居づくり」教室】

(2) 本と出会おうイベント

- ・ふるさと港北ふれあいまつり／ヨコアリくんまつり（11月25日 横浜アリーナ）
読書活動推進月間中の取組として、読書フェスティバル「みんなで遊ぼう本と出会おう」コーナーを出展しました。（港北図書館等と連携した各種図書展示、こども「紙芝居づくり教室」参加小学生や区内活動団体による紙芝居上演など）



【港北図書館の児童書展示】



【小学生の手作り紙芝居上演】

(3) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」（中央図書館発行）を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場にて配布しました。

2 読書情報発信事業 【予算：440,000円、決算：454,330円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズに合わせた区内の読書関連情報の発信を強化しました。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・ 図書の取次機能に加えた読書関連情報等の発信（図書の企画展示やパネル展示等）
- ・ 地域交流、多世代交流の場として、区内活動団体と連携した企画等の実施（まちの先生等による朗読会や体験会、区民活動支援センターの出張相談会など）



【まちの先生によるおはなし会】

(2) 各施設からの情報発信等

- ・ 図書館や地区センター等の読書関連施設で、新着図書やテーマごとの蔵書の紹介
- ・ 区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」（3年度改訂発行）を引き続き配布しました。



【港北区本との出会いマップ】

(3) 蔵書情報等の発信

区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやX（旧ツイッター）等、ICTを活用して発信しました。

(4) 港北区読書講演会

港北区にゆかりのある作家による講演会を開催し、区民が本と親しむ機会を創出しました。
（12月2日 菊名地区センター 参加者数48人）

【講演会概要】「絵本のこと、あれこれおしゃべりの会」

（講師：植垣 歩子（絵本作家））



【港北区読書講演会】

3 読書団体連携事業 【予算：80,000円、決算：28,318円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施しました。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等（小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区）で構成する連絡会を実施しました。

（6月28日 港北図書館 出席者数11機関15人）

(2) 読み聞かせボランティア交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会を実施しました。

（6月14日 港北図書館 参加者数9団体14人）



【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】

(3) 読書フェスティバルイベントカレンダー

読書活動推進月間に区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載しました。（11月）

[教育委員会事務局区配予算]

- ・横浜市民の読書活動推進事業 【予算：100,000円 決算：100,000円】
区づくり推進費と合算して、読書活動推進啓発物品を作成しました。

《参考》**【第二次港北区読書活動推進目標】**

- 〔目標1〕子どもたちの成長に応じた読書活動の推進
- 〔目標2〕だれもが読書に親しみ、楽しむきっかけづくりの推進
- 〔目標3〕図書館・関連施設・地域が協働した読書活動の推進
- 〔目標4〕ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(11) こうほく3R推進事業	990,000円	912,104円	77,896円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

ヨコハマ3R夢プランに基づき、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して3Rの推進に取り組みました。

世界的に問題となっている食品ロスやプラスチックごみ問題等について、積極的に啓発等を行いました。また、ポイ捨てや不法投棄のない、清潔できれいな街づくりを推進しました。

【主な内容】

1 3R夢行動の推進 【予算：785,000円、決算：775,751円】

(1) 3R夢行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

「ヨコハマ3R夢プラン」行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等の表彰式を実施しました。(12月)

(2) 3R夢推進事業

- ・3R夢行動の普及啓発を行いました。
地域イベント（通年）、大型スーパー店頭（6月）、分別啓発地域説明会（通年）
ふるさと港北ふれあいまつり（11月）
- ・食品ロス削減の取組を実施しました。
生ごみ減量化の土壌混合法説明会（6月、7月、9月、10月）
フードドライブの受付及び啓発（随時）



【ふるさと港北ふれあいまつり】



【土壌混合法説明会】



【フードドライブ】

(3) 3R夢学習事業

区民向け啓発講座、保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所等での環境学習を実施しました。(通年・25回)



【保育園での出前講座】



【小学校での出前講座】

(4) こうほく3R夢活動助成金

- ・区内の連合町内会に対し、3R夢プラン行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金の交付をしました。(年額3万円)
- ・環境事業推進委員への支援を行いました。

[資源循環局区配予算]

- ・ヨコハマ3R夢広報啓発事業 【予算：100,000円、決算：100,000円】
啓発物品の購入費

《参考》

【港北区の家庭ごみ収集量(単位：トン)】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
燃やすごみ	47,559	48,314	50,001	48,362	47,275	45,549
その他	24,534	24,205	24,985	24,186	23,246	22,195

※その他は「燃やすごみ」以外のごみ量(不法投棄等)と資源化量の合計値です。

2 街の美化の推進 【予算：205,000円、決算：136,353円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発を実施しました。
啓発キャンペーン(日吉駅など)(3月)
- ・地域清掃活動支援を行いました。
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃支援(通年)
不法投棄地域清掃支援(新羽大熊農業専用地区(12月))
新横浜駅前周辺清掃(月1回)、横浜アリーナ周辺清掃(月1回)
日吉駅周辺一斉清掃(10月、3月)ほか



【日吉駅周辺一斉清掃】

(2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作製・設置、不法投棄監視システムの維持管理を実施しました。

《参考》

統合事業費

クリーンタウン横浜事業【予算：1,319,000円、決算：1,021,572円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進しました。

- ・新横浜駅周辺(美化推進重点地区及び喫煙禁止地区)
港北区美化推進員活動(週3回、通年)
- ・日吉駅周辺(美化推進重点地区)
港北区美化推進員活動(週1回、通年)

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(12) 港北エコアクション推進事業	3,008,000円	2,972,032円	35,968円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策行動に取り組めるよう、区役所・区民・事業者が協働して「温暖化対策」「みどりアップ」「ヨコハマ3R夢プラン」の3つの取組を「港北エコアクション」として一体的に進めました。

【主な内容】

1 港北水と緑の学校事業 【予算：2,600,000円、決算：2,545,000円】

環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施しました。

- ・区内小学校向け講座（6～12月）
- ・一般向け講座（9月、11月）
- ・小学生の学習成果の展示会（2～3月）



【区内小学校向け講座】



【一般向け講座】



【小学生の学習成果の展示会】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実施回数	20回	18回	18回	20回	20回
小：小学校向け講座	(小18回、	(小18回)	(小18回)	(小18回、	(小18回、
一般：一般向け講座	一般2回)	※	※	一般2回)	一般2回)
延べ参加者数	1,904人	1,242人	1,702人	1,301人	1,449人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

【環境創造局区配予算】

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【予算：300,000円、決算：150,000円】
慶応義塾大学・日吉丸の会の協力のもと、慶応義塾大学の森の散策を通じて、自然の魅力を感じ、森林管理や防災対策等を学ぶ環境防災学習講座を一般区民向けに実施（11月）

2 港北エコアクション推進事業 【予算：408,000円、決算：427,032円】

区庁舎及び太尾小学校の屋上緑化の維持管理を区民と連携して実施しました。また、広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発を行いました。

[環境創造局区配予算]

- ・身近に農を感じる地産地消の推進事業 【予算：600,000円、決算：172,793円】
企業連携等による地産地消イベントの開催等を実施

《参考》

- ・「新横浜公園ピクニックパーク」イベントへの地産地消啓発ブースを出展しました。(10月)
- ・JA横浜と連携し、収穫体験イベントを開催しました。(10月)



【新横浜公園ピクニックパークの様子】



【収穫体験イベントの様子】

3-(13) データ活用によるまちづくり推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(13) データ活用による まちづくり推進事業	3,000,000円	1,000,000円	2,000,000円
区政推進課	差引理由	外部委託を職員対応としたことによる減	

【事業の概要】

区が直面する課題を公民連携により分析・解決することで、地域活性化を図るため、区内の研究機関等と連携してデータ活用の普及に向けた事業を展開しました。また、区が保有する統計情報等の各種データを適切に管理し、オープンデータ化を推進しました。

【主な内容】

1 データ活用普及推進事業 【予算：1,000,000円、決算：1,000,000千円】

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（以下「慶應SDM」という。）と連携して、高田中学校2年生の社会科の授業をフィールドに、「防災の自分ごと化」をテーマにしたワークショップを実施しました。

ワークショップでは、対話やフィールドワークを通じて、「システム×デザイン思考」やデータに基づく課題の抽出と解決方法の創出に取り組みました。

《参考》

【直近5か年の実施内容】

年度	実施内容
元年度	・スポーツデータサイエンス体験教室 ・スポーツデータ×ラグビー授業
2年度	・オンライン運動プログラム ・港北オンラインラジオ体操
3年度	・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操
4年度	・「システム×デザイン思考」の実践を通じて地域課題の解決を学ぶワークショップ
5年度	・「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」のアイデア創出を図るワークショップ



【令和5年度の連携事業の様子】

2 地域情報データベース 【予算：2,000,000、決算：0円】

(1) 区の統計情報等のオープンデータ化の推進及びダッシュボードの公表

オープンデータを活用して地域情報を見える化する「港北区地域情報ダッシュボード」をウェブ上で公表し、情報発信を行いました。(通年)



【港北区地域情報ダッシュボード：区別の年齢3区分別の人口】

(2) 職員向けデータ活用研修

各課で施策の立案や事業振興を担当している職員を対象に、政策経営局データ経営課（旧：政策局政策課データストラテジー担当）と連携して、データ利活用に関する基本的な考え方や分析ツールの使い方に関する研修を実施し、データを重視した事業実施を推進しました。（8月）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(14) まちづくり調整費	2,324,000円	3,274,357円	▲950,357円
区政推進課	差引理由	区民文化センター開館準備等に伴う増等	

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決のため、必要な調査や関係機関との調整を行いました。また、区民文化センターの開館準備を進めました。

【主な内容】

1 まちづくり調査費・まちづくり調整事務費 【予算：2,100,000円、決算：1,922,977円】

区の課題に合わせたまちづくり調整を実施しており、日吉駅西口周辺交通空間の改善検討を進めました。

【まちづくり調査等】

年度	実施内容
元年度	大倉山駅周辺の案内表示対応
2年度	S I B本格実施に向けたモデル事業として、オンライン健康医療相談サービスを活用した社会実証
3年度	港北区データ整理検討
4年度	—*
5年度	日吉駅西口周辺交通空間の改善検討

※4年度は、区配予算の活用や事業者との協議等により、予算執行を伴わない対応を行ったため、まちづくり調査費の執行はありませんでした。

2 区民文化センター整備 【予算：224,000円、決算：1,351,380円】

令和6年3月の港北区民文化センター「ミズキーホール」の開館に向け、管理運営を行う指定管理者を決定しました。また、区民から愛着を持たれる施設となるよう、開館準備を進めました。

【開館記念式典】

令和6年3月24日に、ホールで開館記念式典を開催しました。



[にぎわいスポーツ文化局区配予算]

- ・区民文化センター開館準備事業 【予算：189,166,000円、決算：180,956,372円】
指定管理者と開館準備等業務委託契約を締結するとともに、開館に必要な備品等を購入し、開館に向けた準備を行いました。
また、開館にあわせて、指定管理者とともに、地域団体等と連携した開館記念事業も実施しました。

[道路局区配予算]

- ・港北区バリアフリー基本構想の策定 【予算：559,000円、決算：655,598円】
バリアフリー法に基づき、新横浜駅、小机駅、大倉山駅の各駅周辺地区を対象に、高齢者・障害者・子育て中の人等、誰もが円滑に移動し、駅や施設を快適に利用できるよう、バリアフリー化を進めるための基本構想を策定しました。

局事業**[教育委員会事務局事業] (再掲)**

- ・図書取次サービス拠点における地域交流モデル事業 【予算：1,000,000円、決算：1,000,000円】
日吉図書取次所（日吉の本だな）が地域における交流拠点のひとつとなるよう、区や大学、地域団体等との交流モデル事業を行いました。（区や関係団体等との定期的な情報交換や、各種交流イベントの企画、各種情報の発信、区民の活動の場の提供やコーディネート、区民活動支援の一次対応など）

4-(1) 港北区PR情報発信事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(1) 港北区PR情報発信事業	1,802,000円	1,350,299円	451,701円
区政推進課	差引理由	ガイドマップの改訂内容を精査したことによる残	

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスが得られるようSNS等を運営しました。また、区内転入者等に対して区域の生活に密着した情報等を盛り込んだ地図情報を提供しました。広く港北区政への関心を高めることを目的に、区のキャラクターを有効活用した区政PR及び発信を行いました。

【主な内容】

1 情報発信事業 【予算：202,000円、決算：109,939円】

区ウェブサイトやX（旧ツイッター）を利用し、区民へタイムリーに情報発信しました。

【港北区ウェブサイトアクセス件数・X（旧ツイッター）フォロワー数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
アクセス件数	約298万件	約309万件	約350万件	約300万件	約250万件	約250万件
フォロワー数	約5,700人	約7,700人	約8,800人	約10,200人	約10,700人	約10,900人

2 ガイドマップ発行事業 【予算：900,000円、決算：712,800円】

転入者等に向けて、区内の公共施設など生活に必要な情報を盛り込んだ区域の地図「港北区ガイドマップ」を発行し、提供しました。（8月）



【港北区ガイドマップ】

3 区のキャラクターを活用したPR活動推進事業 【予算：700,000円、決算：527,560円】

港北区のキャラクターであるミズキーの着ぐるみの貸出しや、区の各事業と連動した啓発物品の製作、活用等により、区の事業への関心・参加を促進しました。

【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用件数	24件	42件	10件	7件	21件	30件



【港北区ミズキー】

4 区民サービス向上に向けた取組

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(2) 戸籍課案内サービス向上事業	3,510,000円	4,636,803円	▲1,126,803円
戸籍課	差引理由	オペレーターの利用期間を増やして対応したことによる増	

【事業の概要】

来庁者の待ち時間の短縮や、待合フロアの混雑の緩和のため、web発券システムの運用や、戸籍課登録担当内の電話対応の一部委託化等を実施することにより、区民サービスの向上を図りました。

【主な内容】

1 窓口混雑対策事業 【予算：2,340,000円、決算：3,533,794円】

(1) 電話案内業務

窓口の繁忙期に電話対応の一部にオペレーターを活用することで、職員を来庁者の窓口案内業務に充て、区民サービスの向上を図りました。

- ・電話オペレーター配置日数：計206日間
- ・繁忙期の5年4～5月、6年3月は2人、5年8月～6年2月は1人配置

【電話案内業務】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
電話受付件数	5,486件	11,286件	16,029件	15,899件	15,336件
オペレーター配置日数	59日	127日	252日	251日	206日
延べ配置人数	115人	280人	309人	288人	276人

※元年度までは繁忙期のみの実施でしたが、2年度から実施期間を拡大しているため、数値が大幅に増加しています。

(2) web発券システムの運用

5年1月から運用を開始した、区役所へ来庁しなくても番号札を取得できるシステムを運用し、区役所の窓口混雑緩和を図りました。

《参考》

最繁忙期3月最終週における、1日当たりの平均web発券数

：65件（平均受付件数503件 割合12.9%）

最高web発券数：3月29日 128件（受付件数601件 割合21.3%）

【5年度（6年3月最終週） 住民異動受付等件数】

	25日	26日	27日	28日	29日	平均
受付件数（件）	531	370	518	497	601	503
最大待ち時間（分）	115	38	87	95	102	87
平均待ち時間（分）	68	10	45	50	48	44
最大待ち人数（人）	89	28	80	76	96	74
web発券数（件）	36	33	44	85	128	65
web発券割合（%）	6.8	8.9	8.5	17.1	21.3	12.9

2 転入者キット作成事業 【予算：470,000円、決算：454,009円】

市政・区政情報や地域情報、イベント情報などを差し込んだ転入者キットの作成を障害者施設に委託しました。

- ・作製数：7,000部（4年度と同部数作製）

【転入者キット作製数（5年度）（実績）7,000部】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
400部	600部	600部	600部	400部	800部
10月	11月	12月	1月	2月	3月
600部	400部	400部	600部	800部	800部

3 繁忙期向け広報事業 【予算：700,000円、決算：649,000円】

窓口の繁忙期にあわせ、窓口の分散利用、web発券利用促進及びマイナンバーカードの利用促進の広報を行いました。

- ・地域紙等を活用した広報を実施しました。（2月）
- ・地区センター等の市民利用施設にチラシを配架しました。（1月～3月）

《参考》**【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】**

	2年3月末	3年3月末	4年3月末	5年3月末	6年3月末
人口(A)	349,652人	351,554人	352,694人	355,442人	356,788人
世帯数(B)	173,235世帯	175,307世帯	176,636世帯	179,337世帯	181,250世帯
平均世帯人員(A/B)	2.02人	2.01人	2.00人	1.98人	1.97人

【市外からの転入者数（住民基本台帳人口）】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市外からの転入者数	15,070人	14,451人	14,254人	14,868人	14,200人

[市民局区配予算]

- ・マイナンバーカード交付・更新事業 【予算：26,000,000円、決算：21,577,114円】

戸籍課窓口に加え、「港北区役所マイナンバーカード新横浜臨時窓口」におけるマイナンバーカードの申請及び交付を実施しました。（5年12月28日取扱終了）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4 - (3) 「仕事力向上」職員育成事業	690,000円	416,240円	273,760円
総務課	差引理由	スキル向上研修の委託料の減	

【事業の概要】

区運営方針に掲げる4つの仕事力（「聴く力」、「考える力」、「行動する力」、「伝える力」）を向上させるため、自主企画研修及び人権啓発研修等を実施し、CS（顧客満足度）・ES（職員満足度）の向上を図ります。

【主な内容】

1 CS・ES向上研修 【予算：500千円、決算：333千円】

- (1) 新採用・転入職員・会計年度任用職員向けCS・ES向上研修
(4月21日、27日 参加者数：37名)
- (2) 事務処理ミス防止研修
(8月23日、24日 参加者数：63名)
- (3) スキル向上研修
(7月28日 参加者数：18名)

2 人権啓発講演会 【予算：190千円、決算：83千円】

市民・職員向けの人権啓発講演会を実施しました。(3月4日)

【人権啓発講演会の実施状況】

年度	テーマ	講師	参加者
元年度	災害時のトイレ問題について 一緒に考えませんか?～災害時のトイレ問題を「自分事」として捉えよう～	加藤 篤 (NPO法人日本トイレ研究所代表理事)	約400人
2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止※ (新型コロナウイルス等の感染症にかかる人権啓発資料を区内の自治会・町内会へ送付)		
3年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区ウェブサイトに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿		
4年度	「いじめって何ですか？」 ～いじめに対する大人の認識を考える～	小森 美登里 (NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)	約250人
5年度	多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり ～20人に1人はいるかもしれないLGBTQ～	星野 慎二 (定非営利活動法人SHIP理事長)	約100人



【5年度
人権啓発講演会】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4 - (4) 区民サービス向上・ 環境改善促進事業	8,376,000円	13,268,284円	▲4,892,284円
総務課	差引理由	冷風機等の備品購入に伴う増	

【事業の概要】

区庁舎について、快適に過ごせる環境づくりや施設の機能強化を行いました。

【主な内容】

区庁舎等の環境改善・機能強化【予算：8,376,000円、決算：13,268,284円】

- ・ 1階高齢・障害支援課及びこども家庭支援課のレイアウト変更を実施し、窓口環境を改善しました。
- ・ 庁舎の暑さ対策として冷風機を設置しました。
- ・ 庁舎駐輪場の安全性向上のため、入口の段差解消工事を実施しました。
- ・ 庁舎の防犯力を強化するため、夜間出入口扉・鍵の交換を実施しました。
- ・ 2階フロアの公衆無線LAN (Wi-Fi) 通信費、AEDのリース料金を執行しました。



【AEDの設置】



【冷風機の設置】

4 - (5) 区民利用施設環境改善事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4 - (5) 区民利用施設環境改善事業	2,434,000円	1,970,869円	463,131円
地域振興課	差引理由	剪定を要する案件が少なかったことによる減	

【事業の概要】

区内の区民利用施設について、利用者が快適に過ごせる環境づくりや、施設の機能強化を行いました。

【主な内容】

- 1 区民利用施設の環境改善・機能強化 【予算：1,434,000円、決算：1,733,269円】
 - ・区民利用施設の環境改善・機能強化のための消耗品、備品購入や、委託等を実施しました。(通年)
 - 菊名地区センタービルトインコンロ購入
 - 港北公会堂ワイヤレスマイク関連機器更新
 - 日吉台中学校コミュニティスクールシューズボックス購入
- 2 子供の遊び場等の樹木保全 【予算：700,000円、決算：122,100円】
 - ・子供の遊び場等の樹木保全を実施しました。(通年)
 - 大曾根子供の遊び場樹木剪定・撤去処分
- 3 子供の遊び場安全基準不適合遊具の撤去等 【予算：300,000円、決算：115,500円】
 - ・子供の遊び場で安全基準を満たさない遊具の撤去を実施しました。(通年)
 - 箕輪町町内会高架下子供の遊び場遊具撤去

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	13,571,000円	12,753,462円	817,538円
区政推進課	差引理由	広報印刷費の入札残	

【事業の概要】

区の事業や区役所、区内の施設からのお知らせ等を区民に周知するため、広報よこはま市版と併せて発行し、主に自治会町内会を通じて各世帯に配布しました。写真・イラスト等の活用、地域の情報や人物等の掲載を意識して行い、区の施策や周知事項をより効果的に伝えました。

【主な内容】

広報よこはま区版作製 【予算：13,571,000円、決算：12,753,462円】

広報紙は原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布しているほか、区ウェブサイトへの掲載やX（旧ツイッター）等で情報を発信しました。

また、5年度は広告枠を1枠追加し、年間約2,560千円の歳入予算を新たに確保しました。



【広報よこはま区版】

(1) 発行

毎月1日、年12回
174万部（14.5万部/月）発行

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、8ページ

(3) 紙面構成

- ・特集、トピックス記事
 区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面
 【5年度】9月号特集「次の大地震はいつ起きる？防災大使と考えるわが家の備え」
 10月号特集「食材使い切りレシピで食品ロス削減」
 2月号特集「横浜市港北区民文化センター ミズキーホール」
- ・お知らせ記事
 区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

【参考】

港北福祉保健センターからのお知らせ
 発行：年1回（6年4月号に挟み込み）
 仕様：4色刷り、4ページ
 内容：検診日程等

(4) その他

- 5年度は次の取組により、より分かりやすく情報を届けました。
- ・区内職員を対象にデザイン基礎研修を実施しました。（7月）
- ・連載「バス停でたどる港北の歴史」の連載を掲載しました。（8月・1月）

【広報よこはま区版発行部数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
年間部数	164万部	166万部	166万部	172万部	172万部	174万部
月平均部数	13.7万部	13.8万部	13.8万部	14.3万部	14.3万部	14.5万部

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,092,000円	2,089,165円	2,835円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行いました。また、「市民からの提案」などの広聴制度により、手紙や投稿フォームで寄せられた区民の提案・意見などを受け付けて、回答するとともに内容を公表しました。

【主な内容】

1 特別相談事業 【予算：2,092,000円、決算：2,089,165円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行いました。

【特別相談実施概要】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など法律問題全般について	弁護士	水曜日及び 第1・3木曜日 13:00～16:00
司法書士相談	債務整理（140万円以下）、 不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1・3火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約などの 公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望 など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

【特別相談・広聴・窓口案内件数】（単位：件）

年度		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
特別 相談	法律相談	482	435	420	448	460
	司法書士相談	135	40	57	70	103
	公証相談	24	10	8	14	20
	交通事故相談	13	2	6	4	2
	行政相談	8	0	0	5	13
広聴事業		709	1,083	1,049	800	729
窓口案内		77,003	62,343	61,006	57,908	46,757

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,343,000円	3,118,788円	224,212円
地域振興課、こども家庭支援課	差引理由	交付対象事業の精査・適正化等に伴う減	

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援し、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行いました。

【主な内容】

1 青少年指導員事業 【予算：2,363,000円、決算：2,353,971円】

- ・自然体験教室（9月23日）
- ・広報誌「港北青指」50号の記念号を発行（3月）
- ・港北区青少年指導員大会（3月14日）



【自然体験教室】



【港北区青少年指導員大会】

【自然体験教室の実施状況】

年度	30年度	元年度	2年度 3年度	4年度	5年度
実人数	135人	96人	中止※1	65人※2	66人
実施場所	ソレイユの丘	湘南国際めぐりの森		ソレイユの丘	ソレイユの丘
実施内容	クラフト体験	・森に関する講義 ・植樹体験 ・植物観察		天候不良により中止	クラフト体験 フォトラリー

※1 2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響により中止

※2 申込者数

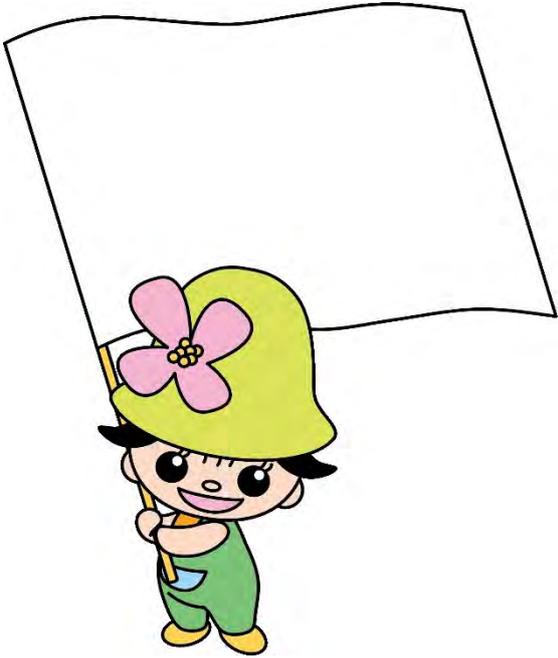
2 社会環境健全化事業 【予算：80,000円、決算：0円】※青少年指導員事業へ統合して実施

- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
- ・社会環境実態調査（7月～9月）
- ・全市統一行動キャンペーン活動（11月25日）

3 学校・家庭・地域連携事業 【予算：900,000円、決算：764,817円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ交付金を交付しました。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図りました。

- ・交付金の活用事例：防犯対策・パトロール、地域環境美化・クリーン活動、緑化運動 等



資料2

令和6年第3回
区づくり推進横浜市議員会議資料
令和6年9月6日
港 北 区

令和6年度 個性ある区づくり推進費 執行状況



©横浜市港北区ミズキー

港 北 区

令和6年度個性ある区づくり推進費 予算総括説明書

1 総括表

(単位:千円)

	予算額	執行額	執行率 ※7月末時点
(1) 自主企画事業費	109,336	56,105	51.3%
(2) 統合事務事業費	49,425	34,874	70.6%
統合事務費	26,372	13,560	51.4%
統合事業費	23,053	21,314	92.5%
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	750,288	704,551	93.9%
合 計	909,049	795,530	87.5%

2 内訳

(1) 自主企画事業費

※詳細は3ページ以降に記載

(単位:千円)

区 分	予 算 額	執行額	執行率	主な事業名
1 安心して安全に暮らせるまちづくり	29,325	13,258	45.2%	・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故でカエル事業
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	23,859	15,948	66.8%	・地域子育てサポート事業 ・高齢者・障害者支え合い推進事業
3 活気にあふれるまちづくり	35,922	21,684	60.4%	・育もう「ふるさと港北」事業 ・港北魅力発見事業
4 区民サービス向上に向けた取組	20,230	5,215	25.8%	・区民サービス向上・環境改善促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業
合 計	109,336	56,105	51.3%	

注)各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	予算額	主な事業内容
統合事務費	26,372	・区役所業務の事務経費
統合事業費	23,053	・広報よこはま区版発行事業 ・青少年活動支援事業
合 計	49,425	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	予 算 額	施設、事業内容
区庁舎等	153,755	・港北区総合庁舎 ・行政サービスコーナー(2か所) ・港北区区民活動支援センター ・港北土木事務所
公会堂	27,238	・港北公会堂
地区センター・スポーツ会館	244,492	・地区センター(6か所) ・小机スポーツ会館
ログハウス	9,753	・綱島公園こどもログハウス
区民文化センター	139,642	・港北区民文化センター
老人福祉センター	44,849	・老人福祉センター菊名寿楽荘
コミュニティハウス	87,092	・コミュニティハウス(3か所) ・学校施設活用型コミュニティハウス(3か所)
スポーツセンター	26,003	・港北スポーツセンター
広場・遊び場	1,011	・広場・遊び場等(13か所)
国際交流ラウンジ	15,210	・港北国際交流ラウンジ
区民利用施設修繕費	1,243	・小破修繕等
合 計	750,288	

注)各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

事業名	掲載頁
自主企画事業	
1 安全に、安心して暮らせるまちづくり	
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	4
(2) 災害時医療整備事業	11
(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	13
(4) 交通安全 無事故でカエル事業	14
(5) 放置自転車対策事業	17
(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	18
(7) 地域における災害時要援護者支援推進事業	20
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	
(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	22
(2) 地域子育てサポート事業	24
(3) 保育所支援・情報提供事業	30
(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	31
(5) 食育推進事業 ※旧事業名 離乳食教室	32
(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	35
(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	39
(8) 健康こうほく21事業	40
3 活気にあふれるまちづくり	
(1) 地域スポーツ推進事業	44
(2) 港北区商店街活性化事業	46
(3) 育もう「ふるさと港北」事業	48
(4) 地域のチカラ応援事業	52
(5) 港北オープンガーデン事業	54
(6) 港北オープンファクトリー事業	57
(7) 芸術文化振興事業	58
(8) 区民活動支援事業	61
(9) 地域振興活動事業	62
(10) 読書活動推進事業	64
(11) こうほく プラ5.3推進事業	67
(12) 港北エコアクション推進事業	69
(13) まちづくり調整費	71
4 区民サービス向上に向けた取組	
(1) 港北区PR情報発信事業	73
(2) 戸籍課案内サービス向上事業	74
(3) 「仕事力向上」職員育成事業	76
(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	77
(5) 区民利用施設環境改善事業	78
《参考》統合事業費	
広報よこはま区版発行事業	79
広聴相談事業	80
青少年活動支援事業	81
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	9
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	45
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく プラ5.3推進事業の頁に掲載	68
学校・家庭・地域連携事業 ※青少年活動支援事業の頁に掲載	81

※次ページ以降の個別事業の増減理由について、増減額が10万円未満の場合は増減理由を省略しています。

1-(1)災害に強いまちづくり推進事業

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(1) 災害に強いまちづくり推進事業	19,959千円	10,475千円	52.5%
総務課			

【事業の概要】

能登半島地震の発生による区民の災害対策への関心の高まりを捉え、災害発生時の被害を最小限に留めるための各種取組を行います。

地域向けの啓発事業を実施し、一人ひとりの自助・共助による備えの重要性を伝え、具体的な行動に結びつけるほか、地域防災拠点の円滑な運営を支援するため、資機材の更新や取扱講習を行います。

また、区災害対策本部の運営体制を強化するため、通信手段や電源の確保、訓練・研修等を行います。

【主な内容】

1 自助・共助の啓発事業 【(6) 8,140千円、(5) 10,500千円】

(1) 防災キャラバン等の実施

地域のニーズに応じた啓発活動を行い、区民の防災意識の向上につなげるため、自治会町内会や区内小学校等の希望する団体に、専門家による防災キャラバンや区役所防災担当による講座等を実施します。(防災キャラバン：6～12月)

【防災キャラバンのテーマ一覧】

テーマ	概要	6年度 申込数 (7月末時点)
知的障害や自閉症の方への支援	災害時の知的障害や自閉症の方向けの支援について、当事者からの講義やコミュニケーションボードの使用説明等	1回
崖防災	崖地防災の基礎知識についての講義	0回
河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	1回
建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	1回
首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	0回
マンション防災	マンション特有の防災対策についての講義	2回
防災食	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	5回
発災時のトイレ問題	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	5回
合 計		15回

【防災キャラバン等の実施状況、参加者数】

年 度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度※ (7月末時点申込数)
団体数	8団体	10団体	8団体	18団体	26団体	23団体
実人数	299人	369人	357人	1,304人	1,486人	1,039人

※内訳：防災キャラバン15団体675人、防災担当による講話等8団体364人



【防災キャラバンの様子（6年度）】

(2) 港北支えあい防災教室の実施

要援護者に関わるケアマネジャーや、要配慮者施設（高齢者施設、保育所等）の職員が、防災に関する基礎知識に加えて、職種や施設の特徴に応じた知識を得ることができるよう、研修会を実施します。（計3回 7月～12月）

【6年度の予定】

実施回	実施日	対象者（内容）	参加人数
第1回	7月31日	保育施設関係者 <u>（避難訓練、事前対策、発災時の保護者の対応等について）</u>	20名
第2回	10月頃	高齢者・福祉施設関係者 <u>（普段の備え、業務継続計画等について）</u>	二
第3回	12月頃	第1回、第2回の受講者の意見 <u>を踏まえて対象者及び内容を検討</u>	二



【第1回の様子】

(3) 港北シェイクアウト！の実施

大規模地震発生時の安全確保行動を、区民や区内事業者の参加を募り、一斉に実施します。（9月）

【「港北シェイクアウト！」予定】

区民、区内の小・中学校、幼稚園、保育園、企業、大規模集客施設、商店、公共施設、病院等に参加を呼びかけています。

また、9月1日にトレッサ横浜で来場者向けに実施したほか、9月27日に港北区総合庁舎で実施予定です。



【令和5年9月にトレッサ横浜で実施した様子】

(4) 商業施設等と連携した防災啓発イベントへの出展

区内の大規模商業施設等と連携した啓発イベントに出展し、啓発活動を行います。

【出展する防災啓発イベント】

時期	商業施設等名称	イベント名	主な啓発実施内容
9月1日(日)	トレッサ横浜	トレッサ防災フェア 2024	パネル展示、 ワークショップの実施 等
11月30日(土)	横浜アリーナ	ふるさと港北 ふれあいまつり	
3月8日(土)	アピタテラス 横浜綱島	こども防災フェア 2025	

(5) 防災講演会の実施

より多くの区民に災害への備えの重要性を伝え、参加者が具体的な行動を取るきっかけになるような防災啓発を実施するため、防災に見識のある外部講師を招き、区民が気軽に参加することができる講演会を開催します。

6年度は、ひっとプラン港北の啓発を行う区民フォーラムと合同で実施し、地域で助け合うことの重要性を伝えることで、共助による災害の備えを推進します。(2月)

(6) かけ地相談会の実施

区内における崖地周辺の土地所有者の適切な対応につなげるため、専門家が対応する相談会を区独自に実施します。(9月13日及び14日、12組対象、申込7組(8月26日時点))

(7) まるごとまちごとハザードマップの設置

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、「まちなか」の電柱に想定浸水深や避難場所を示した看板等を、新吉田地区、新吉田あすなろ地区及び樽町地区の洪水浸水想定区域内に設置します。地区内の設置場所は地区定例会を通じて地域と調整しながら決定します。(1月～3月)

【設置状況】

年度	地区(設置数)
4年度	大倉山(50か所) 綱島(50か所)
5年度	城郷(50か所) 新羽(50か所)
6年度 (予定)	新吉田、新吉田あすなろ(60か所) 樽町(30か所)

※8年度までの5か年で区内の浸水想定区域全域に設置予定



【想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ(城郷地区)】

(8) 防災マップ、各種ハザードマップ等の更新、印刷

区民が日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、防災マップ、各種ハザードマップ等を更新し、必要部数を印刷します。

なお、防災マップと区民生活マップを統合し（仮称）「港北区防災・区民生活マップ」を作成します。

(9) 外国語版防災マップの作成

日本語を母語としない外国籍の区民や区内在勤者、在学者が、平時から防災意識を高め、災害への備えや適切な避難行動を取ることができるよう、外国語版の防災マップを作成し、区ウェブサイト上に公開します。

区内在住の外国籍の方では中国籍の方が最も多いことから、5年度に作成した英語版に続き、新たに中国語版を作成します。

2 避難所等の環境改善及び運営支援 【(6) 3,212 千円、(5) 3,369 千円】

(1) 地域防災拠点備蓄倉庫の狭あい化への対応《新規》

備蓄倉庫の狭あい化に対応し、拠点運営委員会の円滑な活動を支援します。

・区独自配備資機材の置き換え

資機材の備蓄に要するスペースを可能な限り縮減するため、区が独自に配備した資機材のうち、段ボールベッドを回収し、劣化しにくいなど機能を強化しつつスペースを比較的要しないスチール製のワンタッチ式ベッドを新たに配備します。(8月～9月、6年度は9拠点分、8年度までに全拠点に配備)



【ワンタッチ式ベッドのイメージ】

・防災備蓄倉庫の整理整頓の支援

防災備蓄倉庫の整理整頓、備蓄品の管理を支援するため、専門業者に委託し、希望する拠点の備蓄倉庫内の棚卸、目録及び位置図の作成等を行います。

(8月～12月、申込済7拠点)

(2) 資機材取扱指導員の派遣

災害発生時に資機材を取り扱うことができる人材を安定的に確保するため、資機材取扱指導員を地域防災拠点運営委員会に派遣し、資機材の取扱研修を行います。

(9月～12月、申込済4拠点)



【指導員による研修の様子（5年度）】

(3) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機等の資機材について、地域防災拠点運営委員会の要請等に対応し修繕・更新を行います。

(4) 地域防災拠点訓練参加者向け保険の加入

各地域防災拠点で実施される防災訓練の参加者が訓練時に負傷した場合に備え、傷害保険に加入しました。

3 区災害対策本部の効率的な設置運営 【(6) 5,097千円、(5) 5,115千円】

(1) 区職員向け防災研修の実施《新規》

区職員が平時から防災意識を高め、災害発生時に円滑に対応業務を行うことができるよう、外部講師による防災研修を行いました。(8月22日、参加人数60人)

【実施概要】

講師	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏
内容	「災害時、自治体職員のミッション、パッション、実務能力」と題した講演



【研修の様子】

(2) IP無線機等を活用した円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、IP無線機等の各種通信機器を継続して運用しています。

【IP無線機の特性】

- ・同時通話が可能
- ・全国どこでも通信可能



【IP無線機】

(3) 災害時における避難場所等運営

災害時に地区センター等を避難場所として借り上げ、施設使用料を負担します。

(4) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施しています。

【訓練】

- ・区職員動員訓練（9月～12月）
- ・震災対策本部各班訓練（9月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・初動対応輪番者研修（4月17日、19日、23人）
- ・地域防災拠点参与係長研修（5月10日、16日、16人）
- ・風水害時避難場所運営責任者研修（5月21日、24日、25人）
- ・拠点動員者研修（9月）



【風水害時避難場所運営責任者研修の様子】

(5) 港北区災害対策本部の備蓄品整備

庁舎の停電時に、区本部の円滑な初動対応を確保するため、容易に持ち運んで運用が可能なバッテリー機器を配備しました。また、備蓄食料等を購入します。

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【(6) 884千円、(5) 950千円】

避難指示等の避難情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域等に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用します。

【対象区域内の配信希望者等(2,947件)】(6年7月末)

・洪水浸水想定区域内災害時要援護者	2,626件
・家屋倒壊等氾濫想定区域となる 新羽町・北新横浜・小机町等の一部の住民	193件
・自治会及び町内会の会長（区内全域）	125件
・土砂災害警戒情報発表に伴う 即時避難指示対象の区域の住民	3件

4 デジタル技術を活用した災害対策 【(6) 3,360千円、(5) 4,030千円】**(1) 動画配信サイト (YouTube) を活用した防災啓発**

スマートフォン等を中心に情報収集を行う若年層の防災意識を醸成するため、5年度に引き続き防災啓発を目的とした動画を作成し、YouTubeの広告機能を活用して、災害への備えの重要性や各種防災啓発イベントの周知を行います。

(2) 災害に強いまちづくりに資する防災対策の検討

当初予定していた「港北区防災ポータルサイト」の構築については、6年3月にリニューアルされた「横浜市防災情報ポータル」において、想定していた機能が付加されたため実施しないこととし、別途発災時の地域防災拠点運営を支援する取組を検討しています。

5 各種団体への補助 【(6) 150千円、(5) 170千円】

災害時に円滑なボランティア活動を実施するため、港北区災害ボランティア連絡会にコーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として補助金を交付しました。

[総務局再配当予算]

・地域防災力向上事業

地域防災活動奨励助成金 【(6) 3,480千円、(5) 3,480千円】

区内29か所の地域防災拠点運営委員会へ助成(1拠点あたり12万円交付)

町の防災組織活動費補助金 【(6) 18,338千円、(5) 17,981千円】

区内151団体の町の防災組織へ補助(1世帯あたり160円交付)

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1 - (2) 災害時医療整備事業	560千円	63千円	11.3%
福祉保健課			

【事業の概要】

能登半島地震を踏まえた様々な災害時医療の課題への対策を講じるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「三師会」という。）をはじめとした関係機関との各種会議や医療救護隊等の訓練を行うとともに、災害時の体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナース（Yナース）の登録促進と育成を進めています。

【主な内容】

1 災害医療体制の整備 【(6) 194千円、(5) 220千円】

(1) 災害医療連絡会議

三師会、Yナース、病院等の医療関係者と、区、警察、消防等の行政機関が参加し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関し、意見交換や情報共有を行っています。

（年3回 6月18日、10月22日、2月18日）



【災害医療連絡会議】

(2) 災害時の医療体制の区民周知

医療機関や医療救護隊に限られた人員と資源でより多くの人を救う効果的な活動を行うため、重症度に応じた受診先の選択や、軽症者の自助共助による対応等の災害時の医療体制について、三師会と連携して区民向けに周知啓発を行います。

具体的には、三師会と連携したチラシ・ポスター配布（540部・通年）、のぼり旗掲出訓練の広報よこはま区版でのお知らせ（8月、1月）にあわせ、区ウェブサイト、SNS等を活用して広報を行っています。



【災害時医療体制周知チラシ】

2 医療救護隊訓練の実施 【(6) 50千円、(5) 50千円】

参集実地訓練（12月）や医療機関報告書持込訓練（10月～11月）、のぼり旗・フラッグ掲出訓練（9月、1月）、医療機関や医療局との通信訓練（医療機関：年4回、医療局：年6回）を実施しています。



【参集実地訓練】



【医療機関報告書持込訓練】



【のぼり旗・フラッグ掲出訓練】

【訓練の参加人数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
参集実地訓練 (実人数)	116人	中止	41人	70人	64人	—
報告書持込訓練 (参加医療機関 数)	—	—	—	41機関 (3拠点)	47機関 (5拠点)	—

3 医療救護隊用装備品の整備 【(6) 296千円、(5) 316千円】

医療救護隊参集拠点における定点診療や、医療救護隊及び医療調整班保健活動グループの巡回診療に必要な装備品を整備します。

4 災害支援ナースの登録促進と育成 【(6) 20千円、(5) 43千円】

- ・リーフレットによる登録勧奨を行います。(随時)
- ・広報よこはま区版(8月、1月)や区ウェブサイト、SNS等を活用して登録勧奨を行います。
- ・参集実地訓練への参加を依頼します。(12月)
- ・Yナース連絡会を開催します。(年1回)
- ・港北区医師会や神奈川県看護協会主催の研修会への参加勧奨を行います。(随時)



【Yナース募集リーフレット】

【Yナース登録者数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
登録人数	66人	56人	72人	64人	66人	68人

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(3) 快適な暮らしの衛生 応援事業	994千円	416千円	41.9%
生活衛生課			

【事業の概要】

区民等からの食中毒、衛生害虫及びペットに関する相談に対し、原因調査や関係者への助言指導等を行うとともに、区ウェブサイトやSNSを積極的に活用し、食品衛生、環境衛生及び動物愛護に関する知識の普及啓発を行い、区民の安全で快適な暮らしを支援します。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策事業《拡充》 【(6) 479千円、(5) 310千円】

イラスト、動画、クイズ等を掲載したSNSを発信し、区ウェブサイトに誘導して食中毒・感染症予防啓発を推進します。更に、啓発効果を高めるため、Youtubeに動画広告を掲出します。

【食中毒・感染症発生件数】

暦年		元年	2年	3年	4年	5年	6年 (7月末)
食中毒	件数	4件	3件	2件	2件	0件	2件
	患者数	48人	24人	7人	4人	0人	9人
感染症※	件数	26件	22件	35件	43件	41件	18件
	患者数	310人	41人	274人	202人	731人	374人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌、レジオネラ症等

2 住まいの衛生及びペットに関する相談・啓発事業 【(6) 515千円、(5) 190千円】

衛生害虫やペットのマナー等の相談受付及び災害時ペット対策の啓発について、動画などを活用し、効率的に推進していきます。

- ・ハチ、ねずみ等衛生害虫に関する相談受付・啓発（通年）
- ・ペットの適正飼育に関する相談受付、啓発・指導（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発を実施しました。（4月6日、21日）
- ・地域防災拠点運営委員会等での啓発（5月～12月）

【衛生害虫・ペット関係の相談件数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
衛生害虫	540件	405件	516件	469件	378件	79件
ペット	222件	199件	154件	126件	120件	30件



【マナー・防災に関する啓発資料、動画】



【ネズミ対策動画】



【ペットのマナー教室】

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(4) 交通安全 無事故でカエル事業	4,940千円	1,650千円	33.4%
地域振興課			

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力し、啓発活動を行います。特に、交通事故の多くを占める児童、高齢者を対象に事業を集中的に実施します。

【主な内容】

1 児童交通安全対策事業 【(6) 4,105千円、(5) 4,845千円】

- ・新入学児童の交通事故防止のための、ランドセルカバーの配付（4月8日）
- ・「はまっ子交通あんぜん教室」の区内全小学校26校での実施
低学年を対象に歩行者教室、高学年を対象に自転車教室を実施するほか、動画による雨天等の室内開催にも対応します。
- ・交通安全ポスターコンクールの開催（8～9月募集）と表彰（12月）
小学生の応募作品の中から優秀賞12作品を選定し、翌年の交通安全カレンダーに使用します。
- ・区内スクールゾーン対策協議会26団体への助成金交付
- ・スクールゾーン路面標示及び電柱巻看板等の更新、設置



【ランドセルカバー贈呈式】



【はまっ子交通あんぜん教室】



【交通安全カレンダー】



【スクールゾーン路面標示】



【スクールゾーン電柱巻】

2 交通安全運動事業 【(6) 633千円、(5) 133千円】

(1) 各種交通安全キャンペーンの実施

交通安全各種団体と連携し、各種交通安全キャンペーンを実施します。

- ・春の全国交通安全運動キャンペーン (4月5日 新横浜 55名参加)
- ・夏の交通事故防止運動キャンペーン (7月11日日吉54名参加)
- ・秋の全国交通安全運動キャンペーン
- ・年末の交通事故防止運動キャンペーン
- ・その他、自転車・二輪車に関するキャンペーンの実施等



【各種交通安全キャンペーン】

(2) 港北区安心・安全のつどいの開催

防犯活動功労者伝達式等とあわせて、交通安全功労者表彰、ポスターコンクール入賞者表彰、交通安全講話等を行います。(12月)

(3) 区内企業のイベントと連携した交通安全啓発の実施《新規》

区内企業が実施する人の集まるイベントの機会を活用し、交通安全啓発を実施します。

3 高齢者交通安全対策事業 【(6) 100千円、(5) 300千円】

(1) 高齢者交通安全教室の開催 (ドライビングスクールでの体験型交通安全教室)

希望者に対し、高齢者交通安全教室を菊名ドライビングスクールと日吉自動車学校の2か所で開催します。(12月)

- ・高齢ドライバーの運転実技講習
- ・衝突・巻き込み実験
- ・サポートカー試乗による安全運転講習の実施

【参加者数の推移】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
参加者数 (実数)	19人	37人	中止	中止	19人	11人

(2) シルバーウォークラリーの開催

警察と連携し、道路の歩き方等の指導や目的地までのウォーキング、及び身体機能テストを含む交通安全講話を実施しています。(4月、9月)※雨天時は室内で交通安全教室を実施します。

・新羽駅から新羽丘陵公園までのウォークラリー(4月10日 17名参加)

【参加者数の推移】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
参加者数 (実数)	54人	69人	中止	中止	23人	34人



【シルバーウォークラリー】

(3) 高齢者施設での交通安全教室の開催

高齢者施設等で交通安全教室を開催し、免許返納を推進し交通安全の啓発活動を行います。(随時)

4 子育て関連施設交通安全対策事業 【(6) 102千円、(5) 62千円】

子育て施設の安全対策として、新規に開園する保育所や幼稚園などの施設周辺に、施設の存在を知らせ、子どもの飛出しに対する注意を促す電柱巻看板を設置します。

なお、古くなった電柱巻の更新を6年度から実施します。



【電柱巻看板】

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(5) 放置自転車対策事業	480千円	300千円	62.5%
地域振興課			

【事業の概要】

駅前における歩行者の安全を確保するため、各駅自転車等放置防止推進協議会の活動を支援するとともに、自転車等の放置防止を促します。

【主な内容】

1 地域活動事業 【(6) 480千円、(5) 530千円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成(11協議会)するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、各駅の状況に応じて協議会の活動を支援しています。(通年)

また、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、区内の各協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会」を開催します。

視覚的に駐輪禁止とわかるように、看板等を活用し、駐輪禁止区域内の自転車等の放置を防止しています。(通年)



【放置自転車クリーンキャンペーン】

【区内全駅の1日における放置台数(合計)】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
放置台数	444	422	365	214	330	181
駐輪場台数	19,619	19,896	19,981	20,039	19,461	20,036

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋
(11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数)

※ 監視員事業 【(6) 0円、(5) 3,318千円】

事業見直しにより、6年度から局事業となりました。

《参考》

局事業

[道路局事業]

- ・自転車マナーアップ事業
自転車放置防止監視員の配置

1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(6) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	1,082千円	354千円	32.7%
地域振興課			

【事業の概要】

自治会町内会による防犯活動の物品配布やメールでの区内犯罪発生情報の発信、各団体と連携した特殊詐欺啓発物品の積極的な配布など、区民の防犯活動支援と犯罪情報提供を実施しています。

【主な内容】

1 防犯情報メールの配信事業 【(6)132千円、(5)132千円】

防犯情報メールの登録者を対象に、警察から情報提供があった犯罪発生状況等を、メールやFAXで「防犯情報メール」として配信しています。

また、特殊詐欺の前兆電話があったという情報が、警察や区民から区役所に複数寄せられた際に、「特殊詐欺警報」として即時に注意喚起の防犯情報メールを配信します。

【防犯情報メール登録者数】

年度	元年度末	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末	6年度 (6月末)
延べ登録者数	9,711人	10,622人	11,250人	11,569人	11,778人	11,837人

2 防犯啓発活動事業 【(6)450千円、(5)500千円】

(1) 防犯パトロール関連物品の作製配付

「のぼり旗」や「ベスト」等、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作製、配付し、地域の防犯活動を支援しています。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で巡回し、放送による防犯啓発を行っています。子どもの下校時間にあわせた見守りとともに、警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々状況にあわせた注意を放送で呼び掛けます。



【青色防犯灯装備車によるパトロール】



【防犯のぼり】

(3) 港北AAA（安全で安心な明日を）作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や港北防犯協会等の防犯関係団体、地域、学校、事業者による「港北AAA作戦会議」を书面開催しました。（6月）

(4) 港北区安心・安全のつどいの開催【再掲（P15）】

交通安全功労者表彰等とあわせて、防犯功労者表彰や防犯講話を公会堂で実施します。（12月）

3 特殊詐欺対策機器設置啓発事業《拡充》 【(6) 500千円、(5) 220千円】

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、特殊詐欺対策に有効な迷惑電話防止機能付き電話機について広報を行い、各家庭での設置を促しています。また、警察や郵便局、民間企業と連携し、巡回訪問時や、人が集まるイベント等の機会を活用した啓発グッズ配布先の拡大により、特殊詐欺防止の啓発を実施します。



【啓発チラシ】



【啓発グッズ①】



【啓発グッズ②】

【市民局再配当予算】 【(6) 90千円、(5) 90千円】

・地域防犯啓発事業

子ども110番の家にご協力いただける家庭に対し、港北区内の小学校を通じプレートを配付します。

《参考》

【港北区区内犯罪発生状況（暦年）】

年	元年	2年	3年	4年	5年	6年 (1～5月)
犯罪発生 件数	1,453件	1,109件	1,215件	1,426件	1,728件	646件
特殊詐欺	74件	35件	58件	105件	84件	20件
同被害額	1億8,400 万円	5,500 万円	1億4,345 万円	1億8,532 万円	約1億6,950 万円	約6,950 万円

1-(7) 地域における災害時要援護者支援推進事業

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(7) 地域における災害時要援護者支援推進事業	1,310千円	0千円	0%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

地域の方と災害時要援護者（以下「要援護者」という。）との平常時の関係構築と防災意識醸成の取組を推進するため、地域への情報提供に同意をいただいた要援護者宅への訪問用の防災物品と啓発チラシを作成・配布します。

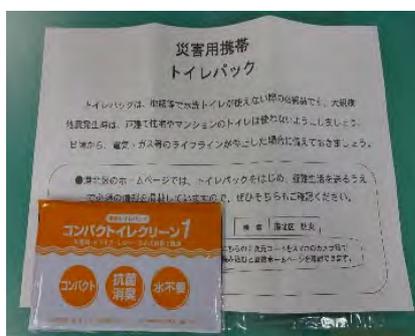
また、区内協力企業等による、長期停電時における要電源医療機器利用者へのバッテリー貸出しを行います。

【主な内容】

1 災害時要援護者訪問推進事業《拡充》 【(6) 1,100千円、(5) 645千円】

地域の方と要援護者との平常時の関係構築と防災意識醸成のため、3月の災害時要援護者名簿更新に合わせて、名簿登載者のうち、地域への情報提供に同意をいただいた方への訪問時に、災害用備蓄物品と防災情報の啓発チラシを配布します。また、自治会・町内会等の支援者向けに、事業概要と要援護者支援の事例を掲載した港北区災害時要援護者支援事業取組ハンドブックを改訂、配布するとともに、概要版の動画を作成します。

- ・啓発チラシの要援護者宅への配付：6,000部（3月）
- ・ハンドブックの作成：650部（3月）



【備蓄物品と啓発チラシの例】



【現在のハンドブック】

【健康福祉局再配当予算】

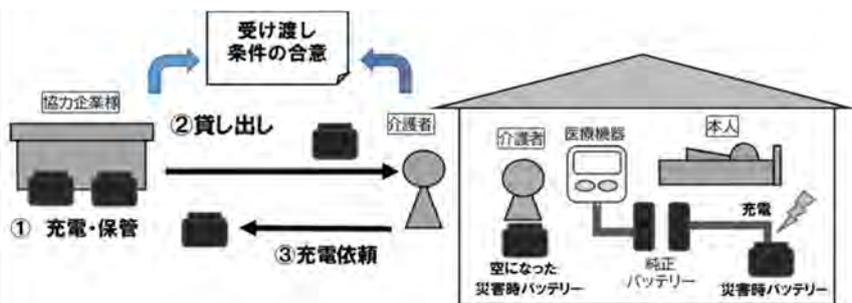
- ・災害時要援護者支援事業

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者・障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿を提供します。

2 要電源医療機器利用者支援事業 【(6) 210千円、(5) 350千円】

区内の協力企業に災害用としてポータブルバッテリーを貸与し、長期停電時に協力企業による共助の取組として充電済みのバッテリーを要電源医療機器利用者に貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電などの支援を行います。引き続き、協力企業の拡充及び利用者と協力企業とのマッチングを行います。

協定締結済企業数：12社



【取組のイメージ図】



【ポータブルバッテリーの例】

協力企業は区が用意したポータブルバッテリーを使って

- ① 平常時は充電・保管
- ② 1日超の長期停電時に貸出
- ③ 対象者のバッテリーの充電のサイクルを作ります。

《参考》

【港北区における要電源医療機器利用者の推定人数 (※)】

- ・人工呼吸器利用者数 推定 50 人
- ・自動腹膜装置利用者数 推定 10 人

※要電源医療機器利用者が、必ずしも障害者手帳等の行政サービスを利用しているわけではないため、区役所による対象者の把握は困難です。そのため、健康福祉局の要電源医療機器利用者登録制度を活用し、協力企業とのマッチングを行っています。

《参考》

局事業

【健康福祉局事業】

- ・横浜市要電源障害児者等災害時電源確保支援事業
災害等による停電時の備えとして、電源が必要な医療機器を在宅で使用している方に対し、市民税所得割額等に応じて蓄電池等の非常用電源装置の給付を行っています。
- ・横浜市災害時要電源障害児者等登録制度
電源が必要な医療機器を在宅で使用している方のうち、災害時（発災前を含む）に支援が必要な方を把握することで、災害対策検討、広報、情報発信等、様々な施策に活用していくことを目的とした登録制度。

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(1) 「ひっとプラン港北」 推進事業	1,289千円	101千円	7.8%
福祉保健課			

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「第4期港北区地域福祉保健計画（計画期間：3年度～7年度）」（以下「ひっとプラン港北」という。）の区計画を推進するとともに、13地区で策定した地区計画の推進を支援し、助け合い支え合いのある、安心して暮らせるまちを目指します。6年度は、ひっとプラン港北の4年目であり、5年度に実施した地域福祉保健計画に関する区民意識調査等を基に振り返りや課題抽出を行い、今年度から新たに定められた第5期横浜市福祉保健課計画を踏まえ、策定・推進委員会の開催及び関係団体へのヒアリングをとおして第5期計画の策定に向けて取り組んでいきます。

【主な内容】

- 1 第4期区計画推進・地区計画推進支援 【(6)189千円、(5)389千円】
 - ・「ひっとプラン港北」策定・推進会議を開催しています。（7月10日、2月5日）
 - ・ひっとプラン担当者職員向け研修を実施しました。（5月15日）
 - ・各地区計画推進委員会等へサポートスタッフが支援を実施しています。（随時）



【「ひっとプラン港北」策定推進会議】

- 2 第4期区計画の評価・第5期計画の検討 【(6)550千円、(5)500千円】
 - (1) 第4期港北区地域福祉保健計画評価
 - ・前年度実施の地域福祉保健計画に関する区民意識調査の内容を分析しました。（7月）
 - (2) 第5期港北区地域福祉保健計画策定支援業務委託
 - ・データ作成及び調査資料分析を実施します。
 - ・諸団体及び活動者等へのアンケート調査を実施しました。（6月～8月）
 - (3) 第5期計画策定・推進検討部会の開催
 - ・検討部会の委員を選定し、実施します。（9月～12月）

[健康福祉局再配当予算]

- ・地域福祉保健計画推進事業
第5期区地域福祉保健計画策定に係る、地域課題の把握やデータ分析等を実施します。

3 計画周知・啓発 【(6)550千円、(5)550千円】

- ・北綱島小学校で、ひっとプラン港北に関する授業を実施しました。(6月)



- ・「ひっとプラン港北」地区計画ニュースを発行します。(2月)
- ・広報よこはま区版(10月号)や区ウェブサイト、SNS等の電子媒体を活用して広報を行います。



【地区計画ニュース表面(13地区作成)】

【地区計画ニュース裏面(共通)】

- ・区民フォーラムを防災講演会と合同で実施します。

ひっとプラン港北の啓発を行う区民フォーラムを、幅広い世代で関心のある防災をテーマにした防災講演会と合同実施することで、特に働き世代の方々の地域活動に参加するきっかけとなることを目指します。(2月)



【令和5年度区民フォーラム】

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(2) 地域子育てサポート事業	9,939千円	7,391千円	74.4%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

全ての妊産婦とそのパートナー及び子育て中の保護者が、妊娠中から子育てのイメージを持ち、子育ての不安を軽減するために、土曜両親教室や子育てひろば体験券の配布、赤ちゃん会、児童虐待防止対策など、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを充実させます。

【主な内容】

1 「親と子のつどいの広場」妊娠期支援事業【(6) 700千円、(5) 700千円】

地域の子育て支援施設の利用のきっかけづくり及び仲間づくりのため、妊婦とそのパートナーを対象に、親と子のつどいの広場で、マタニティプログラム*を実施しています。(各施設年4回以上)

*マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や育児家庭との交流・沐浴などの子育て体験等

【実施施設数・実施回数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	<u>6年度 (7月末)</u>
実施施設数	6施設	6施設	6施設	4施設	<u>5施設</u>
実施回数	59回	84回	81回	66回	<u>15回</u>

※5年度から育児参加促進講座休日実施加算（こども青少年局補助金）の活用により2施設移行

《参考》

局事業

〔こども青少年局事業〕

・親と子のつどいの広場事業

主に0～3歳の未就学児とその保護者を対象に、利用者同士の交流やつどいの場の提供、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施しています。

2 土曜両親教室事業 【(6) 1,000千円、(5) 1,000千円】

妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくり及び仲間づくりのため、第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、パートナーも参加しやすい土曜日に地域子育て支援拠点、地域ケアプラザで両親教室を実施しています。また、平日夜と土曜日にオンライン両親教室も実施しています。(年60回のうち、土曜両親教室(対面開催)36回 オンライン両親教室24回)

【実施回数・参加人数】

土曜両親教室(対面開催)

年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
実施回数	36回	36回	13回
延べ人数	980人	1,116人	427人

オンライン両親教室

年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
実施回数	24回	23回	7回
延べ人数	384人	259人	46人

※4年度から事業開始

[こども青少年局再配当予算]

・両親教室

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、区役所で、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を実施しています。

3 みんなの両親教室事業 【(6)102千円、(5) 102千円】

これまでの両親教室の対象者(第1子を妊娠している妊婦とそのパートナー)だけでなく、より多くの人を対象に、出産・子育てに向けた心構えや準備について学ぶ教室を、地域子育て支援拠点で実施します。

- ・これから父親になる方向け：年3回(土曜日)
- ・第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け：年6回(平日)

【実施回数・参加人数】

年度		5年度	6年度 (7月末)
これから父親になる方向け	実施回数	4回	1回
	延べ人数	21人	5人
第2子以降	実施回数	5回	2回
	延べ人数	15人	11人

※5年度から事業開始

4 「にんしん・あんしん・つながり」推進事業《拡充》 【(6) 645千円、(5) 445千円】

地域の子育て支援施設の周知及び利用のきっかけづくりのために、産後6か月までの妊産婦とそのパートナーを対象に、港北区の妊娠期の取組が網羅されたリーフレットや親と子のつどいの広場等の利用体験券を母子手帳交付時面接や妊娠後期のお便り送付時に配布しています。

子育てひろばの利用がイメージしやすくなるよう、利用者の声や利用イメージの動画をSNS等を活用して発信するなど、子育てひろばの広報を強化します。

【親と子のつどいの広場の利用体験券配布枚数・利用延べ件数】

年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
体験券配布枚数	4,747枚	4,257枚	1,377枚
利用延べ件数	159件	229件	82件

※4年度から利用体験券配布を実施

局事業

〔こども青少年局事業〕

- ・母子保健コーディネーターによる相談支援

主に妊娠届出時から産後4か月までの不安定な時期を中心に、一人ひとりの状況に応じた産後までのスケジュールの確認や、両親教室等の産前産後に利用できるサービスのご案内や訪問等、継続した支援を実施しています。(5年度妊娠届出数：3,207件)

5 地域育児教室（赤ちゃん会） 【(6) 1,928千円、(5) 1,795千円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館や地域ケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施しています。(全24会場 年240回 各会場月1回(8月と1月を除く))

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
開催回数	211回	140回	226回	229回	240回	96回
実人数	2,788人	1,762人	2,209人	2,380人	2,313人	1,028人
延べ人数	7,732人	3,171人	5,579人	6,661人	6,428人	2,140人

6 児童虐待防止対策事業《拡充》 【(6) 1,392千円、(5) 1,105千円】

(1) 区民向けの児童虐待防止啓発

児童虐待防止について広く区民に啓発するため、啓発グッズの配布やふるさと港北ふれあいまつり(11月)での啓発活動を実施します。

また、区民向けの児童虐待防止啓発講演会を実施します。(1月)

【啓発グッズ】

・缶バッジ(1,000個)、ボールペン(1,000本)、シール(1,000枚)、クリアファイル(3,000枚)

【講演会のテーマ及び参加者数】

年度	テーマ	参加者数
元年度	かしこく、やさしく、たくましいヒトの育て方	75人
2年度※ ¹	—	—
3年度※ ²	しつけを通して考える子どもを伸ばす関わり方	24人
4年度	①小学生になったこどもへの声かけ ②思春期に入るお子さんとの関わり方	85人 (①47人) (②38人)
5年度	こどものしつけってどうすればよいの？	63人

※1 2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※2 3年度はオンラインでの開催

(2) 保護者向けの児童虐待予防啓発《拡充》

児童虐待予防のため、乳幼児期からの切れ目のない支援に向けて、学齢期以降の子を持つ保護者を対象に、グループミーティング(月1回)を5年度に引き続き試行実施しています。

また、未就学児の保護者を対象に、体罰によらない子育てについての講座(2回連続講座、10月2日、11月1日)を新たに実施します。

【こども青少年局再配当予算】

・ファミリーサポートクラス(未就学児の子を持つ保護者を対象としたグループミーティング)

支援を必要とする保護者の育児不安の解消を図るため、グループミーティングの手法を活用した支援を実施しています。

【ファミリーサポートクラス参加者数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
回数	12回	10回	12回	12回	12回	4回
実人数	24人	19人	10人	12人	15人	8人
延人数	49人	52人	67人	55人	47人	15人

(3) 港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携

港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携を深めるため、全体会(7月16日)、地区ごとのエリア別連絡会(6エリア各年1回)や、学校等との専門機関別連絡会(年4回)を実施しています。

7 歯つらつ歯みがき教室《拡充》 【(6) 746千円、(5) 517千円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の講話や歯みがきの実習を、定員1日30組から60組に増やして実施しています。

(年48回 ①歯みがきをこれから開始する子ども向け 年24回

②歯みがきをすでに開始している子ども向け 年24回)

(①②それぞれ、午前午後1回ずつ実施 1月当たり1日で計4回実施)

【歯みがき教室参加者数(児・保護者の合計数)】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	<u>6年度</u> (7月末)
実人数	778人	143人	365人	397人	523人	<u>186人</u>

※2年度は新型コロナウイルスの影響で8月から再開

[こども青少年局再配当予算]

・乳幼児歯科相談

乳幼児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や個別歯みがき指導を実施しています。

8 母乳育児相談 【(6) 219千円、(5) 219千円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しています。(月2回 全24回)

【母乳育児相談参加者数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	<u>6年度</u> (7月末)
実人数	116人	102人	80人	100人	111人	<u>32人</u>

局事業

[こども青少年局事業]

・横浜市産後母子ケア事業(訪問型母子ケア)

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしています。

利用料 : 1回につき9,000円(自己負担4,000円)

対象 : 生後4か月未満の子どもを持つ母親

利用回数 : 3回まで(1回につき60～90分程度)

9 「窓口対応満足度」向上事業 【(6) 2,837千円、(5) 2,738千円】

区役所への来庁者を待たせることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口以案内員を配置しています。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、子どもを預かる保育協力者を配置しています。

【窓口案内員配置日数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	<u>6年度 (7月末)</u>
案内員配置日数	169日	142日	157日	167日	166日	<u>44日</u>

10 「保育所等による子育て支援」事業 【(6) 370千円、(5) 420千円】

(1) にこにこ広場

子育て家庭への支援のために、親子と一緒に参加して楽しめる、公私立保育所合同の育児講座（食育コーナー、区内保育所紹介パネル、育児講座等）を実施しています。

【6年度実施日程】

日吉本町地域ケアプラザ	令和6年7月9日
菊名コミュニティハウス	令和6年7月12日
グローバルキッズ菊名園	令和6年10月16日
樽町ケアプラザ	令和6年10月23日
大豆戸地域ケアプラザ	令和6年10月30日
日吉宮前公会堂	令和6年11月6日

【にこにこ広場参加者数】

年度	元年度	2年度*	3年度	4年度	5年度	<u>6年度 (7月末)</u>
実人数	494人	中止	259人	321人	347人	<u>126人</u>

※2年度は新型コロナウイルスの影響で中止

(2) ベビーステーション

乳幼児とその保護者を対象に、外出しやすい環境を整えるため、オムツの交換や授乳用の場所として保育所や公共施設等を開放する取組を実施しています。

【ベビーステーション協力施設数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	<u>6年度 (7月末)</u>
協力施設数	92施設	94施設	94施設	95施設	95施設	<u>95施設</u>

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2- (3) 保育所支援・情報提供事業	2,570千円	1,792千円	69.7%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育の質の確保・向上につながる取組を実施します。また、保育所等を掲載した区独自の利用案内を作成・活用し、保育所利用に関する制度について情報を発信します。

【主な内容】

1 民間園向け研修事業 【(6) 135千円、(5) 150千円】

保育の質の確保や保育の充実を目的とした研修を、施設長会の開催にあわせて外部講師を招き実施します。

6月28日(金)に第1回として、「改めて考えよう！こどもの人権」をテーマに実施し、94園が参加しました。第2回は9月、第3回は2月に実施予定です。

2 保育の質確保・向上事業《新規》 【(6) 1,200千円、(5) 0円】

民間の保育所を対象に臨床心理士等を派遣し、配慮の必要な子どもとの関わりや、保護者との関わり、職場状況等の課題を解決する一助として、保育士のメンタルヘルスケアや職場環境などについて助言を行います。

- ・実施期間：7月～3月
- ・対応方法：訪問、オンライン・電話による対応
- ・相談体制：臨床心理士、こどもの発達支援の業務経験者、保育施設の施設長経験者、保育士の職場環境改善の相談対応経験者など
- ・実績(7月末)：訪問1件、オンライン・電話1件

3 保育所等情報提供事業 【(6) 1,235千円、(5) 1,235千円】

区内の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービスなどについてわかりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作成します。

- ・配布場所：区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、
港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ」・「どろっぷサテライト」
- ・発行部数：10,000部
- ・発行予定：10月

2-(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(4) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370千円	63千円	17.0%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

放課後児童健全育成事業所の運営体制の強化等を図るために、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ（以下「クラブ」という。）に従事する職員に対して研修を実施し、職員の能力向上に繋がります。また、日頃顔をあわせる機会の少ない各クラブ職員に対し、顔をあわせる場を提供し、職員間のグループワーク等を通じてクラブ間の連携強化を促進します。

さらに、クラブを利用する児童やその保護者が利用したいクラブをより適切に選択できるよう、クラブ情報の周知を図ります。

【主な内容】

- 1 クラブ職員研修事業 【(6) 245千円、(5) 273千円】
 クラブ職員に対して、様々なテーマの研修を実施します。

【研修への参加人数】

研修テーマ	内 容	実人数	実施時期
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	34人	6月12日
表現活動	工作・絵描き等を通じた表現活動の工夫	22人	7月17日
障害児対応	障害のある児童、配慮を要する児童等への対応	定員 各35人	9月 ～2月 (適宜)
保護者対応	保護者とのコミュニケーションの取り方		
児童虐待	児童虐待の基礎知識、対応		
衛生、アレルギー対応	おやつ等の工夫と提供時の衛生、安全、アレルギー理解、アナフィラキシーの対応		



【研修会の様子（左：防災、中央：表現活動、右：障害児理解）】

- 2 クラブ情報提供事業 【(6) 125千円、(5) 525千円】

クラブを利用する児童やその保護者のクラブ選定時の負担を軽減するため、クラブの写真や特色等の情報を集約した紹介資料を5年度に作成しました。

この紹介資料を掲載した区ウェブサイトにはアクセスできるQRコード等を掲載したチラシを、就学時健診の際に配布することで、紹介資料の活用を促進します。

- ・対象経費：チラシ印刷及び配送
- ・配布数：チラシ5,000枚
- ・配布時期：10月
- ・配布対象：保護者 3,600人、保育所 160園

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(5) 食育推進事業	1,896千円	1,592千円	84.0%
福祉保健課			

【事業の概要】

子どもの成長段階に応じて、離乳食手帳等の配付や離乳食教室等を実施するとともに、個別相談で一人ひとりの状況に応じた支援を行い、子どものより良い成長につながるよう食育を推進します。また、食に関する疑問や不安を抱える保護者を地域の身近な場でも支援できるよう、地域人材を育成します。

【主な内容】

1 離乳食手帳及びチラシの配付（離乳初期） 【(6) 270千円、(5) 264千円】

離乳食の基礎知識を保護者が学べるよう、離乳食手帳を作成し、4か月児健診の際に離乳食教室の案内チラシと一緒に配付しています。離乳食教室の案内チラシには、保護者に向けてバランスの良い食事についても掲載し、家族で良い生活習慣を身につけるきっかけを作っています。

- ・作成部数：離乳食手帳 3,500部、離乳食教室案内チラシ 3,500部



【離乳食手帳】



【離乳食教室案内チラシ】



2 離乳食教室 【(6) 931千円、(5) 1,190千円】

7～8か月児とその保護者を対象に、安心して離乳を進めていくため、離乳食教室を実施しています。教室内では、保護者向けに離乳食の一口量や固さ体験を実施しています。

- ・回数：月2回、年間24回
- ・参加予定者数：1回あたり24人、年間576人
- ・会場：区役所
- ・内容：講話、調理実演、一口量や固さ体験、個別相談
- ※予約制

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	元年度※ ¹	2年度※ ²	3年度	4年度	5年度※ ³	6年度 (7月末)
実施回数	33回	18回	36回	36回	48回	8回
参加者数 (実人数)	712人	119人	379人	394人	419人	111人
一回あたりの 平均参加者数	21.5人	6.6人	10.5人	10.9人	8.7人	13.9人

※1 新型コロナウイルスの影響で2月の参加者数減、3月(3回)は教室を中止

※2 新型コロナウイルスの影響で実施回数減(18回)及び参加者数減

※3 令和5年度から予約制を開始

3 乳幼児期の食育事業(離乳後期以降)《新規》 【(6) 374千円、(5) 0円】

離乳食から幼児食への移行期である1歳から1歳6か月頃の子どもの保護者の食事に関する疑問や不安を解消するため、1歳前後の子どもとその保護者を対象とした「歯つらつ歯みがき教室」において、子どものむし歯予防や歯みがき実習とともに、食育に関するミニ講座及び希望者への個別相談を実施しています。また、子どもの食事に関する困りごとや悩みの解消がされるよう、1歳6か月児健診受診時に幼児食のフードモデルの展示及び健診待ち時間や受診後に立ち寄れる栄養相談ブースを設けています。

【歯つらつ歯みがき教室内での食育】

- ・回数：月1回、年間12回
- ・会場：区役所
- ・内容：1歳前後の食事ミニ講座及び簡易相談

【1歳6か月児健診内での食育】

- ・回数：月3回、年間36回
- ・会場：区役所
- ・内容：フードモデルの展示及び立ち寄り相談

【乳幼児期の食育相談(離乳後期以降)の実施回数及び相談実施人数】

年度	6年度(7月末)	
	歯つらつ歯みがき教室	1歳6か月児健診
実施回数	4回	12回
実施人数	71人	315人

4 子どもの個別栄養相談《拡充》 【(6) 156千円、(5) 72千円】

生後5か月以降の子どもとその保護者を対象に、個々の離乳食の不安や負担感の軽減を図るため、子どもの個別栄養相談を実施しています。個別相談の需要が高まっていることから、相談者数を拡大し、予約制で実施しています。

- ・回数：月4回(うち2回は同日開催)、48回
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談

※予約制

【子どもの個別栄養相談の相談者数】（健康福祉局再配当と合算）

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	<u>6年度</u> <u>(7月末)</u>
相談者数 (実人数)	93人	101人	103人	108人	106人	<u>34人</u>

[健康福祉局再配当予算]

- ・乳幼児食生活健康相談
0～18歳の子どものその養育者に対して食生活健康相談を実施

5 地域の食育サポーター育成事業《新規》 【(6) 165千円、(5) 0円】

地域の身近な場で、保護者が抱えている食事に対する小さな疑問や悩みを解決できるよう、乳幼児期の親子が集まる広場において、個別相談を実施するとともに、子育て支援従事者に対し、食に関する知識の啓発を行います。子育てサロン向けに募集をし、4か所の子育てサロンと実施の調整をしています。

- ・回数：年間7回
- ・会場：実施希望のある子育てサロン
- ・内容：個別相談、子育て支援従事者へのよくある相談内容や対応方法に関する情報共有

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,525千円	1,555千円	44.1%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

誰もが安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者等への理解を深める啓発や関係者への支援を行います。また、区役所窓口での来庁者へのサポートを実施します。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【(6) 1,161千円、(5) 1,165千円】

(1) 高齢者の社会参加の促進

- ・高齢者が身近な場所でやりがいや生きがいを感じられる地域活動への参加を促進するため、港北区の地域活動情報の冊子「きょういく・きょうようガイド」を更新・配布します。
- ・高齢者の社会参加促進を目的として、高齢者向け地域活動（サロン、趣味活動の場、生活支援等）情報を把握し、情報のデータベース化を行ったウェブサイト（ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ）の周知チラシを更新・配布します。
- ・社会参加の大切さと活動例等から社会参加の動機付けを行い、既存の活動や参加の導入となるようなコンテンツの「社会参加を促すリーフレット（仮称）」を作成・配布します。



【地域活動情報リーフレット】

「きょういく
・きょうようガイド」

【ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ 港北区周知用】



(2) 人材育成とネットワークの構築

- ・地域包括ケアシステムの構築に有効な手法である地域ケア会議^{※1}を効果的に開催できるよう、地域ケアプラザに対し「支援者向け研修^{※2}」等を実施します。また、医療・介護・地域組織等の代表者を構成員とする「区レベル地域ケア会議」を開催し、区域で共通する課題に対する必要な取組や支援ネットワークを検討します。
 - ※1 地域ケア会議：多職種協働による個別事例の検討等を通じて、個別課題の解決、支援ネットワークの構築、地域課題の共有、地域のネットワーク構築・しくみづくりを図る会議
 - ※2 支援者向け研修：個別事例の積み重ねから、包括レベル、区レベルと課題を抽出・共有し、好事例をもとに具体的な取組手法について学ぶ研修
- ・認知症キャラバン・メイト（認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師）の情報共有等のために、つどいの場を開催します。
- ・認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になっても、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」を運用します。区のウェブサイトの他、パンフレットを配布し、普及啓発を進めます。



【区レベル地域ケア会議】

テーマ：キーパーソン不在の単身高齢者の支援について

【参考】

【港北区における高齢者の状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
65歳以上人口	68,416人	69,251人	69,880人	70,289人	70,730人	71,222人 (市内4位)
高齢化率	19.7%	19.8%	19.9%	20.0%	19.9%	20.0%
認知症高齢者数※	6,714人	6,964人	6,764人	6,263人	6,696人	7,725人
要介護認定者数(1号)	12,309人	12,566人	12,840人	13,189人	13,297人	13,778人

※要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数。
2年度～4年度半ばまで新型コロナウイルスの影響で訪問調査が省略され、自立度が不明なケースが除外されている。実質的には2年度以降も増加傾向。



【かえるネットパンフレット】

【健康福祉局再配当予算】

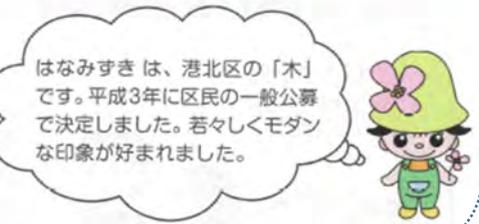
- ・介護予防関連事業
フレイル予防講演会等での普及啓発
グループ交流会、人材育成研修等の実施
地域の活動への専門職の派遣、
元気づくりステーションの活動・立ち上げ支援
- ・ケアマネジメント推進事業
人材育成研修等の実施
- ・認知症関連事業
認知症家族のための介護者セミナー、
区民向けの認知症講演会等の実施
- ・虐待予防関連事業
介護サービス従事者等向け虐待防止に関する研修会、
虐待防止のためのネットワークミーティングの開催等

【医療局再配当予算】

- ・医療介護関連事業
在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修の実施

港北区地域包括ケアシステムのめざす姿

- は はなれて暮らす家族も安心
- な なかよく、人とのつながりを大事にしよう
- み みんなが自分事のように考えて輝こう
- ず 好きな家で、できる限り過ごせる
- き 気遣い・支え合いのあるまち 港北



【ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ】

2 障害者支援事業 【(6) 807千円、(5) 896千円】

(1) 支援者向け研修

港北区地域自立支援協議会※において、障害者虐待防止、支援機関の連携強化及び支援技術向上のための研修会等を企画・開催します。

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います（障害者総合支援法89条の3）。

【5年度 自立支援協議会 活動内容（一部抜粋）】

実施テーマ	部会
施設従事者等による虐待防止（研修）	全体会議
医療との連携について（研修）	人材育成部会
グループスーパービジョンについて（講義、グループワーク）	相談支援部会

(2) 講演会・啓発イベントの実施

ア 障害理解の啓発イベント

港北区地域自立支援協議会、港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会との連携により、障害理解の啓発イベントを区民向けに実施します。

【過去の実施内容】

年度	内容	参加者数
4年度	映画「だってしょうがないじゃない」上映会	111人
5年度	映画「星に語りて」上映会	128人

※4年度から実施

イ 障害理解に関する講演会

メンタルヘルスの向上や障害の理解を目的として、区民向けに講演会等を実施します。

【過去（直近5か年）の講演会テーマ】

年度	テーマ	参加者数
元年度	ペットロスについて考える	83人
2年度	（新型コロナウイルスの影響により中止）	—
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	メンタルヘルスの回復とは ～ピアサポートとリカバリーについて考える～	54人
5年度	生きづらさを抱える本人と家族の体験談 ～まもろうよこころ 私たちが気づいて、できる ことって何だろう～	39人

(3) 健康講座等の開催

自身の健康についての理解を促進するため、作業所の利用者等に向けて健康講座等を開催します。

【健康講座実施状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実施回数	5回	4回	1回	1回	1回	4回
参加者数	58人	54人	13人	11人	14人	74人

(4) 港北区精神障害者等生活体験事業

一人暮らし経験のない障害者が、実際の一人暮らしと同じ環境での生活体験を通して、地域生活の具体的なイメージを持つための支援を港北区生活支援センター及び港北区基幹相談支援センターと連携・調整を図り、実施します。

【事業実施内容】

内容：一人暮らし用の民間賃貸物件にて、見学や家事等の一時体験を実施します。

対象者：港北区在住の18歳以上の精神障害者等

【令和5年度実績】

5人（見学3人、日中体験2人）、相談件数は約10人

宿泊体験から日中体験への変更1人、キャンセルを3人

【健康福祉局再配当予算】

・精神障害者の生活教室事業

精神障害者の対人関係の改善や社会生活への適応促進等を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施します。

・難病相談事業

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送ることができるよう、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施します。

《参考》

【港北区における障害者の状況】

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
身体障害者 手帳所持者数	7,320人	7,436人	7,391人	7,379人	7,294人	7,231人
精神保健福祉 手帳所持者数	2,595人	2,755人	2,909人	3,151人	3,413人	3,657人
「愛の手帳」 所持者数	2,222人	2,308人	2,400人	2,494人	2,603人	2,713人
合計	12,137人	12,499人	12,700人	13,024人	13,310人	13,601人

※手帳所持者数の統計情報は、年度末時点のみ

3 窓口サポート事業 【(6) 1,557千円、(5) 1,717千円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続き支援や案内を行います。【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度*	6年度 (7月末)
件数	3,669件	2,873件	1,621件	1,413件	1,738件	3,393件	453件

※敬老パスのICカード化等、窓口での手続き支援や案内等の増

《参考》

【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数の状況】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
件数	18,584件	19,697件	14,925件	16,897件	17,717件	17,899件	6,004件

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	1,800千円	1,798千円	99.9%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

養育環境に課題があるなど、様々な事情から支援を必要とする家庭に育つ学齢期の子どもたちが健やかに生活する力を身に着けられるよう、生活支援専門員が個別訪問し、登校支援や自宅での生活支援等の取組を実施しています。

【主な内容】

1 港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業 【(6) 1,800千円、(5) 1,800千円】

養育支援を要する学齢期の児童を対象に、生活支援専門員の個別訪問による登校支援及び生活支援を実施し、目標達成状況を踏まえて、様々な支援等につなげていきます。

【港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業利用者数】

年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
人数	3人	4人	<u>6人</u>
回数	29回	44回	<u>46回</u>

※4年度から事業開始

(1) 登校支援

不登校となっている児童に対し個別に自宅を訪問し、学校への同行など登校支援を行っています。

(2) 生活支援

生活支援専門員が自宅を訪問し、児童に様々な体験の機会を提供することで、生活能力の獲得に向けた実践的な支援を行っています。

(3) 児童が安心して過ごせる居場所利用等に繋げる支援

支援への心理的ハードルが高い保護者・児童に対し、生活支援専門員が訪問し相談等により、ニーズに合った支援に繋がります。また、寄り添い型生活支援事業や寄り添い型学習支援事業等、集団参加の場や、さまざまな学習体験の場を利用できるよう支援を進めています。

【こども青少年局再配当予算】

・寄り添い型生活支援事業

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しています。

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(8) 健康こうほく21事業	2,470千円	1,655千円	67.0%
福祉保健課			

【事業の概要】

区民がいくつになっても健康で自立した生活を送ることができるよう、職場での健康増進を後押しする「健康経営」の取組の推進や、民間企業と連携した健康啓発イベントの開催、糖尿病等の生活習慣病のハイリスク者に対する個別相談を通じて、働き・子育て世代から「生活習慣の改善」や「生活習慣病の重症化予防」を促します。また、日常の中に取り入れやすい運動であるウォーキングをきっかけに、継続した健康づくりを推進します。

【主な内容】

1 働き・子育て世代の健康づくり事業《新規》 【(6) 1,817千円、(5) 0円】

(1) 区内小規模事業所を対象とした健康経営の支援

20～50代の区民の健康増進を図るため、健康経営に取り組んでいない区内事業所に対し、動機付けやきっかけづくりを行い、健康経営の取組へとつなげます。

従業員数50人未満の小規模事業所は、衛生管理者の選任が義務付けられていないなど、事業所単独で健康経営に取り組むことは難しい面があります。そこで、小規模事業所を主な対象として、アドバイザー派遣により対象事業所の課題整理や取組内容の提案等の支援を行います。

また、産業保健総合支援センターをはじめとする従業員の健康づくりに活用できる専門機関の情報を集約した事業所向け健康経営リーフレットを新たに作成しました。今後、高齢者施設や保育園の連絡会議を通じて配布、説明し、小規模事業所による健康経営の取組を促進します。

【実施内容とスケジュール】

- ・アドバイザー派遣 6月～12月（2事業所に支援中）
- ・リーフレット作成 8月発行（2,000部）
- ・リーフレット配布 8月以降中小企業や福祉施設等へ配布

《参考》

【健康経営とは】

- ・従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えのもと、健康増進を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。
- ・企業が従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力、生産性の向上などの効果をもたらし、業績向上や組織の経営力の向上につながることを期待されます。



【健康経営リーフレット】

(2) 商業施設イベント

働き・子育て世代は日々の生活で忙しく、自分の健康を後回しにしがちなため、対象区民が多く利用する区内商業施設で啓発イベントを実施します。健康に関する意識・知識を行動に繋げるために、体験型ブースやパネル展示等で生活習慣の改善や検診の受診を促しています。

時期	テーマ	場所	延べ参加者数
6月2日(日)	歯科口腔・食育	トレッサ横浜	276人
9月8日(日)	女性のがん早期発見	アピタテラス横浜綱島	二



【歯科口腔・食育イベント】

【がん啓発イベント(R5の様子)】

(3) 生活習慣改善相談

健診結果の見方を知りたい人や高血糖等の生活習慣病ハイリスクの人を対象に、保健師や栄養士が運動、食事等の生活習慣について個別相談を実施しています。実施について医師会に情報提供し、区内医療機関から相談者の紹介を受けています。

- ・回数：月2回、年間24回
- ・会場：区役所
- ・内容：生活習慣病の個別相談

※予約制

【相談件数】

年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
相談件数	38件	32件	14件

※5年度までは再配当予算のみで実施

[健康福祉局再配当予算] (404千円)

- ・糖尿病等の重症化予防事業
糖尿病・糖尿病性腎症の重症化を予防するための、個別相談を実施。

2 ウォーキング普及啓発支援事業 【(6) 653千円、(5) 726千円】

(1) よこはまウォーキングポイント（YWP）とコラボしたイベントの実施

楽しみながら継続して健康づくりに取り組むことができるよう、トレッサ横浜と連携してスポーツの日にあわせたウォーキングイベントを実施し、よこはまウォーキングポイントアプリの導入を推進します。(10月)

また、GREEN×EXPO 2027の開催に向けた取組として、900日前の9月30日(月)から期間内(9週間)に既定の歩数をクリアするミッションイベントを開催します。EXPOの機運醸成とアプリの継続利用を促進します。



【トレッサ健康ウォーキング(R5の様子)】

※港北区とトレッサ横浜は、健康増進啓発事業に関する幅広い取組の推進を目的として「港北区とトレッサ横浜との健康増進の取組に関する協定書」を締結しています。

《参考》

【YWPイベント参加人数】

年度	イベント名	イベント種類	参加者数
3年度	コロナ禍の健康づくり応援フェア	ミッション	3,375人
4年度	港北ウォーキング2022	ミッション	2,358人
	ウォーキングを始めよう!	スタンプラリー	361人
	港北区スポット巡り	スタンプラリー	359人
5年度	トレッサ健康ウォーキング	スタンプラリー	259人
	ウォーキングを始めよう!	スタンプラリー	291人
	相鉄・東急新横浜線で行くGREEN×EXPO 2027	スタンプラリー	291人
	港北ウォーキング2024冬	ミッション	2,334人

※元年度から事業開始

※ミッション…期間中に設定された歩数の達成を目指すイベント

※スタンプラリー…GPS等を利用して対象スポットを巡るイベント

《参考》

局事業

[健康福祉局事業]

- ・よこはまウォーキングポイント事業
スマートフォン専用の歩数計アプリを30年度から開始
従来からの歩数計のみで参加継続することも、歩数計アプリとの併用も可能

《参考》

【よこはまウォーキングポイントアプリ登録者数】(6年6月末現在)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
横浜市	51,807人	66,246人	83,289人	94,156人	109,453人	115,097人
港北区	5,088人	6,437人	7,933人	8,934人	10,282人	10,739人

(2) ウォーキングの継続を推進する啓発媒体の作成

運動習慣の意識付けをするため、通勤や買い物などの日常生活の中でウォーキングを取り入れられるような媒体を作成し、啓発します。

- ・内容：通勤などで利用する路線バスを普段より一つ手前の停留所で降りて歩くことを意識付けするマップ等
- ・方法：公共交通機関内広告に掲示
- ・場所：横浜市営地下鉄新横浜駅スクエアボード（9月30日（月）～10月20日（日））
横浜市営バス港北営業所管内窓上ポスター（10月1日（火）～10月31日（木））

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(1) 地域スポーツ推進事業	2,550千円	519千円	20.4%
地域振興課			

【事業の概要】

スポーツ活動を行う団体が実施する、広く区民を対象とした取組を支援することで、地域スポーツの活性化を図ります。

また、区内大学と連携し、港北区にゆかりのあるラグビー競技[※]に親しむ機会を小学生へ提供することで、地域スポーツ活動の推進を図ります。

※日産スタジアム（ラグビーワールドカップ2019TM決勝会場、横浜キャノンイーグルスホームスタジアム）、慶応義塾大学（日本の大学ラグビーのルーツ校）

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【(6) 450千円、(5) 495千円】

<港北区スポーツ振興事業補助金の概要>

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することにより、区内のスポーツの振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体等が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
申請団体 (7月末)	<u>7団体</u>

2 港北駅伝大会《拡充》 【(6) 1,600千円、(5) 1,000千円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図るため、港北駅伝大会実行委員会に補助金を交付し、港北駅伝大会の開催を支援します。

6年度は第40回という節目の大会開催にあたることから、実行委員会が検討する新たな企画を後押しし、より魅力が高まる大会となるよう開催を支援します。（1月19日）

【駅伝大会の様子】



【参加チーム数】

年度	元年度	2年度※ ¹	3年度※ ¹	4年度	5年度※ ²	6年度
チーム数 (参加者数)	235 (1,380人)	中止	中止	154 (913人)	141 (874人)	—

※1 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止。

※2 5年度は当日の降雨を受けた参加人数。(参考) 申込192チーム《1,167人》

3 大学とのスポーツ連携事業 【(6) 500千円、(5) 550千円】

慶應義塾大学等と連携して、小学校ラグビー授業へのサポート講師(学生)派遣や、ラグビー・スポーツ体験会を実施することにより、区内のスポーツ活動の推進を図ります。

(1) 小学校ラグビー授業サポート派遣

区内の小学校(全26校)に希望を募り、慶應義塾體育會蹴球部(ラグビー部)の学生を講師として派遣し、ラグビー授業を実施しています。(5月～11月)

【実施実績】

年度	元年度	2年度※	3年度	4年度	5年度	6年度※ (7月末)
実施校数	10校	中止	7校	7校	12校	4校

※2年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※6年度の申込数は11校

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

対象：小学生

会場：慶應義塾大学日吉ラグビーグラウンド(6月1日)

【実施実績】

年度	元年度※ ¹	2年度※ ²	3年度※ ²	4年度	5年度※ ³	6年度
参加人数	130人	中止	中止	52人	69人	65人

※1 元年度は2回開催の延べ人数(ラグビーワールドカップ2019TM開催年)

※2 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※3 5年度は7月降雨による参加者減を受け、10月に追加実施した2回の延べ人数



【小学校ラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

《参考》

統合事業費

スポーツ推進委員支援事業 【(6) 2,093千円、(5) 2,760千円】

・スポーツ推進委員地区活動補助金

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-2 港北区商店街活性化事業	1,500千円	650千円	43.3%
地域振興課			

【事業の概要】

区内商店街及び商店街店舗の話題提供につながるイベント等の開催を通して、消費者の関心・認知度の向上を図るとともに、商店街の活性化を支援します。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【(6) 1,000千円、(5) 1,600千円】

商店街を利用するきっかけにつながるようなスタンプラリーイベント（「こうほくの商店街 ちよいより散歩」）を開催することで、商店街の魅力を発信します。（10月～11月）

【「こうほくの商店街 ちよいより散歩」への参加人数】

年度	開催期間	参加商店街数	参加店舗数	参加者数	参加費
2	11月21日（土） ～12月6日（日）	13	1,000 ※1	559人	無料
3	12月1日（水） ～12月26日（日）	13	92 ※2	552人	無料
4	11月11日（金） ～12月4日（日）	13	82	リーフレット5,500部配布 うち抽選応募者179人	無料
5	10月18日（水） ～12月17日（日）	12	110	リーフレット8,100部配布 うち抽選応募者381人	無料
6	10月16日（水） ～12月15日（日）	<u>10</u>	<u>100</u>	<u>リーフレット7,000部配布</u>	無料

※1 2年度については、原則商店会に加盟する全店舗に参加を依頼したため、参加店舗募集は行っていません。

※2 3年度以降については、参加店舗募集を実施しました。



【「こうほくの商店街 ちよいより散歩」リーフレット】



【商店街PR用のぼり旗】

2 商店街魅力発信事業 【(6) 500千円、(5) 0円】《新規》

商店街の魅力発信を目的に、港北区商店街連合会と連携を図りながら、商店街PR動画を作成するとともに、効果的な発信方法を検討することで、区内商店街の更なる魅力を引き出し、区内外に発信します。

[経済局再配当予算] 【(6) 2,657千円、(5) 1,808千円】

- ・港北区商店街活性化イベント事業補助金
商店街が主催して行うイベント開催経費に対する補助
(6年度申請団体)
 - ・菊名東口商栄会「毘沙門天祭りチャリティー縁日」
 - ・つなしまオータムフェスティバル実行委員会「つなしまオータムフェスティバル」
 - ・日吉アートコンテスト実行委員会「日吉アートコンテスト」
 - ・大倉山商店街振興組合「大倉山クリスマスイベント」
 - ・小机商店街協同組合「夏の大売り出し&盆踊り」
 - ・妙蓮寺ニコニコ会「ジャズコンサートin妙蓮寺」
 - ・綱島モール商店会「綱島モール商店街フリーマーケット2024」
 - ・メイルロード商店会「メイルロード商店会七夕まつり」
 - ・箕輪町商工会「箕輪商工フェア」

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(3) 育もう「ふるさと港北」事業	9,625千円	7,365千円	76.5%
地域振興課			

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供します。

また、地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールします。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【(6) 5,560千円、(5) 5,610千円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、横浜アリーナで行う、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が参加できる「ふるさと港北ふれあいまつり」の開催を支援します。(11月30日)

また、地区連合町内会が開催する盆踊り大会や健民祭、秋のヨコアrikunまつり等の分会場行事の開催を支援します。(7月～)



【過去の様子（5年11月）】

2 大倉山観梅会事業 【(6) 1,150千円、(5) 1,150千円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に補助金を交付し、「大倉山観梅会」の開催を支援します。

- ・実施時期 7年2月22日、23日
- ・実施内容 舞踊・三曲演奏・地元団体のステージ・野点・梅酒の販売



【過去の様子（6年2月）】

[環境創造局再配当]

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業
観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業 【(6) 1,450千円、(5) 1,450千円】

小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっていることを契機に、小机城址の魅力プロモーションに取り組むことで「ふるさと港北」の意識を育みます。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光及び商店街振興を図るため、小机城址まつり実行委員会に補助金を交付し、開催を支援しました。

〈小机城址まつり概要〉

- ・日程 4月14日
- ・内容 武者行列、小机城址太鼓・お囃子等のパフォーマンス
各自治会町内会模擬店



【今年度の様子（6年4月）】

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

小机城址を紹介する案内冊子を作成・配布し、港北区の魅力を発信します。また、区内小・中学校等での啓発を行い、地元港北への愛着を深めました（5月）。



【城郷小学校3年生 授業の様子】

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、小田原市が中心となり北條氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、北條氏を切り口に共同でPRを実施している「北条五代観光推進協議会」や「小田原北條五代まつり」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力をPRしました。



【小田原北條五代まつり】

4 わがまち港北映像ライブラリ事業《拡充》 【(6) 595千円、(5) 550千円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、それらの映像などをウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信することで、地域への愛着とふるさと意識を醸成します。

また、映像放映用のモニター機材を港北図書館に設置し、来館者に対して、時季のイベント等に沿った「港北映像ライブラリ」の動画を放映することで、より多くの区民が視聴する機会を創出し、認知度を高めます。

- ・配信用映像作品の制作、映像作品の活用（通年）
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）

5 まちの魅力動画コンテスト《新規》 【(6) 600千円、(5) 0円】

区の魅力を撮影した動画コンテストを開催し、区の更なる魅力創出を行います。入賞作品は、区ウェブサイト他、様々な媒体を活用し配信を行います。(1月)

応募期間：令和6年7月1日(月)から令和6年10月18日(金)まで

部門及び応募資格：小学生部門…区内在住または区内に通学している小学生及び中学生

一般部門…どなたでも応募可能

表彰：小学生部門…最優秀賞1点(賞品：ギフト券10,000円)、
小学生部門賞1点(賞品：ギフト券5,000円)、
中学生部門賞1点(賞品：ギフト券5,000円)

一般部門…最優秀賞1点(賞品：ギフト券10,000円)

優秀賞1点(賞品：ギフト券5,000円)



6 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【(6) 270千円、(5) 270千円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及び2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」と連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボルとして港北区のプロモーションに取り組みます。

- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSとのタイアップイベントの実施
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報発信
- ・横浜GRITSによる開幕節への区内小中学生招待(9月7日、8日)
- ・横浜F・マリノスの選手による「一日区長」イベントなどの開催



【横浜 GRITS による区内小中学生招待】

※ 新横浜線開業記念事業 【(6) 0円、(5) 1,000千円】

「東急新横浜線」の「新横浜駅」「新綱島駅」開業の年にあわせた事業のため、5年度で事業を終了しました。

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(4) 地域のチカラ応援事業	2,511千円	2,493千円	99.3%
地域振興課			

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決や魅力づくりに向けた主体的な取組を支援するため、市民公益活動を行う団体に対して、補助金交付や広報支援、有識者から活動に対する助言を行います。
また、交流の場の提供など団体間の連携促進の取組を行います。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業補助金の交付等 【(6)2,217千円、(5)2,496千円】

(1) チャレンジコース

区内で一定の活動実績がある団体の更なる公益的事業を対象に、1団体最長5年間で年度あたり上限30万円の補助金を交付しました。(令和7年度から自治会・町内会と活動団体の連携事業に対する新たな補助金交付事業を開始する予定のため、新規申請の募集を停止しています。)

【交付団体数・交付金額】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
団体数	18団体	6団体	7団体	15団体	17団体	11団体
金額	2,768千円	1,095千円	1,517千円	2,737千円	2,489千円	2,213千円

(2) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行っています。

【承諾団体数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
団体数	7団体	3団体	8団体	3団体	5団体	6団体

【市民局再配当予算】 【(6)500千円 (5)500千円】

- ・元気な地域づくり推進事業（新規申請募集停止）
地域元気づくりコース：継続1事業
自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業
1団体最長5年間上限25万円

【交付団体数・交付金額】

地域元気 づくり コース	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	団体数	4団体	5団体	3団体	2団体	1団体	1団体
	金額	624千円	854千円	643千円	430千円	250千円	250千円

2 団体間の連携促進の取組 【(6) 294千円、(5) 294千円】

地域のチカラ応援事業活動補助金申請団体による報告会・市民活動交流会を開催し、有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会※委員）からの助言により団体間の連携を促進します。

また、補助金交付団体以外の活動団体の交流・情報交換についても促進を図ります。

- ・市民活動交流会（8月28日）
- ・報告会・市民活動交流会（3月）
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成されています。（5人）

補助金申請団体の活動に関して助言を行います。



【交流会（5年度）】

[市民局再配当予算] 【(6) 413千円 (5) 413千円】

- ・地域の担い手応援事業

港北つなぎ塾（地域づくり大学校）（10月16日）（11月13日）

地域支援の喫緊の課題である「担い手の高齢化」や「担い手不足」に対応するため地域活動団体等を自治会町内会等の担い手につなげる講座です。

※地域活動団体と自治会・町内会の交流を進めます。

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(5) 港北オープンガーデン事業	2,160千円	1,250千円	57.9%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が個人の庭やグループで育てている花壇等を公開し、互いに見学することで港北区の魅力を再発見し、花や緑を通じた区民の交流を促進します。あわせて、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて身近な自然に親しむ機運を高めます。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン事業 【(6) 2,160千円、(5) 2,400千円】

第12回港北オープンガーデン（4月・5月 計6日間）を開催しました。また、第13回に向けた企画を行います。

- ・特設案内所や対象となる会場でスタンプマークを集めると、個数により景品がもらえるスタンプラリーを行いました。
- ・第12回では、地域ボランティアが参加会場を案内する「ルート案内ツアー」を、日吉、綱島、菊名の3つのエリアで実施しました。
- ・幅広い年齢層の参加を促すため、区内3か所で行うミズキーグリーンティングやLINE公式アカウントを活用したイベントの周知を行いました。



【綱島 花と緑の歴史ツアーの様子】

【第12回開催概要】

- ・日時：令和6年4月19日（金）～21日（日）、5月10日（金）～12日（日）
- ・会場数：138会場
- ・特設案内所：日吉駅、りそな銀行綱島支店横、大倉山駅

【港北オープンガーデンへの参加状況】

年度（回数）	開催日数	公開箇所	延べ来場者数 ^{※1}
2年度（第8回） ^{※2}	中止	107 ^{※3}	—
3年度（第9回）	42日	114 ^{※4}	※5
4年度（第10回）	6日	122	約29,646人
5年度（第11回）	6日	126	約35,757人
6年度（第12回）	6日	138	約42,973人

※1 標本抽出方法で計算（カウント可能な会場を基に推計）

※2 新型コロナウイルスの影響で中止 ※3 参加予定数

※4 現地公開（動画配信あり）91、現地公開（動画配信なし）20、動画配信のみ3

※5 参考数値：約4,104人（25か所でカウント・2日間）、動画再生回数：43,834回（3年6月21日時点・全94動画合計）

【みどり環境局再配当予算】 【(6) 1,500 千円、(5) 1,700 千円】

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり (ガーデンネックレス 2024) 第13回のパンフレット作成・配送

【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局再配当予算】 【(6) 3,000 千円、(5) 2,000 千円】

- ・GREEN×EXPO 推進事業

GREEN×EXPO 2027 の開催に向け、啓発物品の作成・配布やイベント実施等を通じた認知度向上、機運醸成、コンテンツ認知拡大

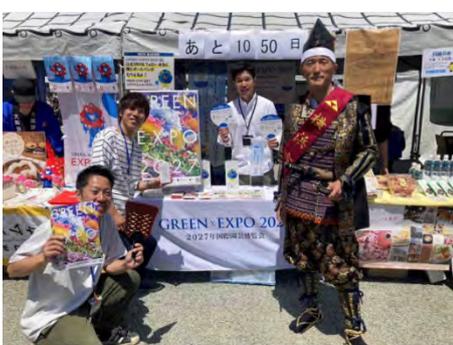
- ▶ 3年前イベントとして、「港北区民限定！ガーデンセミナー2024」開催
- ▶ 第12回港北オープンガーデン特設案内所でのPR
- ▶ オープンガーデン開催区(旭・港北・栄・瀬谷)が連携した市庁舎展示でのPR
- ▶ 1,050日前イベントとして、全国から30万人が集った「小田原北條五代祭り」でのPRブース出展
- ▶ 1,000日前イベントとして、陸の玄関「新横浜」を花と緑で彩る「ボックス花壇」の設置、区役所入口での特設ブースの設置、4階屋上庭園でのフォトスポットの設置



【ガーデンセミナー2024の様子(4月11日開催)】 【市庁舎展示の様子(4月17日~30日)】



**【第12回
港北オープンガーデン
特設案内所での
PRの様子】**



**【「小田原北條五代祭り」での
PRブースの様子(5月3日実施)】**



【ボックス花壇の設置(6月22日実施)】



【区役所入口の特設ブース、4階屋上庭園のフォトスポット（6月17日～28日）】

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(6) 港北オープンファクトリー事業	572千円	0千円	0%
区政推進課			

【事業の概要】

港北区には、市内18区で最多の1,100か所以上の工場があり、「ものづくりの現場が生活の身近なところにある」という区の特徴を生かし、地域の魅力やものづくりの面白さを伝えるため、普段は入ることのできない工場の見学ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を開催します。

【主な内容】

1 港北オープンファクトリー 【(6) 572千円、(5) 835千円】

区内の製造業事業者や地域工業会と連携して、工場見学を中心としたイベント「第13回 港北オープンファクトリー」を開催します。

《参考》

【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度(回数)	開催日数	協力企業数	延べ参加者数	備考
2年度(第9回)	—	11	5,573回 (視聴数)	ウェブサイト上で動画公開 (「おうち港北オープンファクトリー」)
3年度(第10回)	—	8	468人	区内の小学校の児童を対象にオンライン形式で開催
4年度(第11回)	1日	12	286人	4年ぶりにリアル開催
5年度(第12回)	1日	15	451人	リアル開催では過去最大規模



【第12回 リーフレット】



【第12回開催の様子】

【第12回 港北オープンファクトリーの協力企業】

(株)オースズ、(株)キョーワハーツ、(有)鈴木機械彫刻所、(株)第一鉸製作所、(株)田島精研、(株)宮川製作所、石山ネジ(株)、(株)バネックス、(株)シルファー、(株)東京ダイス、東洋測器(株)、日本軸受加工(株)、(株)ヒートエナジーテック、横浜高周波工業(株)、(株)テクトレージ 計15社

【経済局再配当予算】 【(6) 400千円、(5) 400千円】

- ・ものづくり魅力発信事業
港北オープンファクトリー開催に係る運營業務委託費として活用します。

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(7) 芸術文化振興事業	1,800千円	1,800千円	100%
地域振興課			

【事業の概要】

区内の芸術文化を振興するため、港北芸術祭実行委員会に補助金を交付し、区民が質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業や文化活動の発表の場を提供する参加型事業等を展開する港北芸術祭を開催します。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【(6) 1,800千円、(5) 2,000千円】

(1) 鑑賞型事業

- ・「角田健一ビッグバンド ビッグバンド名曲集2024 スウィングからラテンまで！」
(9月29日 港北公会堂)
角田健一氏率いるビッグバンドのジャズコンサート
チケット発売日：7月16日(火)
- ・「ドン・キホーテとその時代の音楽～音楽は歌い、語り部は紡ぐ～」(11月30日 港北公会堂)
古楽アンサンブル「MedioRegistro (メディアオ・レジストロ)」と朝岡聡氏による演奏と朗読のコラボレーション
チケット発売日：9月20日(金)

《参考》

【5年度 港北芸術祭実行委員会主催事業 鑑賞型】

- ・朗読劇「真昼の夕焼け」



【鑑賞型事業 朗読劇「真昼の夕焼け」】

- ・「『J.S. バッハの世界』一なかなか聴くことのできない本格派 総勢19名によるバロックオーケストラ」(11月19日 港北公会堂)



【鑑賞型事業 「J.S. バッハの世界」】

(2) 参加型事業

- ・さわってみよう！箏・尺八（7月27日 港北区役所）
- ・夏休み親子コンサート（8月25日 港北公会堂）
- ・港北区中学校生徒音楽会（10月20日 港北公会堂）
- ・港北芸能大会（11月3日 ミズキーホール）
- ・港北区小学校児童音楽会（11月6日～8日 港北公会堂）
- ・港北三曲会演奏会（11月16日 港北公会堂）
- ・筆文字で遊ぼう（書道体験教室）（12月21日 港北区役所）
- ・港北美術展（2月26日～3月2日 大倉山記念館）
- ・オーケストラ体験教室（3月8日 港北公会堂）

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
来場者数 (延べ数)	5,553人	2,741人	1,794人	6,232人	9,980人	—
実施事業数	9事業	4事業	4事業	9事業	11事業	—

※元年度（1月以降）、2年度・3年度は、新型コロナウイルスの影響で、イベント開催を中止したことによる減

※2年度・3年度の港北美術展は新型コロナウイルスの影響で、ホームページ上でオンライン開催。2年度は2回開催。

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順・6年7月末現在）】

氏名	職業等
朝岡 聡	アナウンサー
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
五大 路子	女優
関 治美	港北区連合町内会長
竹下 幸紀	港北区長
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》

各種団体主催事業

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行います。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月23日 港北公会堂）来場者数：450人
- ・大倉山秋の芸術祭（10月30日～11月4日 大倉山記念館）
- ・港北区合唱の集い（10月27日 港北公会堂）
- ・港北ダンスフェスティバル（12月8日 港北公会堂）
- ・港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（1月21日 港北公会堂）

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	<u>6年度 (7月末)</u>
延べ数	14,777人	2,117人	5,237人	10,805人	8,388人	<u>450人</u>
実施事業数	11事業	2事業	4事業	7事業	5事業	<u>1事業</u>

※ 5年度は、公会堂の音響工事の実施に伴い、イベント開催数が減少したことによる減

※ 港北区民文化センター開館に向けた賑わいづくり事業 【(6) 0円、(5) 500千円】
「港北区民文化センター開館100日前イベント」を実施し、5年度で事業を終了しました。

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(8) 区民活動支援事業	1,287千円	639千円	49.7%
地域振興課			

【事業の概要】

区域の中間支援組織として、地域課題の解決や魅力づくりを目指し、市民公益活動と生涯学習を支援します。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【(6) 135千円、(5) 135千円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材の貸出しなどを行っています。



【区民活動支援センター】



【イベント等のチラシの配架】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【(6) 852千円、(5) 1,075千円】

団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」のデジタル化を進めるほか、区内の区民利用施設等や地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等にも配布しています。

- ・年6回発行
- ・13,200部(2,200部/回)

3 市民グループ・団体支援事業 【(6) 240千円、(5) 240千円】

- ・地域の活動者を対象にDXを推進するため、ICT講座を開催します。(11・12月)(全2回)
- ・新たな担い手、新たな活動の創出につなげる「港北地域学」を開催します。(11月～3月)(全4回)
- ・ファシリテーターを交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す「港北つながるカフェ」を開催します。(10月～11月)
- ・グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなどによる「施設間連携会議」を開催します。(12月)

4 区民活動支援センターICT化事業 【(6) 60千円、(5) 60千円】

- ・窓口相談の際にタブレットPC及び無線LAN(Wi-Fi)を活用し、区ウェブサイト等を案内しています。
- ・活動団体等のオンラインミーティング、オンライン講座にタブレットPC及び無線LAN(Wi-Fi)を活用しています。
- ・窓口配架チラシを区ウェブサイトに掲載しています。

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(9) 地域振興活動事業	2,850千円	576千円	20.2%
地域振興課			

【事業の概要】

自治会町内会の活動を支援するとともに、自治会町内会の永年在職者の表彰や研修会等の実施を通じて、住みよい地域づくりの推進を図ります。

【主な内容】

1 自治会町内会への支援・連携事業 【(6) 1,340千円、(5) 1,340千円】

「自治会町内会掲示板への掲示物」等を各自治会町内会へ送付しています。今後、各自治会町内会に紙資料の郵送を希望するかどうかの調査を実施し、希望しない自治会町内会には、資料をデータで確認してもらうペーパーレスの取組を進めます。

- ・送付回数：年10回（定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・送付先：自治会町内会 150団体
- ・送付数：議題1件につき掲示物約1,200部

2 自治会町内会長永年在職者表彰の実施 【(6) 1,300千円、(5) 1,000千円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表するため、自治会町内会長感謝会を実施し、会長在職5年（区長表彰）、10年以上5年ごと（市長表彰）、地区連合町内会長在職10年（市長表彰）の自治会町内会長永年在職者を表彰します。

3 自治会町内会のICT化支援事業 【(6) 210千円、(5) 210千円】

ICT等を活用した活動を円滑に推進できるよう、自治会町内会活動におけるICT化を引き続き支援します。

本年度は、自治会町内会が現実に直面している課題や疑問を解消できるよう、出張の個別相談会を開催するなど、より実践的な支援を行っていきます。

[市民局再配当予算]

- ・地域活動推進費
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- ・防犯灯維持管理費補助金
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助
- ・自治会・町内会館整備費補助金
自治会町内会館の新築、改修、修繕等整備費の補助

[市民局再配当予算]

・地域活動推進事業

- ・区連会ホームページの更新
- ・自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発災害用トイレキットの作製と配布
- ・自治会町内会区域図の提供
- ・区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・広報よこはま、タウン誌への記事掲載
- ・「自治会町内会活動のしおり」配布（加入促進に関するQ Aの掲載）
- ・イベントへの広告掲載 / 動画の放映
- ・デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【加入促進啓発災害用トイレキット】



【加入促進動画】

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(10) 読書活動推進事業	648千円	116千円	17.9%
地域振興課			

【事業の概要】

読書活動を推進する取組として、紙芝居制作イベントやふるさと港北ふれあいまつり・ヨコアリくんまつりにおける読書関連ブース出展等を行うとともに、日吉図書取次所「日吉の本だな」での図書企画展示や朗読会等、また、作家等による講演会を開催します。

あわせて、地域全体で読書活動を推進するため、区内読書関連施設や団体等と連携して、情報交換や交流会等を実施します。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【(6) 180千円、(5) 200千円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進します。

(1) 紙芝居制作イベント

- ・こども「紙芝居づくり」教室（7月31日、8月7日 港北図書館）

物語を作る楽しさを体験する、小学生対象の手づくり紙芝居制作講座を実施します。

【参加者数】（元年度から実施）

年度	元年度	2年度・3年度	4年度	5年度	6年度
延べ人数	28人	中止	14人	24人	22人

※2年度・3年度は、新型コロナウイルスの影響で開催を中止



【こども「紙芝居づくり」教室】

(2) 本と出会おうイベント

- ・ふるさと港北ふれあいまつり／ヨコアリくんまつり（11月30日 横浜アリーナ）
読書活動推進月間中の取組として、読書フェスティバル「みんなで遊ぼう本と出会おう」コーナーを出版します。（港北図書館等と連携した各種図書展示、こども「紙芝居づくり教室」参加小学生や区内活動団体による紙芝居上演など）



【港北図書館の児童書展示】



【小学生の手作り紙芝居上演】

(3) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」（中央図書館発行）を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場で配布しています。

2 読書情報発信事業 【(6) 420千円、(5) 440千円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズにあわせた区内の読書関連情報の発信を強化します。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・図書の取次機能に加えた読書関連情報等の発信（図書の企画展示やパネル展示等）
- ・地域交流、多世代交流の場として、区内活動団体と連携した企画等の実施（まちの先生等による朗読会や体験会、区民活動支援センターの出張相談会など）



【まちの先生によるおはなし会】

年度	4年度	5年度	6年度
延べ人数	24人	14人	18人

※令和元年度、2年度、3年度は、新型コロナウイルスの影響で開催を中止

(2) 各施設からの情報発信等

- ・図書館や地区センター等の読書関連施設で、新着図書やテーマごとの蔵書の紹介
- ・区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」（3年度改訂発行）を引き続き配布

(3) 蔵書情報等の発信

区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやツイッター等、ICTを活用して発信しています。



【出会いマップ】

(4) 港北区読書講演会

区民が本と親しむ機会を創出するため、港北区にゆかりのある作家等による講演会を開催しました。(5月11日 慶應義塾大学日吉キャンパス)

【講演概要】「日吉の歴史～キャンパスとともに歩んだまち～」
(講師：阿久澤 武史氏 (慶應義塾高等学校校長))

【参加者数】(5年度から実施)

年度	5年度	6年度
延べ人数	48人	47人



【港北区読書講演会】

3 読書団体連携事業 【(6) 48千円、(5) 80千円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施します。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等(小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区)で構成する連絡会を開催しました。(7月2日 港北図書館)

(2) 読み聞かせボランティア交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会を開催しました。(6月19日 港北図書館)



【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】

(3) 読書フェスティバルイベントカレンダー

読書活動推進月間に区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載します。(10月～)

[教育委員会事務局再配当予算]

- ・横浜市民の読書活動推進事業
- 区づくり推進費と合算して、読書活動推進関連事業を実施

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(11) こうほく プラ5.3 ^{ごみ} 推進事業	891千円	405千円	45.5%
地域振興課			

【事業の概要】

横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ プラ5.3計画）に基づき、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して環境行動の推進に取り組みます。

世界的に問題となっている食品ロスや特に新計画で重点課題となっているプラスチックごみ問題等について、積極的に啓発等を行います。また、ポイ捨てや不法投棄のない、清潔できれいな街づくりを推進します。

【主な内容】

1 環境行動の推進 【(6) 761千円、(5) 785千円】

(1) 環境行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

環境行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等を表彰します。(2月)

(2) 環境行動普及啓発事業

- ・「ヨコハマ プラ5.3計画」の取組

プラスチック製容器包装の分別率アップ、新分別ルール^{ごみ}の周知、多言語版リーフレット設置
地域イベントや大型スーパー店頭での分別啓発、新分別ルール^{ごみ}の地域説明会等（随時）、
ふるさと港北ふれあいまつり（11月）、分別相談ブースの設置（9月、留学生等を含む）

- ・食品ロス削減の取組

生ごみ減量化の土壌混合法説明会（6～10月、月1回）
フードドライブの受付及び啓発（随時）



【ふるさと港北ふれあいまつり】



【土壌混合法説明会】



【フードドライブ】

(3) 環境学習事業

- ・区民向け啓発講座（随時）
- ・動画やSNSを活用した啓発
- ・保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所等での環境学習（随時）



【小学校での出前講座】



【保育園での出前講座】

(4) 環境活動助成金

- ・区内の連合町内会に対し、環境行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金の交付（年額3万円）
- ・環境事業推進委員への啓発物品の支給やイベント開催のサポート等活動支援

【資源循環局再配当予算】

- ・ヨコハマ プラ 5.3 計画広報啓発事業 【(6) 100 千円 (5) 100 千円】
啓発物品の購入費

《参考》

【港北区の家庭ごみ収集量（単位：トン）】

年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
燃やすごみ	47,559	48,314	50,001	48,362	47,275	45,549
その他	24,534	24,205	24,985	24,186	23,412	22,195

※その他は「燃やすごみ」以外のごみ量（不法投棄等）と資源化量の合計値です。

2 街の美化の推進 【(6) 130千円、(5) 205千円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発
啓発キャンペーン(日吉駅など)(10月、2月)
- ・地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃支援(通年)
不法投棄地域清掃支援(新羽大熊農業専用地区(年1回))
新横浜駅前周辺清掃(月1回)、横浜アリーナ周辺清掃(月1回)
日吉駅周辺一斉清掃(年2回) ほか



【日吉駅周辺一斉清掃】

(2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作製・設置、不法投棄監視システムの維持管理

《参考》

統合事業費

クリーンタウン横浜事業 【(6) 842 千円、(5) 1,319 千円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進します。

- ・新横浜駅周辺（美化推進重点地区及び喫煙禁止地区）
港北区美化推進員活動（週3回、通年）
- ・日吉駅周辺（美化推進重点地区）
港北区美化推進員活動（週1回、通年）

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(12) 港北エコアクション推進事業	2,565千円	2,250千円	87.7%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策行動に取り組めるよう、区役所・区民・事業者が協働して「温暖化対策」「みどりアップ」「ヨコハマ プラ5.3計画」の3つの取組を「港北エコアクション」として一体的に進めます。

【主な内容】

1 港北水と緑の学校事業 【(6) 2,315千円、(5) 2,600千円】

- ・環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施しています。
 - ▶ 区内小学校向け講座（5～11月）14回
 - ▶ 小学生の学習成果の展示会（2～3月）
- ・事業の重要性・必要性に共感をいただいた6社に広告協賛をいただきました。
 - ▶ 広告協賛企業
株式会社富川写真、株式会社横浜アリーナ、株式会社ウチムラ、株式会社 Syonan Tonbi Project、綱島商店街協同組合、NOSIGNER株式会社



【区内小学校向け講座】



【小学生の学習成果の展示会の様子（5年度）】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
実施回数	18回	18回	20回	20回	小7回
小：小学校向け講座	(小18回)	(小18回)	(小18回、	(小18回、	※2
一般：一般向け講座	※1	※1	一般2回)	一般2回)	
延べ参加者数	1,242人	1,702人	1,301人	1,449人	532人

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

※2 令和6年度は区内小学校向け講座のみ実施します。

2 港北エコアクション推進事業 【(6) 250千円、(5) 408千円】

区庁舎及び太尾小学校の屋上緑化の維持管理を区民と連携して実施しています。また、広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発を行います。

【みどり環境局再配当予算】

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【(6) 300千円、(5) 300千円】
区内イベントにおいて市民が森に親しむブースを出展
- ・身近に農を感じる地産地消推進事業 【(6) 300千円、(5) 600千円】
企業連携等による地産地消イベントの開催等を実施

【企業連携等によるイベントの開催】

- ・「新横浜公園ピクニックパーク」イベントへの脱炭素・GREEN×EXPO 2027 関連ブースの出展（9月）
- ・JA 横浜と連携し、収穫体験イベントを開催（10月）

《参考》 令和5年度に実施したイベントの様子



【新横浜公園ピクニックパークの様子】



【収穫体験イベントの様子】

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(13) まちづくり調整費	6,963千円	3,621千円	52.0%
区政推進課			

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決のため、必要な調査や関係機関との調整を行います。

【主な内容】

1 区民意識調査《新規》 【(6) 2,800千円、(5) 0円】

地域の課題・区民ニーズ・意向を的確に把握し事業に反映するため、区民意識調査を4年ぶりに実施しました。

調査対象者：港北区内に居住する満18歳以上の男女個人 3,000人（外国人を含む。）

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法：郵送による無記名調査（回答は、郵送又はweb）

調査期間：5月27日～6月21日

有効 回答数：1,706件（56.9%）

〔回答の内訳〕 郵送：911件（53.4%）、web：795件（46.6%）

結果公表：9月以降

2 まちづくり調整費・まちづくり調査費《拡充》 【(6) 4,163千円、(5) 2,100千円】

(1) 地域課題の解決に向けたまちづくり

地域課題解決のため、区内における様々な機関と連携しながら必要に応じて随時適切な調査・対応を実施します。

【まちづくり調査等の過年度実績】

年度	実施内容
元年度	大倉山駅周辺の案内表示対応
2年度	S I B本格実施に向けたモデル事業として、オンライン健康医療相談サービスを活用した社会実証
3年度	港北区データ整理検討
4年度	—※
5年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
6年度 (7月末)	検討中

※4年度は、区配予算の活用や事業者との協議等により、予算執行を伴わない対応を行ったため、まちづくり調査費の執行はありませんでした。

(2) 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）との連携

【6年度の取組内容（予定）】

「暑さ対策」をテーマとして、慶應SDMが提唱する問題解決手法「システム×デザイン思考」や各種データを活用し、「GREEN×EXPO 2027」開催会場での試行実施を見据えた社会モデルの創出を検討します。

【連携協定の概要】

港北区と慶應SDMは、平成29年5月に、「教育研究成果を活用した地域の課題についての調査・事業の実施、スポーツに関する取組やデータの活用検討等を通じて、相互のさらなる発展に寄与すること」を目的とした連携協定を締結しています。

【連携事業の過年度実績】

年度	実施内容
2年度	・オンライン運動プログラム ・港北オンラインラジオ体操
3年度	・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操
4年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、地域課題の解決を学ぶワークショップ
5年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」に繋がるアイデア創出を図るワークショップ
6年度（7月末現在）	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「暑さ対策」における社会モデルの創出について検討



【5年度の連携事業の様子】

※ 区民文化センター整備 【(6) 0円、(5) 224千円】

6年3月に区民文化センターが開館したことから、事業は終了しました。

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(1) 港北区PR情報発信事業	1,072千円	114千円	10.6%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスが得られるようSNS等を運営します。また、「広報よこはま」の訴求力アップを図るため、「広報よこはま」で特集した記事と連動させた啓発物品の製作や、区のキャラクターを有効活用した区のPRを行い、広く港北区政への関心を高めることにつなげます。

【主な内容】

1 情報発信事業 【(6) 1,072千円、(5) 902千円】

スマートフォン等の普及により区民の区政情報の入手手段が多様化していることを踏まえ、タイムリーかつターゲットを意識した有効な情報発信を行っています。また、港北区のキャラクターであるミズキー等を活用した啓発物品を製作し、区役所の各種事業で配布します。

【港北区ウェブサイトアクセス件数・Xフォロワー数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
アクセス件数	約309万件	約350万件	約300万件	約250万件	約250万件	約88万件
フォロワー数	約7,700人	約8,800人	約10,200人	約10,700人	約10,900人	約11,200人

【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
利用件数	42件	10件	7件	21件	30件	6件

※ ガイドマップの発行 【(6) 0円、(5) 900千円】

災害に強いまちづくり事業で作成する「防災マップ」に統合しました。



【港北区ミズキー】

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(2) 戸籍課案内サービス 向上事業	2,950千円	3,388千円	114.8%
戸籍課			

【事業の概要】

来庁者の待ち時間の短縮や、待合フロアの混雑の緩和のため、web発券システムの運用や、戸籍課登録担当内の電話対応の一部委託化等を実施します。

【主な内容】

1 窓口混雑対策事業 【(6) 2,150千円、(5) 2,340千円】

(1) 電話案内業務

窓口の繁忙期に電話対応の一部にオペレーターを活用することで、職員を来庁者の窓口案内業務に充て、区民サービスの向上を図っています。

- ・電話オペレーター配置日数：計199日間
- ・繁忙期の6年4～5月、7年3月に2人配置、6年10月～7年2月は1人配置

【電話案内業務】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (5月末)
電話受付件数	5,486件	11,286件	16,029件	15,899件	15,336件	<u>4,208件</u>
オペレーター配置日数	59日	127日	252日	251日	206日	<u>46日</u>
延べ配置人数	115人	280人	309人	288人	276人	<u>85人</u>

※元年度までは繁忙期のみの実施でしたが、2年度から実施期間を拡大しているため、数値が大幅に増加しています。

(2) web発券システムの運用

区役所へ来庁しなくても番号札を取得できるシステムにより、区役所の窓口混雑緩和を図っています(5年1月運用開始)。

《参考》

最繁忙期3月最終週における、1日当たりの平均web発券数

：65件(平均受付件数503件 割合12.9%)

最高web発券数：3月29日 128件(受付件数601件 割合21.3%)

【5年度(6年3月最終週) 住民異動受付等件数】

	25日	26日	27日	28日	29日	平均
受付件数(件)	531	370	518	497	601	503
最大待ち時間(分)	115	38	87	95	102	87
平均待ち時間(分)	68	10	45	50	48	44
最大待ち人数(人)	89	28	80	76	96	74
web発券数(件)	36	33	44	85	128	65
web発券割合(%)	6.8	8.9	8.5	17.1	21.3	12.9

2 繁忙期向け広報事業《拡充》 【(6) 800千円、(5) 700千円】

窓口の繁忙期にあわせ、窓口の分散利用誘導、web発券利用促進及び転出届出・証明発行におけるマイナンバーカードの利用促進に向けた広報を行います。

- ・インターネットを活用したターゲティング広告を期間等拡充して実施します。(1～3月)
- ・駅や地区センター等の施設利用者向け広報ツールを活用します。(1～3月)

《参考》

【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】

	2年3月末	3年3月末	4年3月末	5年3月末	6年3月末	6年7月末
人口(A)	349,652人	351,554人	352,694人	355,442人	356,788人	355,648人
世帯数(B)	173,235世帯	175,307世帯	176,636世帯	179,337世帯	181,250世帯	180,928世帯
平均世帯人員(A/B)	2.02人	2.01人	2.00人	1.98人	1.97人	1.96人

【市外からの転入者数（住民基本台帳人口）】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
市外からの転入者数	15,070人	14,451人	14,254人	14,868人	14,200人	4,863人

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(3) 「仕事力向上」職員育成事業	625千円	396千円	63.4%
総務課			

【事業の概要】

適正な業務執行や業務スキルの向上を図るため、CS・ES向上研修やスキル向上研修を実施します。加えて、人権感覚を育み、正しい理解及び認識を身につけるため、人権啓発講演会を実施します。

【主な内容】

1 職員向け研修 【(6)320千円、(5)500千円】

(1) 新採用・転入職員・会計年度任用職員向けCS・ES向上研修

CS・ESの向上を図るため、新採用・転入職員・会計年度任用職員を対象として実施しました。(4月22日、26日 参加人数：66名)

(2) スキル向上研修

業務スキルの向上を図るため、職員、会計年度任用職員を対象として実施します。(9月)

2 人権啓発講演会等 【(6)305千円、(5)190千円】

令和6年度人権啓発講演会 テーマ「僕の宝物」

東京2020パラリンピックシッティングバレーボール日本代表の嵯峨根望氏を講師としてお招きし、障害者スポーツについて講演会を実施します。(令和7年1月30日)

【人権啓発講演会の実施状況】

年度	テーマ	講師	参加者
元年度	災害時のトイレ問題について 一緒に考えませんか?～災害時のトイレ問題を「自分事」として捉えよう～	加藤 篤 (NPO法人日本トイレ研究所代表理事)	約400人
2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止※ (新型コロナウイルス等の感染症にかかる人権啓発資料を区内の自治会・町内会へ送付)		
3年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区ウェブサイトに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿		
4年度	「いじめって何ですか？」 ～いじめに対する大人の認識を考える～	小森 美登里 (NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)	約250人
5年度	多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり ～20人に1人はいるかもしれないLGBTQ～	星野 慎二 (定非営利活動法人SHIP理事長)	約100人



【5年度
人権啓発講演会】

4-(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(4) 区民サービス向上・ 環境改善促進事業	12,463千円	1,014千円	8.1%
総務課			

【事業の概要】

区庁舎について、快適に過ごせる環境づくりや施設の機能強化を行います。

【主な内容】

区民サービス向上・環境改善促進事業 【(6) 12,463千円、(5) 8,376千円】

- ・授乳室の環境改善
- ・レイアウト変更の実施
- ・区庁舎の環境改善に伴う消耗品、備品、委託料、リース料等
- ・2階フロアのWi-Fi通信費
- ・AEDの設置購入



【区庁舎のAED】

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4 - (5) 区民利用施設環境改善事業	3,120千円	303千円	9.7%
地域振興課			

【事業の概要】

区内の区民利用施設について、利用者が快適に過ごせる環境づくりや、施設の機能強化を行います。

【主な内容】

- 1 区民利用施設の環境改善・機能強化【(6) 2,220千円、(5) 1,434千円】
 - ・区民利用施設の環境改善に伴う消耗品、備品の購入や、委託等を実施します。
 - ・区民利用施設利用者向け印刷機貸出し
- 2 子供の遊び場等の樹木保全【(6) 630千円、(5) 700千円】
 - ・子供の遊び場等の安全確保のため、樹木管理を実施します。



【子供の遊び場樹木伐採の様子】

- 3 子供の遊び場等の安全基準不適合遊具の撤去等【(6) 270千円、(5) 300千円】
 - ・子供の遊び場等の遊具の安全性確保等を実施します。

局事業

[市民局事業]

- ・地区センタープレイルーム利用促進事業
地域における子育て中の親子が気軽に利用できる地区センターのプレイルームに、絵本や知育玩具等を充実させるとともに、内装のリニューアルを実施してきます。

[港北区 対象地区センター]

- ・綱島地区センター
- ・菊名地区センター
- ・城郷小机地区センター

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	14,206千円	12,629千円	88.9%
区政推進課			

【事業の概要】

区の事業や区役所、区内の施設からのお知らせ等を区民に周知するため、広報よこはま市版と併せて発行し、主に自治会町内会を通じて各世帯に配布します。市の政策や目指すべき方向性をより確実に広報していくため、市版と区版の連携強化を図ります。

【主な内容】

1 広報よこはま区版作製 【(6) 14,206千円、(5) 13,571千円】

広報紙は原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布するほか、区ウェブサイトへの掲載やX（旧ツイッター）等で情報を発信します。

(1) 発行

毎月1日、年12回

59万部（14.7万部/月）発行

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、8ページ



【広報よこはま区版5月号 特集ページ】

(3) 紙面構成

- ・特集、トピックス記事
区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面
- ・お知らせ記事
区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

【参考】

港北福祉保健センターからのお知らせ
発行：年1回（6年4月号に挟み込み）
仕様：4色刷り、4ページ
内容：検診日程等

【広報よこはま区版発行部数】

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
年間部数	166万部	166万部	172万部	172万部	174万部	59万部
月平均部数	13.8万部	13.8万部	14.3万部	14.3万部	14.5万部	14.7万部

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広聴相談事業	1,946千円	1,929千円	99.1%
区政推進課			

【事業の概要】

サービス改善等に関する区民の意見・提案等の把握や、来庁者への的確な案内や行政情報の提供のほか、区民が日常生活で直面する問題対処のための専門相談を行います。

【主な内容】

1 特別相談事業 【(6) 1,946千円、(5) 2,092千円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行っています。

【特別相談実施概要】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など法律問題全般について	弁護士	水曜日及び 第1・3木曜日 (ただし8月除く) 13:00~16:00
司法書士相談	債務整理(140万円以下)、 不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1火曜日 13:00~16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約などの 公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00~15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00~12:00 13:00~16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望 など	行政相談委員	第2火曜日 13:00~15:00

【特別相談・広聴・窓口案内件数】(単位:件)

年度		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (7月末)
特別 相談	法律相談	435	420	448	460	165
	司法書士相談	40	57	70	103	24
	公証相談	10	8	14	20	8
	交通事故相談	2	6	4	2	0
	行政相談	0	0	5	13	4
広聴事業		1,083	1,049	800	729	276
窓口案内		62,343	61,006	57,908	46,757	16,829

事業名・所管課	6年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,082千円	2,942千円	95.5%
地域振興課、こども家庭支援課			

【事業の概要】

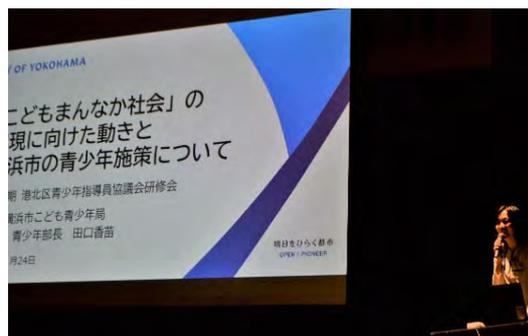
青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援し、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行います。

【主な内容】

- 1 青少年指導員事業 【(6) 2,272千円、(5) 2,443千円】
- ・港北区青少年指導員協議会研修会（6月24日、参加者数：123名）
 - ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
 - ・社会環境実態調査（7月～9月）
 - ・自然体験教室（9月21日）
 - ・全市統一行動キャンペーン活動（11月30日）
 - ・広報誌の発行（3月）



【自然体験教室】



【港北区青少年指導員協議会研修会】

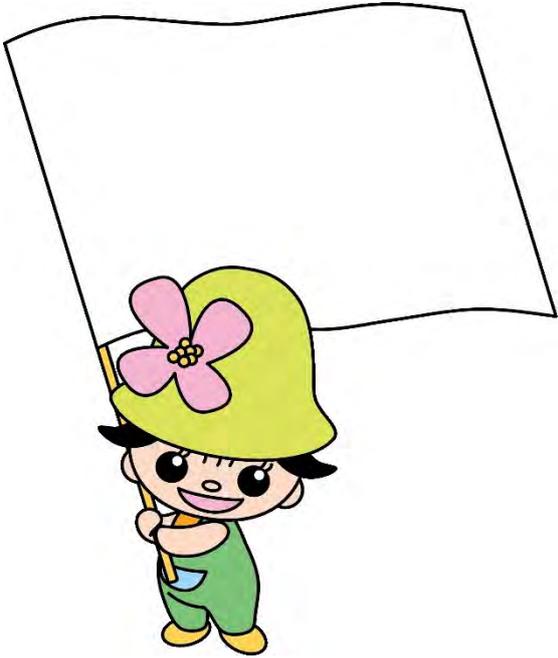
【自然体験教室への参加人数】

年度	30年度	元年度	2年度 3年度	4年度	5年度
実人数	135人	96人	中止※	天候不良 により中止	66人
実施場所	ソレイユの丘	湘南国際めぐりの森			ソレイユの丘
実施内容	クラフト体験	・森に関する講義 ・植樹体験 ・植物観察			クラフト体験 (万華鏡づくり) フォトラリー

※2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 学校・家庭・地域連携事業 【(6) 810千円、(5) 900千円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ補助金を交付します。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図ります。



令和 7 年度 港北区予算編成の考え方について

区の基本目標

活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」
～区民の皆様の安全・安心を守り、共にあゆむ区政～

1 基本的な考え方

横浜市中期計画の基本戦略である「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の推進及び区の基本目標の実現に向けて、「財政ビジョン」「中期計画」「行政運営の基本方針」の3つの市政方針を踏まえ、令和7年度予算を編成します。

様々な手法で地域の課題やニーズを丁寧に把握し、すべての事業について、「市民目線」「スピード感」「全体最適」の視点で対応するよう、事業目的、効果及び手法等の検証を行い、見直しを推進します。

住民サービスの最前線にある区役所の特性を生かして、区民の皆様との共感、信頼の関係を土台に、自治会・町内会、商店会、企業、NPO等の皆様とのつながりを深め、住みたい、住み続けたい、豊かさがあふれるまちづくりを進めます。

2 予算編成の視点

- ・南海トラフ地震臨時情報の発表等により一層意識が高まっている大地震・災害への対策をはじめ、区民の皆様が安全・安心のなかで過ごせるよう、日々の暮らしを支えます。
- ・子ども・子育て世代や高齢者、障害者など、誰もが支えあい自分らしく過ごせるよう、インクルーシブな視点をもって福祉・保健のまちづくりに取り組みます。
- ・地域のつながりや魅力を実感できる取組によって、まちのにぎわい・活気を創出するとともに、あらゆる事業を通じて、区民の皆様と共に脱炭素社会の実現に向けて取り組みます。

令和
6 年度

港北区区民 意識調査結果

.....速報版.....

港北区役所では、区民の皆さまのご意見を活かした区政運営を進めるために、4 年ごとに区民意識調査を実施しています。今回は、地域活動や防災、福祉・子育て、生活・健康、地域環境に優しい社会の実現、日ごろの情報源、地域行政等についてお尋ねし、多くの区民の皆さまから回答をいただきました。

確定版は
9 月以降に
公表予定です

調査概要

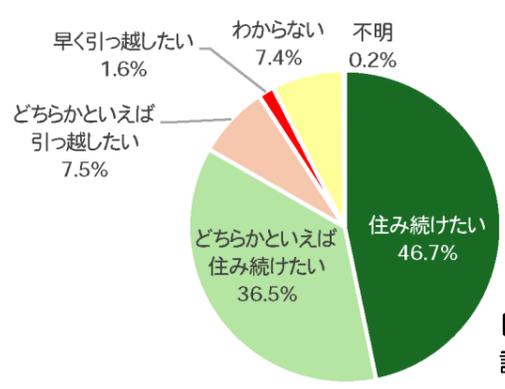
- 調査対象：港北区内に居住する満 18 歳以上の男女 3,000 人(外国籍区民 60 人を含む。)
- 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- 調査期間：令和 6 年 5 月 27 日～6 月 21 日
- 調査方法：郵送による無記名調査(回答は、郵送又は web)
- 有効回答数：1,706 件(回収率：56.9%)
- 集計方法：回答者の偏りを補正するため、港北区内人口の性年代(5 歳階級)構成比に合わせて、回答に重みづけ(ウェイトバック)を行っています。

※各項目の比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入しています。そのため、グラフの合計が 100%にならない場合があります。

1 定住意向

港北区に【**住み続けたい**】と思っている人は**8割以上**

問 9 あなたはこれからも現在お住まいの地区に住み続けたいと思いますか。(1 つまで)



「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の合計は 83.2%となり、令和2年の前回調査(70.3%)よりもアップしました。
※前回調査では、選択肢を「住み続「ける」」「たぶん住み続「ける」」などとしています。

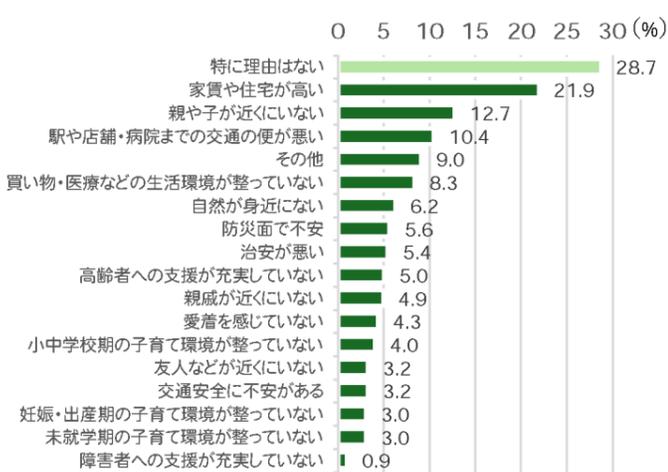
Check!

住み続けたい主な理由としては、「自分や家族の持家だから」に次いで、「買い物、医療などの生活環境が整っているから」45.8%、「通勤・通学に便利だから」44.1%、「横浜が好きだから」34.2%、「治安が良いから」31.7%などが挙げられています。

2 引越す場合の理由となりうるもの

「特に理由がない」を除くと、**住宅にかかる費用が最多**

問 11 現在住んでいる地区から引っ越すことがあるとすれば、やむを得ない事情(就職・転勤、進学・卒業など)を除き、どのような理由が考えられますか。(3 つまで)



「特に理由はない」に次いで、「家賃や住宅の価格が高い」21.9%、「親または子が近くにいない」12.7%が挙げられています。

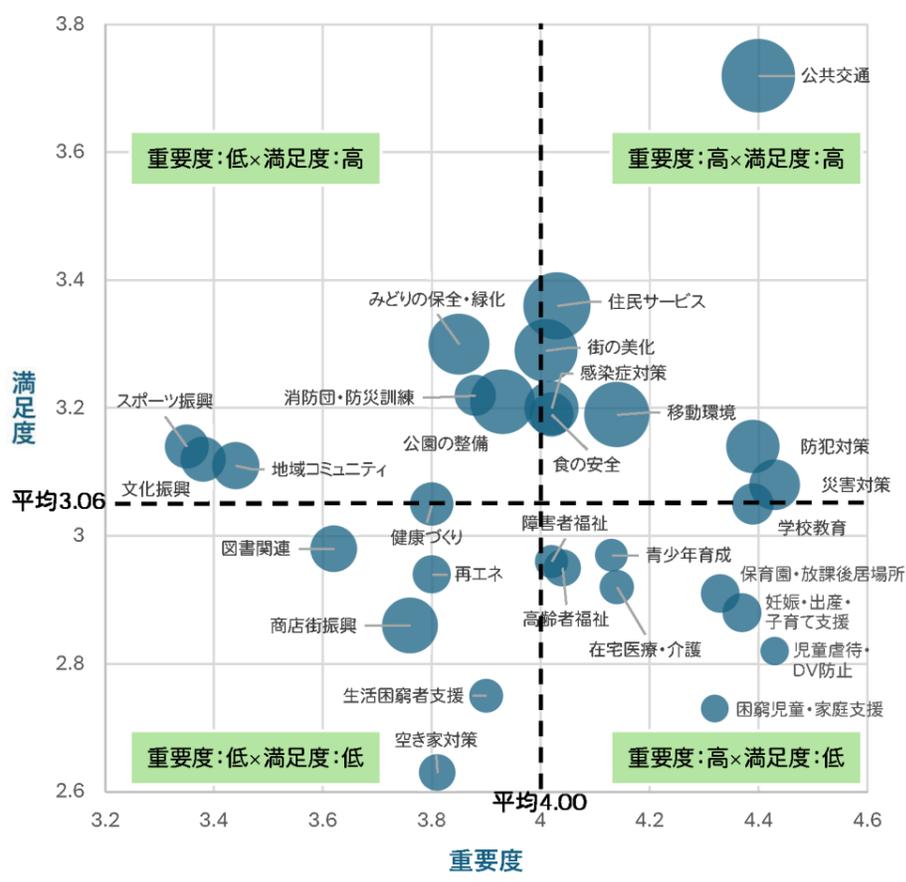
Check!

「特に理由はない」を選んだ割合が最も低かった 30 代では、全体の上位3項目に次いで、「小中学校期の子育て環境が整っていない」、「妊娠期・出産期の子育て環境が整っていない」、「未就学期の子育て環境が整っていない」といった子育て関連の項目が挙げられています。

3 行政施策に対する重要度と満足度(テーマ別)

公共交通や住民サービス、防犯対策などが、重要度と満足度のどちらも平均以上

問 28 以下の行政テーマについて、あなたの「満足度」と「重要度」をそれぞれお知らせください。(1~5 点)



※横軸はテーマの重要度を、縦軸は満足度を表しています。
※点線は、平均点を表しています。(重要度:4.00点、満足度:3.06点)
※バブルの大きさは、満足度に対する回答率(「分からない・回答しない」や無回答を除いた割合、最小:32.6%~最大:86.2%)を表しており、円が大きいほど、多くの人に関係があるテーマであるといえます。

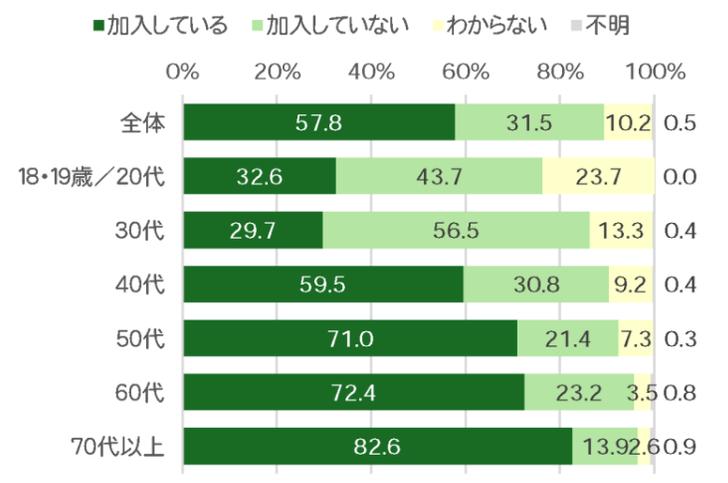
Check!

満足度が平均を上回るエリアには大きいバブル(=多くの人に関係があるテーマ)が多く位置する一方で、右下のエリア(重要度:高×満足度:低)には小さいバブル(=個別のニーズに関係があるテーマ)が多く位置しています。

4 自治会・町内会への加入状況

全体の加入率は**57.8%**で、年代が上がるにつれて加入率が高くなる

問 1 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(1つまで)



39 歳以下では加入率は3割前後で、単身や夫婦のみに限るとさらに低くなっています。

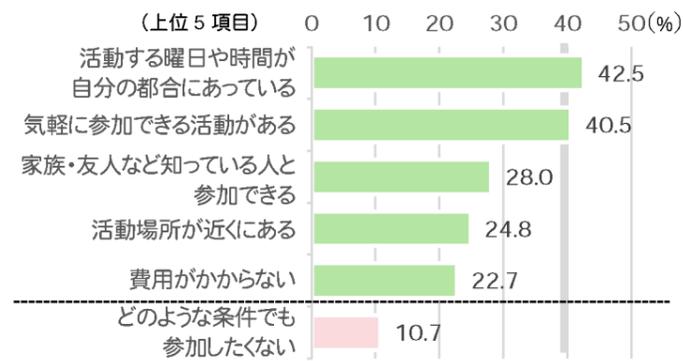
Check!

主な未加入理由としては、「きっかけがない」51.8%、「メリットを感じない」25.3%、「活動内容が分からない」20.9%などが挙げられています。

5 地域活動に参加しやすくなる条件

活動日時や気軽さに次いで、知っている人と参加できることがポイント

問5 どのような条件であれば、地域活動に参加しやすくなると思いますか。(3つまで)



「活動する曜日や時間が自分の都合にあっている」と「気軽に参加できる活動がある」がいずれも40%を上回り、「知っている人と参加できる」「活動場所が近くにある」「費用がかからない」が続いています。

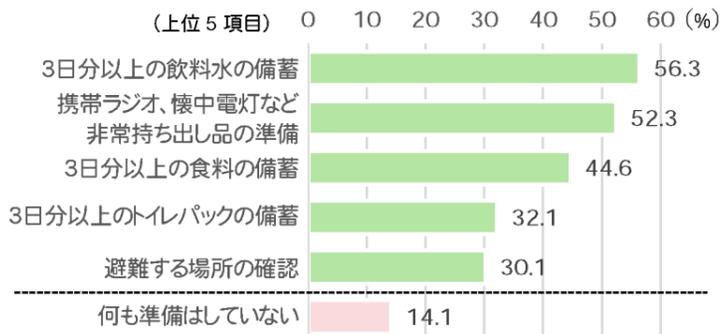
Check!

「どのような条件でも参加したくない」は全体で10.7%である一方で、未就学～学齢期の子どもがいる世帯では5.0%前後となっています。

6 災害による被害を最小限に抑えるための取組

飲料水の備蓄、非常持ち出し品の準備、食料の備蓄がトップ3

問18 災害による被害を最小限に抑えるために、あなたはどのようなことをしていますか。(いくつでも)



上位3項目以外では、「トイレパックの準備」が32.1%と、令和2年の前回調査から9ポイント近くアップしました。

Check!

「何も準備はしていない」14.1%に注目すると年代別では若い世代が、各年代では単身世帯の割合がそれぞれ高くなる傾向がみられます。

7 望まれている子育て支援

遊び場、相談ができる場所、預かりがトップ3

問20 あなたは子育て中の親子(未就学児や小学生)に対して、地域でどのような支援があると良いと思いますか。(いくつでも)



半数以上が「子どもを遊ばせる場所」と回答しており、「子育ての相談ができる場所」「ちょっとした子どもの預かり」が続いています。

Check!

小学生以下の子どもがいる世帯と、39歳以下の夫婦のみ世帯を比べると、全体の傾向は似ていますが、「子どもを遊ばせる場所」(前者:80.5%、後:65.0%)「親子が集える地域の身近な場」(前者:37.3%、後:24.3%)などで差がみられます。

8 望まれている高齢者福祉

在宅医療、切れ目のない医療・介護、生活支援がトップ3

問21 あなたは高齢者に対して、地域でどのような支援やサービスが必要だと思いますか。(いくつでも)



「在宅で医療を受けられる仕組み」56.3%、「医療・介護が必要になっても切れ目なく支援が受けられる仕組み」52.1%、「買い物サービスや配食サービス等、困りごとへの生活支援」51.3%が上位3項目となっており、いずれも50.0%を上回っています。

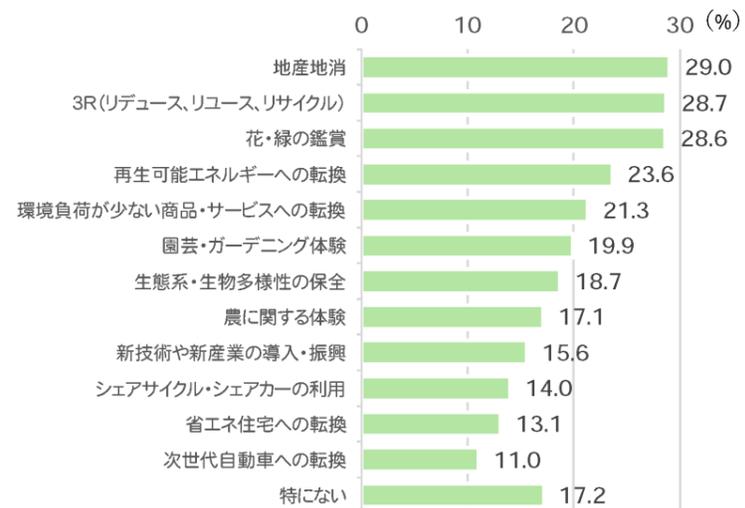
Check!

高齢者層(65歳～)では、「医療・介護が必要になっても切れ目なく支援が受けられる仕組み」66.6%、「在宅で医療を受けられる仕組み」64.0%とそれぞれ全体平均を大きく上回り、さらに「認知症になっても暮らしやすい仕組み」が52.1%で第3位に挙げられています。

9 実践している又は実践してみたい環境への取組

地産地消、3R、花・緑の鑑賞など、体験や身近な取組への関心が高い

問25 あなたは、地球環境に優しい社会の実現に関するテーマのうちどのような取組について、関心があり、実践している又は実践してみたいと思いますか。(いくつでも)



「地産地消」29.0%、「3R」28.7%、「花・緑の鑑賞」28.6%が上位3項目となっています。

Check!

回答率が最も高い項目を年代別にみると、10・20代、30代、40代では「地産地消」、50代では「3R」、60代、70代以上では「花・緑の鑑賞」が第1位に挙げられています。

